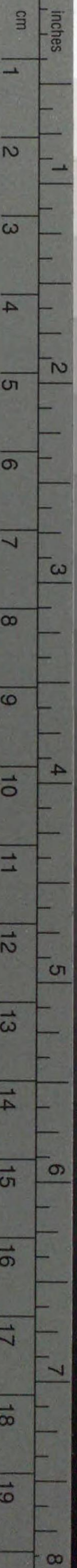


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

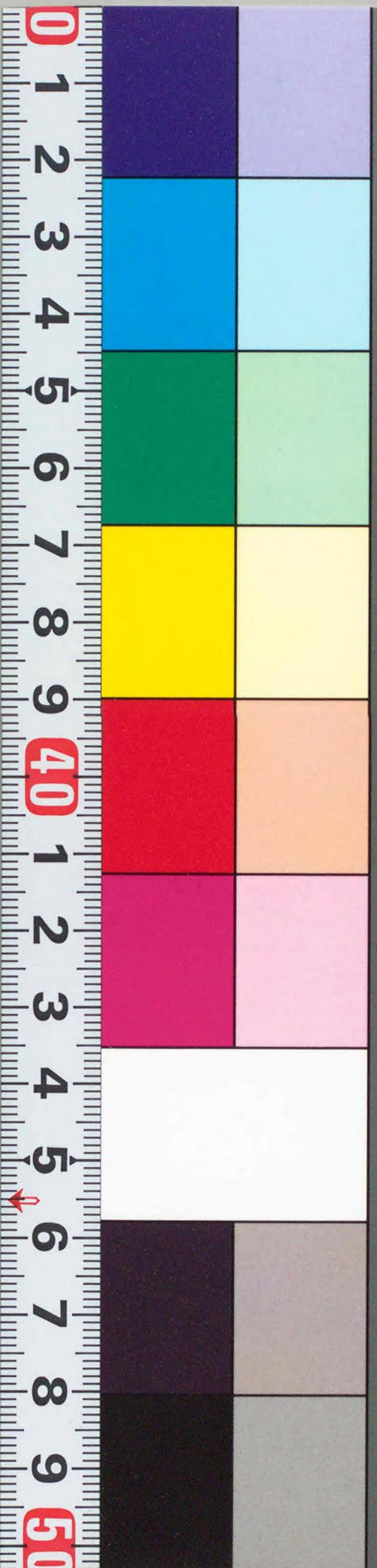
A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



CZ
431
61



80W13051



44-74

農地調整關係令規

昭和十四年七月

北海道廳

0/0-1

CZ
431
61



80W13051

農地調整關係令規

目次

(一) 廳令、告示、通牒

一 農地調整法施行細則……………一

二 農地調整法第五條及同法施行規則第十條第一項ノ規定ニ依ル農地處分ノ調整ニ關スル件……………八

三 自作農創設維持獎勵規程……………二

(イ) 自作農創設維持事務取扱要綱ニ關スル件……………二〇

(ロ) 自作農創設維持資金貸付ニ關スル件……………二〇

(ハ) 自作農地讓渡ニ關スル件……………二〇

(ニ) 自作農創設維持者簡易生命保險加入狀況ニ關スル件……………二二

(ホ) 未墾地開發自作農創設ニ關スル件……………二五

(ヘ) 支那事變出征記念自作農創設事業實施ニ關スル件……………二六

(ト) 農地調整法第三條ノ農地ノ管理又ハ買取ニ關スル件……………二七

(チ) 自作農創設維持獎勵規程準則ニ關スル件……………二七

(リ) 登録稅免除ニ關スル件……………二八

(ヌ) 自作地登記ニ關スル件……………二九

四 北海道農地委員會事務處理規程……………二四

五 市町村農地委員會事務處理規程ニ關スル件……………二五

六 農地關係調整處理補助金交付ノ件……………二九

七 小作關係ノ調整ニ關スル件	二二
八 小作地調査ノ件	一九
(一) 農地調整法關係法令	一三
一 農地調整法	一三
(イ) 農地調整法施行令	一七
(ロ) 農地調整法施行規則	一四
(ハ) 自作地登記令	一四
二 不動産登記法施行細則(抜萃)	一四
三 登録税法(抜萃)	一四
四 登録税法施行規則(抜萃)	一四
五 臨時租税措置法(抜萃)	一四
六 臨時租税措置法施行規則(抜萃)	一五
七 小作調停法	一五
八 農地ノ交換分合斡旋施設助成ニ關スル件	一五
九 農地ノ交換分合斡旋施設ニ關スル件	一五
一〇 小作料統制令	一六
一一 小作料統制令施行規則	一六
一二 國家總動員法關係條文	一七
一三 小作料統制令施行規則	一七
一四 小作料統制令施行ニ關スル件	一七
一五 小作料統制ニ關スル補助金交付ノ件	一七

(三) 附

錄

一 自作農創設維持資金貸付規程(廢止シタルモノ)	一八
二 民有未墾地開發資金貸付規程(廢止シタルモノ)	一八
三 自作農創設維持資金償還組合規約準則	一九
四 未墾地開發借入資金償還組合規約準則	一九
五 未墾地開發借入資金償還組合表彰規程	一九
六 自作農創設維持資金年賦償還金算出方法	一九
七 未墾地自作農創設資金年賦償還金算出方法	二〇
八 市町村産業組合ニ於テ調査スベキ自作農創設維持者身元調査書様式	二〇

一廳令、告示、通牒

農地調整關係例規

○農地調整法施行細則

(昭和十三年十二月二十一日
北海道廳令第八十一號)

- 第一條 農地調整法第三條ノ規定ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ求メントスル者ハ農地ノ地目、地番、面積及其ノ事由並ニ希望事項ヲ具シ農地調整法第三條ノ團體ニ申出ヅベシ
- 前項ノ申出ヲ受ケタル團體ハ其ノ旨當該市町村農地委員會ニ通知スベシ
- 市町村農地委員會前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ寫ヲ添ヘ第一號様式ニ依リ之ヲ長官ニ報告スベシ
- 第二條 市町村農地委員會農地調整法施行規則第二條ノ規定ニ依リ農地調整法第三條ノ團體中農地ノ管理又ハ買取ノ申出ヲ爲スベキ團體ヲ指定シタルトキハ當該市町村ノ公布式ニ準ジ之ヲ公示スベシ
- 第三條 農地調整法第三條ノ團體同條ノ規定ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲シタルトキハ第二號様式ニ依リ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ
- 前項ノ規定ニ依ル農地ノ管理ヲ廢シ又ハ買取リタル農地ヲ處分セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ長官ノ認可ヲ受クベシ
- 第四條 農地調整法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行ハントスル市町村、産業組合又ハ農事實行組合農地調整法施行規則第七條ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ之ヲ長官ニ提出スベシ
- 一 事業計畫書
 - 二 事業ニ關スル收支豫算書
 - 三 事業ニ關スル諸規程

四 資金ニ關スル調書

五 未墾地ノ開發事業ノ施行ニ關シ必要ナル認可、許可ノ議決又ハ同意ヲ證スル書面
前項書類ノ外長官ハ必要アリト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第五條 農地調整法施行規則第九條ノ規定ニ依リ長官ノ認可ヲ受ケタル團體其ノ協議終了シタルトキハ其ノ願末ヲ遲滯ナク長官ニ報告スベシ

第六條 農地調整法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行フ市町村、産業組合又ハ農事實行組合農地調整法施行規則第六條第三項第二號又ハ第四號ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ長官ニ申請スベシ

第七條 農地調整法第五條及同法施行規則第十條ノ規定ニ依リ長官ノ定メタル区域内ニ農地ヲ所有スル者其ノ農地ヲ處分セントスル場合ハ第三號様式ニ依リ農地處分ノ一月前迄ニ其ノ農地ノ所在スル市町村農地委員會ニ其ノ旨通知スベシ

第八條 小作關係、相隣關係其ノ他農地ノ利用關係、農地ノ交換分合其ノ他農地ニ關シ斡旋ヲ求メントスル者ハ當事者ノ住所氏名、土地ノ地目、地番、面積及斡旋ヲ求メントスル内容ヲ明ニシ書面又ハ口頭ヲ以テ其ノ農地ノ所在スル市町村農地委員會ニ申出ヅベシ

當事者ヨリ口頭ヲ以テ前項斡旋ノ申出アリタル場合ハ市町村農地委員會其ノ調書ヲ作成スベシ

第九條 市町村農地委員會農地調整法第五條及第九條第三項ノ通知ヲ受ケタル場合又ハ前條ノ斡旋ノ申出ヲ受ケタル場合ハ其ノ通知書、申出書又ハ調書ノ寫ヲ添ヘ第一號様式ニ依リ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ

第十條 市町村農地委員會農地調整法第五條及第九條第三項ノ通知ヲ受ケタル場合ノ斡旋、小作關係、相隣關係其ノ他農地ノ利用關係、農地ノ交換分合其ノ他農地ニ關スル斡旋若ハ爭議ノ防止又ハ農地調整法第十四條ノ規定ニ依リ裁判所ニ對スル意見ノ申出ヲ爲シタル場合ハ第四號様式ニ依リ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ

第十一條 市町村農地委員會會議ヲ召集セントスルトキハ會議ノ日時、場所及附議スベキ事項ヲ記載シ開催期日十日前迄ニ之ヲ長官ニ届出ヅベシ

第十二條 市町村農地委員會會議終了シタルトキハ附議シタル事項ニ會議ノ願末ヲ記載シ且其ノ決議錄謄本ヲ添ヘ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ

第十三條 農地調整法施行令第十八條ノ規定ニ依ル費用中市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ノ旅費、日當及宿泊料ノ費用ニ付市町村長其ノ實費ヲ徵收セントスルトキハ第十六條ノ規定ニ依ル旅費、日當及宿泊料額ノ範圍内ナルコトヲ要ス

前項ノ旅費、日當及宿泊料以外ノ費用ニ付市町村長其ノ實費ヲ徵收セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ長官ノ承認ヲ受クベシ

第十四條 市町村農地委員會其ノ會長、委員及臨時委員ニ闕員又ハ異動ヲ生ジタル場合ハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ長官ニ届出ヅベシ

第十五條 市町村農地委員會ニ書記ヲ置クコトヲ得
書記ハ市町村農地委員會長之ヲ任命又ハ囑託ス

書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス
第十六條 市町村、市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ニ對シ旅費、日當及宿泊料ヲ支給セントスル場合ハ左ノ各號ニ據ルベシ

一 官公吏タル會長、委員及臨時委員ニ對シテハ本職相當額

二 其ノ他ノ會長、委員及臨時委員ニ對シテハ當該市町村ノ名譽職委員給與ニ關スル條例ニ定ムル給與額

第十七條 農地調整法及之ニ基ク勅令、命令又ハ本令ニ依リ長官ニ提出スベキ書類ハ市ニ在リテハ市長、町村ニ在リテハ町村長及支廳長ヲ經由スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一號様式 農地ニ關スル通知申出受理報告書

受理年月日 昭和 年 月 日

事件番号	昭和年 第 號
事件名	
通知者(申出者)住所氏名	
關係農地ノ所在地	

右別紙相添へ報告候也

昭和 年 月 日

北海道廳長官

殿

郡(市)町(村)農地委員會長 氏

名 印

記載上ノ注意

- 一 市町村農地委員會ハ毎年一月一日ヨリ十二月末日迄ヲ年度トスル事件番號簿ヲ備付ケ各種ノ通知又ハ斡旋ノ申出等ヲ受理シタル場合ハ其ノ都度之ニ記入シ「事件番號」欄ニハ其ノ番號及受理年度ヲ記載スルコト
- 二 「事件名」欄ニハ農地ノ管理(買取)、農地處分前ノ通知、小作契約ノ解約又ハ更新ノ拒絕ノ通知、小作料減免、小作契約繼續、小作料値下、用水路築設、防風林ノ除去等事件ノ内容ヲ表示スル事件名ヲ記載スルコト
- 三 「通知者(申出者)住所氏名」欄ニハ第一條第三項ノ報告ニ在リテハ農地ノ管理(買取)ノ申出者ノ住所氏名ヲ其ノ他ノ通知又ハ斡旋ノ申出ノ報告ニ在リテハ其ノ通知者又ハ申出者ノ住所氏名ヲ夫々記載シ若シ通知者又ハ申出者ニシテ二名以上ノ場合ハ住所氏名ハ一名ヲ以テ代表セシメ他ハ外何名ト記載スルコト
- 四 「關係農地ノ所在地」欄ニハ郡市町村字名及現地目反別ヲ記載スルコト

第二號様式

農地調整法第三條ノ事業ニ關スル報告書

一 農地ノ表示其ノ他

郡市町村字名	地番	地目	段別	農地ノ區別	小作料	小作期間	土地所有者住所氏名	小作人住所氏名	備考

- 一 農地ノ管理(買取)申出者ノ住所氏名
- 一 申出ノ事由
- 一 管理條件並ニ管理方法
- 一 買取條件並ニ買取農地ノ措置

昭和 年 月 日

郡(市)町(村)

團體名

代表者 氏

名 印

北海道廳長官

殿

記載上ノ注意

- 一 農地ノ表示其ノ他中
 - (イ) 「地目」欄ニハ現地目ヲ記載スルコト
 - (ロ) 「農地ノ區別」欄ニハ自作地、小作地又ハ小作ニ付シタル土地ノ別ニ依リ記載スルコト
 - (ハ) 小作料物納ノ農地ニ在リテハ「小作料」欄ニ其ノ小作料ノ種類別數量ヲ記載スルコト
 - (ニ) 「小作期間」欄ニハ小作契約ニ定メタル年月及期間ヲ記載スルコト
 - (ホ) 特ニ契約アル小作地又ハ小作ニ付シタル土地ニ在リテハ「備考」欄ニ其ノ特約事項ヲ詳記スルコト
- 二 申出ノ事由ニハ(イ)兵役(ロ)自己又ハ家族ノ徵用(ハ)牛馬ノ徵發(ニ)農村ノ經濟更生ノ爲ニスル移民(ホ)其ノ他公共ノ爲等ノ別ニ依リ詳細ニ其ノ事由ヲ記載スルコト

第三號様式

農地ノ表示 通知書

一 田 町 段 畝 步 郡(市)町村字 番地

一 畑 町 段 畝 步 郡(市)町村字 番地

(以下做之)

合計 畑田 町町 段段 畝畝 步步
 前記ノ農地處分致度昭和 年 月 日 北海道廳令第 號ニ依リ左記事項相添へ及通知候也
 昭和 年 月 日

市町村農地委員長 殿

土地所有者 住所

氏 名 回

- 一 處分セントスル農地ノ希望賣買價格
- 二 處分ニ要スル見込期間
- 三 處分セントスル農地ガ小作地ナル場合ニ限り特ニ記載スベキ事項

郡(市)町村字名	地番地目	反別	小作料	小作期間	其ノ他特ニ契約セル事項	小作所氏名

記載上ノ注意

- 一 農地ノ表示ニ記載スベキ農地ノ筆數多キトキハ農地ノ所在地、地番、地目、反別ヲ記載シタル目錄ヲ添附シ田畑別合計反別ノミチ記載スルコト
- 二 處分セントスル農地ノ希望價格ノ記載ニ付テハ其ノ總額ノ外田畑別ニ依ル金額ヲ併記スルコト
- 三 處分セントスル農地ガ小作地ナル場合ニ限り記載スベキ事項中小作料、小作期間ノ記載ニ付テハ第二號様式ノ記載上ノ注意一ノハ)及(ニ準ジ記載スルコト

第四號様式

農地關係ノ斡旋(爭議ノ防止)(裁判所ニ對スル意見ノ申出)ニ關スル報告書

通知(申出)年月日	終了年月日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	事件番號		昭 和 年 第 號

當事者ノ表示	關係土地ノ表示	備考
通 知 (小作人又ハ地主) (申出) 者 住 所 氏 名 外 何 名 通 知 (地主又ハ小作人) 手 住 所 氏 名 外 何 名	郡(市)町(村)字 計 方 住 所 氏 名 外 何 名 畑田 其ノ他	斡旋ヲ求メタル事情(爭議ノ防止ニ著シタル事情)裁判所ヨリ意見ヲ徵セラレタル事項ノ内容及當事者ノ意見又ハ主張ノ概要 斡旋(爭議ノ防止)裁判所ニ對スル意見ノ申出)ノ經過及結末ノ概要

右報告候也
 昭和 年 月 日

北海道廳長官

殿

郡(市)町(村)農地委員長 氏

八

名 團

記載上ノ注意

本様式ハ農地關係ノ斡旋、爭議ノ防止、裁判所ニ對スル意見ノ申出等ノ事項ヲ例示シタルヲ以テ記載ニ當リテハ左ノ點ニ注意スルコト

一 「通知(申出)年月日」欄ニハ斡旋ノ場合ハ通知又ハ申出年月日、爭議ノ防止ノ場合ハ著手年月日、裁判所ニ對スル意見ノ申出ノ場合ハ意見ヲ徵セラレタル年月日ヲ夫々記載スルコト

二 「終了年月日」欄ニハ斡旋終了年月日、爭議ノ防止ノ終了年月日、裁判所ニ意見ノ申出ヲ爲シタル年月日ヲ夫々記載スルコト

三 「事件番號」欄ニハ第一號様式ノ記載上ノ注意一ニ依リ記載スルコト

四 其ノ他ノ各欄ハ事件ノ内容ニ適合スル様記載スルコト

○農地調整法第五條及同法施行規則第十條第一項ノ規定ニ依ル農地處分ノ調整ニ關スル件

(昭和十四年六月八日
北海道廳令第三十號)

第一條 農地調整法(以下法ト稱ス)第五條及同法施行規則(以下規則ト稱ス)第十條第一項ノ規定ニ依リ農地處分ニ當リ通知ヲ爲スベキ區域左ノ如シ

石狩支廳管内

全 町 村

渡島支廳管内ノ内

上磯郡知内村、上磯郡木古内村、上磯郡上磯町、龜田郡大野村、龜田郡七飯村、龜田郡龜田村、龜田郡錢龜澤村、茅部郡森町、茅部郡落部村、山越郡八雲町、山越郡長萬部村

檜山支廳管内ノ内

檜山郡上ノ國村、檜山郡泊村、檜山郡厚澤部村、爾志郡乙部村、太櫓郡太櫓村、瀬棚郡瀬棚町、瀬棚郡東瀬棚村、瀬

棚郡利別村

後志支廳管内ノ内

壽都郡樽岸村、壽都郡黒松内村、歌婁郡熱郷村、磯谷郡南尻別村、虻田郡狩太村、虻田郡眞狩別村、虻田郡留壽都村、虻田郡喜茂別村、虻田郡東俱知安村、虻田郡俱知安町、岩内郡小澤村、岩内郡前田村、岩内郡發足村、美國郡美國町、余市郡大江村、余市郡余市町、余市郡赤井川村、忍路郡鹽谷村、小樽郡朝里村

空知支廳管内ノ内

空知郡岩見澤町、空知郡北村、空知郡栗澤村、空知郡幌向村、空知郡三笠山村、空知郡美唄町、空知郡砂川町、空知郡瀧川町、空知郡江部乙村、空知郡音江村、空知郡赤平村、空知郡青別村、夕張郡由仁村、夕張郡長沼村、夕張郡角田村、夕張郡夕張町、樺戸郡月形村、樺戸郡浦臼村、樺戸郡新十津川村、雨龍郡深川町、雨龍郡妹背牛村、雨龍郡秩父別村、雨龍郡一己村、雨龍郡納内村、雨龍郡多度志村、雨龍郡雨龍村、雨龍郡北龍村、雨龍郡沼田村、雨龍郡幌加内村

上川支廳管内

全 町 村

留萌支廳管内ノ内

増毛郡増毛町、留萌郡留萌町、留萌郡小平薬村、留萌郡鬼鹿村、苫前郡苫前村、苫前郡羽幌町、苫前郡初山別村、天鹽郡遠別村、天鹽郡天鹽町、天鹽郡幌延村

宗谷支廳管内ノ内

宗谷郡稚内町、宗谷郡宗谷村、宗谷郡猿拂村、枝幸郡頓別村、枝幸郡中頓別村、枝幸郡枝幸村

網走支廳管内

全 町 村

廳振支廳管内

全 町 村

日高支廳管内ノ内

沙流郡右左府村、沙流郡平取村、沙流郡門別村、新冠郡新冠村、静内郡静内町、三石郡三石村、浦河郡浦河町、様似郡様似村、浦河郡荻伏村

十勝支廳管内

全 町 村

釧路國支廳管内ノ内

釧路郡鳥取村、厚岸郡厚岸町、厚岸郡濱中村、厚岸郡太田村、川上郡標茶村、川上郡弟子屈村、阿寒郡阿寒村、阿寒郡鶴居村、白糠郡白糠村、白糠郡音別村、足寄郡足寄村、足寄郡濇別村、根室支廳管内ノ内

野付郡別海村、標津郡標津村

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯廣市

第二條 前條ノ區域内ニ在ル農地ノ所有者農地處分ニ當リ法第五條及規則第十條第一項ノ規定ニ依リ通知ヲ爲スベキ場合ハ其ノ農地ヲ賣買、交換又ハ贈與セントスルトキトス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 道路敷地、鐵道用地又ハ校舍敷地其ノ他公用又ハ公共用ノ建物若ハ工作物等ノ敷地ニ供スル爲其ノ農地ヲ讓渡スルトキ

二 法第三條ノ規定ニ依リ農地ノ買取ノ事業ヲ行フ團體ニ其ノ農地ヲ讓渡スルトキ

三 法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持事業トシテ自作農ノ創設ヲ受ケントスル者又ハ同條ノ事業ヲ行フ團體ニ其ノ農地ヲ讓渡スルトキ

四 法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行フ團體ガ其ノ農地ヲ自作農創設ノ爲ニ讓渡スルトキ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○自作農創設維持獎勵規程

(昭和十四年三月十五日)
北海道廳令第四號

第一條 自作農ノ創設又ハ維持ヲ圖ル爲本令ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ資金ヲ貸付シ又ハ獎勵金ヲ交付ス

第二條 市町村ガ左ニ掲グル事項ヲ行フ場合ニ於テハ之ニ對シ農地購入資金又ハ農地維持資金ヲ貸付ス

一 個人ノ自作農地(自家用宅地ヲ含ム以下之ニ同ジ)ト爲スベキ農地ノ購入又ハ自作農地ノ維持(自作農地トシテ農地ヲ購入シタルニ因リ生ジタル債務ニシテ其ノ農地ヲ抵當トスルモノ其ノ他長官ノ適當ト認ムルモノノ借替)ニ必要ナル資金ノ貸付

二 市町村ガ自作農ノ創設ノ爲ニ行フ農地ノ購入

第三條 市町村ガ左ニ掲グル事項ヲ行フ場合ニ於テハ之ニ對シ未墾地開發資金ヲ貸付シ又ハ未墾地開發獎勵金ヲ交付ス

一 個人ノ自作農地ト爲スベキ未墾地(土地ノ利用又ハ整理上必要ナル土地ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ購入及開發若ハ所有未墾地ノ開發ニ必要ナル資金ノ貸付又ハ其ノ開發ニ對スル獎勵金ノ交付

二 市町村ガ自作農ノ創設ノ爲ニ行フ未墾地ノ購入及開發又ハ所有未墾地ノ開發

第四條 資金ハ左ニ掲グル條件ニ依リ之ヲ貸付ス

- 一 農地ノ購入資金及農地ノ維持資金ニ在リテハ
 - (一) 貸付利率ハ年三分二厘トス
 - (二) 償還期間ハ二十四年トス
- 二 据置期間ハ一年以内トス但シ第八條ノ農地購入資金ニ在リテハ五年以内トス
- 三 償還ハ元利均等年賦償還方法ニ依リ毎年度ノ償還期限ハ二月一日トス
- 四 未墾地ノ開發資金ニ在リテハ
 - (一) 貸付利率ハ年二分五厘トス

- (二) 償還期間ハ二十五年トス
 - (三) 据置期間ハ五年以内トス
 - (四) 償還ハ元利均等年賦償還方法ニ依リ毎年度ノ償還期限ハ十二月一日トス
- 特別ノ事由アルトキハ長官ノ承認ヲ得テ第一號又ハ第二號ノ規定ニ依ル資金ノ償還方法ヲ變更シ又ハ繰上償還ヲ爲スコトヲ得

第一號又ハ第二號ノ規定ニ依ル資金ノ支拂ヲ怠リタルトキハ償還金百圓ニ付一日金三錢ノ割合ヲ以テ延滞金ヲ徴收ス

第五條 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 個人ノ未墾地ノ開墾ニ對シ獎勵金ヲ交付スル場合ニ於テハ其ノ工事費ノ十分ノ四以内
- 二 市町村ガ未墾地ノ開發ヲ行フ場合ニ於テハ
 - (一) 開墾並ニ之ニ附隨シテ行フ農業經營上必要ナル土地ニ關スル工事及施設ニ要スル費用ノ十分ノ四以内
 - (二) 移住家屋ノ建設ニ要スル費用又ハ之ニ對シ交付スル獎勵金ニ付テハ一戸當三百圓以内
 - (三) 共同建造物ノ建設ニ要スル費用又ハ之ニ對シ交付スル獎勵金ニ付テハ其ノ建設ニ要スル費用ノ十分ノ三以内

第六條 市町村ハ個人ニ對シ農地購入資金又ハ農地維持資金ヲ貸付スル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ルベシ

- 一 借受人ハ現ニ農業ニ従事シ自作農地ノ經營ヲ持續スルコトヲ得ル見込アル者ナルコト
- 二 借受人ハ購入セントスル農地ガ小作地又ハ借地ナル場合ニ於テハ其ノ小作人(其ノ田畑ヲ現ニ耕作セザル者ヲ除ク以下之ニ同ジ)又ハ借地人(其ノ宅地ヲ現ニ使用セサル者ヲ除ク以下之ニ同ジ)ナルコト但シ其ノ他ノ者ニ對シ自作農地ノ創設ヲ行フコトニ付其ノ小作人又ハ借地人ガ同意シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 購入セントスル農地ノ購入價格ハ借受人ガ自作農地ノ經營ヲ持續スルコトヲ得ル爲附録ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ノ普通價格ヲ超エザルモノナルコト
- 四 小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ農地ノ購入ニ際シ其ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ農地ノ購入價格ニ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノガ前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エザルモノナルコト
- 五 維持ノ爲借替ヲ爲サントスル債務額ハ第三號ノ標準價格及普通價格ヲ超エズ且其ノ農地ノ購入價格(小作權ヲ併セ

購入シタル場合ニ於テハ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノ)ガ購入當時ニ於ケル第三號ノ標準價格及普通價格ヲ超エザルモノナルコト

六 購入シ又ハ維持セントスル農地ハ其ノ上ニ抵當權又ハ自作ノ障碍ト爲ルベキ權利ガ存在セザルモノナルコト但シ抵當權ニ在リテハ購入ニ際シ之ヲ解除スルコトヲ得ルモノハ此ノ限ニ在ラズ

七 購入シ又ハ維持セントスル農地ノ價格ハ田畑ニ在リテハ四千圓、宅地ニ在リテハ五百圓ヲ超エザルモノナルコト但シ借受人ガ現ニ田畑又ハ宅地ヲ所有スル場合ニ於テハ其ノ田畑又ハ宅地(維持ノ場合ニ於テハ維持セントスル田畑又ハ宅地ヲ除ク)ノ價格ト購入シ又ハ維持セントスル田畑又ハ宅地ノ價格ト合計額ガ夫々四千圓(昭和十三年農林省令第三十三號ヲ以テ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ付テハ六千圓)又ハ五百圓ヲ超エザルモノナルコト

八 貸付金額ハ田畑ニ在リテハ四千圓以内、宅地ニ在リテハ五百圓以内トシ農地ノ購入價格又ハ借替ヲ爲サントスル債務額ノ全額トスルコト但シ全額未滿ノ貸付ヲ受ケントスル者ニ對スル貸付金額ハ其ノ申込額トス

九 貸付利率ハ年三分二厘以下、据置期間ハ一年以内トシ償還期間ハ長官ノ適當ト認ムル場合ヲ除クノ外二十四年ヲ下ラザルコト

十 貸付ハ年賦償還ノ方法ニ依リ元金ト利息トヲ併セ計算シ毎期同一ノ金額ヲ償還セシムルコト

十一 借受人ガ特別ノ事由ニ因リ前號ノ規定ニ依ル償還金額ノ外未償還金額ヲ償還セントスルトキハ之ヲ認ムルコト

十二 購入シ又ハ維持シタル農地ノ收穫高ガ不可抗力ニ因リ著シク減少シ若ハ皆無ト成リタルトキ又ハ特別ノ事由ニ因リ必要アリト認メタルトキハ借受人ノ事情ニ應ジ償還方法ヲ適當ニ變更スルコト

十三 購入シ又ハ維持シタル農地ノ全部ノ上ニ貸付金ノ擔保トシテ第一抵當權ヲ設定スルコト

十四 市町村以外ノ團體ノ場合ニ在リテハ前項ニ依リ設定シタル抵當權ヲ北海道地方費ニ對シ提供スルコト

十五 借受人ハ償還ヲ了リタルトキト雖モ貸付ノ際決定セラレタル償還期間内又ハ第十二號ノ規定ニ依リ變更セラレタル償還期間内ハ市町村ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ自作ヲ爲サズ又ハ前號ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ農地ノ上ニ抵當權若ハ自作ノ障碍ト爲ルベキ權利ヲ設定スルコトヲ得ザルモノトスルコト

十五 借受人ハ前號ノ期間内農地ヲ讓渡スルコトヲ得ザルモノトスコト但シ市町村ノ定ムル制限ニ從ヒ農地ヲ市町村ニ

又ハ市町村ヲ經テ第三者ニ讓渡ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ
 十六 前號ノ規定ニ依リ農地ヲ市町村ヲ經テ第三者ニ讓渡ス場合ニ於テハ其ノ讓受人ハ第一號ノ資格ヲ具備シ且農地ヲ所有セズ又ハ第七號但書ニ該當スル者ニシテ借受人ノ債務ヲ引受クルモノナルコト
 十七 前號ノ讓受人ナキ場合ニ於テ其ノ他ノ者ニ農地ヲ讓渡シタルトキハ讓渡ノ際借受人ヲシテ未償還金額ヲ返還セシムルコト

十八 借受人ガ前數號ノ規定ニ依ル條件ニ違反シ事實ヲ欺罔シテ資金ノ貸付ヲ受ケ又ハ償還金ノ支拂ヲ怠リタルトキハ市町村ノ定ムル額ノ違約金ヲ徴收シ且貸付金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ又ハ未償還金額ヲ免除スル條件ニ依リ左ノ金額(借受人ガ購入シタル農地ノ上ニ賣買ノ慣行アル小作權ヲ有シタル場合ニ於テハ其ノ小作權ノ價額ヲ加算シタルモノ)ヲ以テ農地ヲ先買スルコトヲ得ルモノトスルコト

(一) 購入價額ノ全額ニ相當スル金額ノ貸付ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額
 (二) 購入價額ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲ行ヒタル場合又ハ自作農ノ維持ノ爲貸付ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ノ貸付ヲ行ヒタル場合又ハ自作農ノ維持ノ爲貸付ヲ行ヒタル場合ニ於テハ購入價額ト貸付金額トノ差額ヲ加算シタル金額

十九 借受人ガ第十四號ノ償還期間内ニ於テ氏名若ハ住所ヲ變更シ又ハ死亡、失踪、隱居、相續、破産等ノ事實ノ生ジタルトキハ本人、相續人、法定代理人又ハ破産管財人ヨリ市町村ニ其ノ旨ヲ届出ヅルモノトスルコト

第七條 市町村ハ個人ニ對シ未墾地開發資金ヲ貸付シ又ハ未墾地開發獎勵金ヲ交付スル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ルベシ
 一 資金ノ貸付又ハ獎勵金ノ交付ヲ受クル者ハ現ニ農業ニ從事シ自作農地ノ經營ヲ持續スルコトヲ得ル見込アル者ナルコト

二 未墾地ノ開墾ニ依ル農地ノ價格ハ未墾地ノ價格ニ開墾費(但シ獎勵金ノ交付アル場合ニ於テハ之ヲ控除ス)ヲ加算シタルモノガ附録ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ノ普通價格ヲ超エザル見込アルモノナルコト

三 未墾地ノ開墾ニ依ル農地ノ價格ハ田畑ニ在リテハ四千圓、宅地ニ在リテハ五百圓ヲ超エザルモノナルコト但シ資金ノ貸付又ハ獎勵金ノ交付ヲ受クル者ガ現ニ田畑又ハ宅地ヲ所有スル場合ニ於テハ其ノ田畑又ハ宅地ノ價格ト開墾ニ依

ル田畑又ハ宅地ノ價格トノ合計額ガ夫々四千圓(昭和十三年農林省令第三十三號ヲ以テ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ付テハ六千圓)又ハ五百圓ヲ超エザルモノナルコト

四 購入シ又ハ開墾セントスル未墾地ハ其ノ上ニ抵當權又ハ自作農ノ障碍ト爲ルベキ權利ガ存在セザルモノナルコト

五 貸付金額ハ田畑ト爲ス場合ニ於テハ四千圓以内、宅地ト爲ス場合ニ於テハ五百圓以内トシ未墾地ノ購入價額及開墾費ノ全額トスルコト但シ全額未滿ノ貸付ヲ受ケントスル者ニ對スル貸付金額ハ其ノ申込額トス

六 貸付利率ハ年二分五厘以下、据置期間ハ五年以内、償還期間ハ長官ノ適當ト認ムル場合ヲ除キ二十五年トスルノ外償還方法及貸付金ノ擔保トシテノ抵當權設定ニ付テハ前條第十號乃至第十三號ノ例ニ依ルコト

七 未墾地又ハ其ノ開墾ニ依ル農地ノ利用、處分等ニ付テハ前條第十四號乃至第十七號及第十九號ノ例ニ依ルコト但シ資金ノ貸付ヲ行ハザル場合ニ於テハ前條第十四號及第十五號ノ期間ハ獎勵金交付ノ時ヨリ三十年トスルコト

八 資金ノ貸付又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ資金ノ貸付ヲ行ヒタルトキハ市町村ノ定ムル額ノ違約金ヲ徴收シ且貸付金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ獎勵金ノ交付ヲ行ヒタルトキハ獎勵金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ジ又ハ獎勵金ノ交付ヲ停止シ若ハ廢止スルコトヲ得ルモノトスルコト

(一) 前數號ノ規定ニ依ル條件ニ違反シタルトキ
 (二) 開墾ノ全部若ハ一部ヲ停止シ若ハ廢止又ハ開墾ノ成績不良其ノ他目的達成困難ナルトキ
 (三) 事實ヲ欺罔シテ資金ノ貸付又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ
 (四) 償還金ノ支拂ヲ怠リタルトキ

九 前號ノ場合ニ於テ市町村ハ未墾地ノ購入ノ爲ノ貸付金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシムルコトニ代ヘ未償還金額ヲ免除スル條件ニ依リ左ノ金額ヲ以テ土地ヲ先買スルコトヲ得ルモノトスルコト
 (一) 未墾地ノ購入價額ノ全額ニ相當スル金額ノ貸付ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ開墾ニ因リ現ニ存スル増價額ヲ加算シタル金額
 (二) 未墾地ノ購入價額ノ一部ニ相當スル金額ノ貸付ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ未墾地ノ購入價額ト貸付金額トノ差額及開墾ニ因リ現ニ存スル増價額ヲ加算シタル金額

第八條

市町村ハ農地購入資金ノ貸付ヲ受ケ農地ヲ購入スル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ルベシ
一 購入セントスル農地ガ小作地又ハ借地ナル場合ニ於テハ其ノ小作人又ハ借地人ニ付第三號ノ規定ニ依リ自作農ノ創設ヲ行フコトヲ得ルモノナルコト但シ其ノ他ノ者ニ對シ自作農ノ創設ヲ行フコトニ付其ノ小作人又ハ借地人ガ同意シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二 購入セントスル農地ハ其ノ上ニ抵當權又ハ自作農ノ創設ニ障礙ト爲ルベキ權利ガ存在セザルモノナルコト但シ抵當權ニ在リテハ購入ニ際シ之ヲ解除スルコトヲ得ルモノハ此ノ限ニ在ラズ

三 購入シタル農地ハ資金貸付ノ時ヨリ五年以内又ハ特別ノ事由ニ因リ長官ノ承認ヲ得タル期間内ニ第六條各號ノ例ニ依リ資金ノ貸付ニ代ヘ代金割賦支拂ノ方法ヲ以テ自作農地トシテ之ヲ讓渡スコト但シ長官ノ承認ヲ得テ第二條第一號ノ個人ニ轉貸スル農地購入資金ノ貸付ニ依リ讓渡スコトヲ妨ゲズ

四 購入シタル農地ハ前號ノ規定ニ依リ自作農ノ創設ヲ行フ迄ノ期間ハ其ノ創設ヲ受ケントスル者ヲシテ之ヲ耕作シ又ハ使用セシムルコト

五 購入シタル農地ハ長官ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ自作農ノ創設ノ用ニ供セズ之ヲ貸付ケ若ハ讓渡シ又ハ之ニ付抵當權其ノ他ノ物權ヲ設定スルコトヲ得ザルコト但シ第三號ノ規定ニ依ル讓渡又ハ前號ノ規定ニ依リ貸付ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 市町村ハ未墾地開發資金ノ貸付又ハ未墾地開發獎勵金ノ交付ヲ受ケ未墾地ヲ開發スル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ルベシ

一 購入シ又ハ開發セントスル未墾地ハ其ノ上ニ抵當權又ハ自作農ノ創設ニ障礙ト爲ルベキ權利ガ存在セザルモノナルコト

二 未墾地ノ開發ニ依ル農地ハ開發完了後遲滯ナク第六條各號ノ例ニ依リ資金ノ貸付ニ代ヘ代金割賦支拂ノ方法ヲ以テ自作農地トシテ之ヲ讓渡スルコト但シ長官ノ承認ヲ得テ第二條第一號ノ個人ニ轉貸スル農地購入資金ノ貸付ニ依リ讓渡スコトヲ妨ゲズ

三 未墾地ノ開發ニ依ル農地ハ前號ノ規定ニ依リ自作農ノ創設ヲ行フ迄ノ期間ハ其ノ創設ヲ受ケントスル者ヲシテ之ヲ

農地調整關係例規

○農地調整法施行細則

(昭和十三年十二月二十一日) 北海道廳令第八十一號

第一條 農地調整法第三條ノ規定ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ求メントスル者ハ農地ノ地目、地番、面積及其ノ事由竝ニ希望事項ヲ具シ農地調整法第三條ノ團體ニ申出ヅベシ

前項ノ申出ヲ受ケタル團體ハ其ノ旨當該市町村農地委員會ニ通知スベシ

第二條 市町村農地委員會前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ寫ヲ添ヘ第一號様式ニ依リ之ヲ長官ニ報告スベシ

第三條 農地調整法第三條ノ團體同條ノ規定ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲シタルトキハ第二號様式ニ依リ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ

前項ノ規定ニ依ル農地ノ管理ヲ廢シ又ハ買取リタル農地ヲ處分セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ長官ノ認可ヲ受クベシ

第四條 農地調整法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行ハントスル市町村、産業組合又ハ農事實行組合農地調整法施行規則第七條ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ之ヲ長官ニ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 事業ニ關スル收支豫算書
- 三 事業ニ關スル諸規程

四 資金ニ關スル調書

五 未墾地ノ開發事業ノ施行ニ關シ必要ナル認可、許可ノ議決又ハ同意ヲ證スル書面
前項書類ノ外長官ハ必要アリト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第五條 農地調整法施行規則第九條ノ規定ニ依リ長官ノ認可ヲ受ケタル團體其ノ協議終了シタルトキハ其ノ願末ヲ遲滯ナク長官ニ報告スベシ

第六條 農地調整法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行フ市町村、産業組合又ハ農事實行組合農地調整法施行規則第六條第三項第二號又ハ第四號ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ長官ニ申請スベシ

第七條 農地調整法第五條及同法施行規則第十條ノ規定ニ依リ長官ノ定メタル區域内ニ農地ヲ所有スル者其ノ農地ヲ處分セントスル場合ハ第三號様式ニ依リ農地處分ノ一月前迄ニ其ノ農地ノ所在スル市町村農地委員會ニ其ノ旨通知スベシ

第八條 小作關係、相隣關係其ノ他農地ノ利用關係、農地ノ交換分合其ノ他農地ニ關シ斡旋ヲ求メントスル者ハ當事者ノ住所氏名、土地ノ地目、地番、面積及斡旋ヲ求メントスル内容ヲ明ニシ書面又ハ口頭ヲ以テ其ノ農地ノ所在スル市町村農地委員會ニ申出ヅベシ

當事者ヨリ口頭ヲ以テ前項斡旋ノ申出アリタル場合ハ市町村農地委員會其ノ調書ヲ作成スベシ

第九條 市町村農地委員會農地調整法第五條及第九條第三項ノ通知ヲ受ケタル場合又ハ前條ノ斡旋ノ申出ヲ受ケタル場合ハ其ノ通知書、申出書又ハ調書ノ寫ヲ添へ第一號様式ニ依リ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ

第十條 市町村農地委員會農地調整法第五條及第九條第三項ノ通知ヲ受ケタル場合ノ斡旋、小作關係、相隣關係其ノ他農地ノ利用關係、農地ノ交換分合其ノ他農地ニ關スル斡旋若ハ爭議ノ防止又ハ農地調整法第十四條ノ規定ニ依リ裁判所ニ對スル意見ノ申出ヲ爲シタル場合ハ第四號様式ニ依リ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ

第十一條 市町村農地委員會會議ヲ召集セントスルトキハ會議ノ日時、場所及附議スベキ事項ヲ記載シ開催期日十日前迄ニ之ヲ長官ニ届出ヅベシ

第十二條 市町村農地委員會會議終了シタルトキハ附議シタル事項ニ會議ノ願末ヲ記載シ且其ノ決議錄謄本ヲ添へ遲滯ナク之ヲ長官ニ報告スベシ

第十三條 農地調整法施行令第十八條ノ規定ニ依ル費用中市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ノ旅費、日當及宿泊料ノ費用ニ付市町村長其ノ實費ヲ徵收セントスルトキハ第十六條ノ規定ニ依ル旅費、日當及宿泊料額ノ範圍内ナルコトヲ要ス

前項ノ旅費、日當及宿泊料以外ノ費用ニ付市町村長其ノ實費ヲ徵收セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ長官ノ承認ヲ受クベシ

第十四條 市町村農地委員會其ノ會長、委員及臨時委員ニ闕員又ハ異動ヲ生ジタル場合ハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ長官ニ届出ヅベシ

第十五條 市町村農地委員會ニ書記ヲ置クコトヲ得
書記ハ市町村農地委員會長之ヲ任命又ハ囑託ス
書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第十六條 市町村、市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ニ對シ旅費、日當及宿泊料ヲ支給セントスル場合ハ左ノ各號ニ據ルベシ

一 官公吏タル會長、委員及臨時委員ニ對シテハ本職相當額

二 其ノ他ノ會長、委員及臨時委員ニ對シテハ當該市町村ノ名譽職委員給與ニ關スル條例ニ定ムル給與額

第十七條 農地調整法及之ニ基ク勅令、命令又ハ本令ニ依リ長官ニ提出スベキ書類ハ市ニ在リテハ市長、町村ニ在リテハ町村長及支廳長ヲ經由スベシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

農地ニ關スル通知申出受理報告書

受理年月日 昭和 年 月 日

事件番号	昭和	年	第	號
事件名				
通知者(申出者)住所氏名				
關係農地ノ所在地				

右別紙相添へ報告候也

昭和 年 月 日

北海道廳長官

殿

郡(市)町(村)農地委員會長 氏

名 團

記載上ノ注意

- 一 市町村農地委員會ハ毎年一月一日ヨリ十二月末日迄ノ年度トスル事件番號簿ヲ備付ケ各種ノ通知又ハ斡旋ノ申出等ヲ受理シタル場合ハ其ノ都度之ニ記入シ「事件番號」欄ニハ其ノ番號及受理年度ヲ記載スルコト
- 二 「事件名」欄ニハ農地ノ管理(買取)、農地處分前ノ通知、小作契約ノ解約又ハ更新ノ拒絕ノ通知、小作料減免、小作契約繼續、小作料値下、用水路築設、防風林ノ除去等事件ノ内容ヲ表示スル事件名ヲ記載スルコト
- 三 「通知者(申出者)住所氏名」欄ニハ第一條第三項ノ報告ニ在リテハ農地ノ管理(買取)ノ申出者ノ住所氏名ヲ其ノ他ノ通知又ハ斡旋ノ申出ノ報告ニ在リテハ其ノ通知者又ハ申出者ノ住所氏名ヲ夫々記載シ若シ通知者又ハ申出者ニシテ二名以上ノ場合ハ住所氏名ハ一名ヲ以テ代表セシメ他ハ外何名ト記載スルコト
- 四 「關係農地ノ所在地」欄ニハ郡市町村字名及現地目反別ヲ記載スルコト

第二號様式

農地調整法第三條ノ事業ニ關スル報告書

一 農地ノ表示其ノ他

郡市町村字名	地番	地目	段別	農地ノ區別	小作料	小作期間	土地所有者住所氏名	小作人住所氏名	備考
--------	----	----	----	-------	-----	------	-----------	---------	----

- 一 農地ノ管理(買取)申出者ノ住所氏名申出ノ事由
- 一 管理條件並ニ管理方法
- 一 買取條件並ニ買取農地ノ措置

昭和 年 月 日

郡(市)町(村)

團體名

代表者 氏

名 團

北海道廳長官

殿

記載上ノ注意

- 一 農地ノ表示其ノ他中
 - (イ) 「地目」欄ニハ現地目ヲ記載スルコト
 - (ロ) 「農地ノ區別」欄ニハ自作地、小作地又ハ小作ニ付シタル土地ノ別ニ依リ記載スルコト
 - (ハ) 小作料物納ノ農地ニ在リテハ「小作料」欄ニ其ノ小作料ノ種類別數量ヲ記載スルコト
 - (ニ) 「小作期間」欄ニハ小作契約ニ定メタル年月及期間ヲ記載スルコト
 - (ホ) 特ニ契約アル小作地又ハ小作ニ付シタル土地ニ在リテハ「備考」欄ニ其ノ特約事項ヲ詳記スルコト
- 二 申出ノ事由ニハ(イ)兵役(ロ)自己又ハ家族ノ徵用(ハ)牛馬ノ徵發(ニ)農村ノ經濟更生ノ爲ニスル移民(ホ)其ノ他公共ノ爲等ノ別ニ依リ詳細ニ其ノ事由ヲ記載スルコト

第三號様式

農地ノ表示 通知書

一 田 郡(市)町村字 番地
 一 畑 町段 郡(市)町村字 番地

合計 畑田 (以下做之)
 前記ノ農地處分致度昭和 年 月 日 北海道廳令第 號ニ依リ左記事項相添へ及通知候也
 昭和 年 月 日 土地所有者 住所 氏 名 印

市町村農地委員會長

殿

氏

名 印

- 一 處分セントスル農地ノ希望賣買價格
- 二 處分ニ要スル見込期間
- 三 處分セントスル農地ガ小作地ナル場合ニ限リ特ニ記載スベキ事項

郡(市)町村字名	地番地目	反別	小作料	小作期間	其ノ他特ニ契約セル事項	小作所氏名

記載上ノ注意

- 一 農地ノ表示ニ記載スベキ農地ノ筆數多キトキハ農地ノ所在地、地番、地目、反別ヲ記載シタル目錄ヲ添附シ田畑別合計反別ノミヲ記載スルコト
- 二 處分セントスル農地ノ希望價格ノ記載ニ付テハ其ノ總額ノ外田畑別ニ依ル金額ヲ併記スルコト
- 三 處分セントスル農地ガ小作地ナル場合ニ限リ記載スベキ事項中小作料、小作期間ノ記載ニ付テハ第二號様式ノ記載上ノ注意一ノハ及(ニ)準ジ記載スルコト

第四號様式

農地關係ノ斡旋(爭議ノ防止)(裁判所ニ對スル意見ノ申出)ニ關スル報告書

通知(申出)年月日	終了年月日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	事件番號		昭 和 年 第 號
				住 所	住 所	

右報告候也 昭和 年 月 日

昭和 年度未墾地開發資金借入申請書

一 未墾地開發資金總額 金

(一) 市町村(團體)資金 金

 内 譯

 土地購入資金 金

 開墾資金 金

(二) 轉貸資金 金

 内 譯

 土地購入資金 金

 開墾資金 金

二 未墾地開發獎勵金總額 金

(一) 開墾獎勵金 金

 内 譯

 (イ) 市町村(團體)開墾 金

 (ロ) 個人開墾 金

 (ニ) 移住獎勵金 金

 内 譯

 (イ) 市町村(團體)建設 金

 (ロ) 個人建設 金

右自作農創設維持獎勵規程ニ依リ資金貸付並ニ獎勵金交付相成度別紙關係書類相添此段申請候也

昭和 年 月 日

市町村長 何 某 回

北海道廳長官宛

事業計畫說明書(表紙)

何 市 町 村

(其ノ一)

既往ニ於ケル自作農創設維持事業ノ爲ノ借入金額

借入先	借入金額		借入年月日	償還期限	利率	貸付先(資金轉貸者)ヨリノ元利延滞額	備考
	當月初	現在					
簡易生命保險積立金	圓	圓				利元子金	
小計						利元子金	
預金部資金						利元子金	
小計						利元子金	
合計						利元子金	

住		資金借受人		現在所有地		維持資金ノ貸付ヲ必要トスル理由	
宅	畑	田	町	宅	畑	田	町
計		計		計		計	
購入シタル年	大字	地番	地積	維持セントスル土地	借換ヘントスル土地	借換ヘントスル土地	資金貸付豫定額
町	町	町	町	町	町	町	町
円	円	円	円	円	円	円	円
格	格	格	格	格	格	格	格
入	入	入	入	入	入	入	入
額	額	額	額	額	額	額	額
高	高	高	高	高	高	高	高
小	小	小	小	小	小	小	小
作	作	作	作	作	作	作	作
料	料	料	料	料	料	料	料
租	租	租	租	租	租	租	租
公	公	公	公	公	公	公	公
課	課	課	課	課	課	課	課
年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日
限	限	限	限	限	限	限	限
利	利	利	利	利	利	利	利
率	率	率	率	率	率	率	率
借	借	借	借	借	借	借	借
入	入	入	入	入	入	入	入
額	額	額	額	額	額	額	額
初	初	初	初	初	初	初	初
在	在	在	在	在	在	在	在
額	額	額	額	額	額	額	額
現	現	現	現	現	現	現	現
在	在	在	在	在	在	在	在
額	額	額	額	額	額	額	額
借	借	借	借	借	借	借	借
換	換	換	換	換	換	換	換
ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ
ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
土	土	土	土	土	土	土	土
地	地	地	地	地	地	地	地
地	地	地	地	地	地	地	地
積	積	積	積	積	積	積	積
見	見	見	見	見	見	見	見
積	積	積	積	積	積	積	積
價	價	價	價	價	價	價	價
額	額	額	額	額	額	額	額
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
備	備	備	備	備	備	備	備
考	考	考	考	考	考	考	考

記載上ノ注意

- 一 本表ハ一人一枚トシ最後ニ其ノ市町村ノ計ヲ附スルコト
- 二 地目ハ現地目ニ依リ之ヲ區別ノコト
- 三 畑地ニシテ收穫物數種アル場合ニ於テハ段當收穫高欄ニハ其ノ收穫物ヲ金額ニ換算シタル合計金額ヲ記載ノコト
- 四 小作料穀納ノ場合ハ其ノ種類別、數量、金額ヲ收穫高、小作料欄ニ各併記シ備考ニ石當換算金額ヲ記載ノコト

五 收穫物及小作料トシテ支拂フ現物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五年ノ平均價格ニ依ルコト
 (其ノ三)
 規程第八條ニ依ル計畫

- 一 計畫ノ事由
- 二 計畫ノ要領
- (一) 資金ノ借入及讓渡又ハ貸付ノ條件及償還方法
- (二) 借入豫定

資金ノ種別		創設人員		借入金額		購入別		豫定		備考	
一年以内	五年以内	人	人	圓	圓	町	町	圓	圓	圓	圓
据置ノモノ	据置ノモノ										
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
宅	畑	田	町	宅	畑	田	町	宅	畑	田	町
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
格	格	格	格	格	格	格	格	格	格	格	格
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高
小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作	作
料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料	料
租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租	租
公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公	公
課	課	課	課	課	課	課	課	課	課	課	課
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
限	限	限	限	限	限	限	限	限	限	限	限
利	利	利	利	利	利	利	利	利	利	利	利
率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率	率
借	借	借	借	借	借	借	借	借	借	借	借
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現	現
在	在	在	在	在	在	在	在	在	在	在	在
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
借	借	借	借	借	借	借	借	借	借	借	借
換	換	換	換	換	換	換	換	換	換	換	換
ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ	ヘ
ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土	土
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積
見	見	見	見	見	見	見	見	見	見	見	見
積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積	積
價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價
額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備
考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考	考

總括ノ二

償還年次表 (元金 圓也)

償還年月日	償還殘元金	年賦		備考
		償還元金	償還利子	
合計				

第二十 市町村ニ於ケル資金ノ借入ガ年度經過後ナル場合ノ初年度ノ利子ハ借入ノ日ノ翌日ヨリ起算シ左ノ方法ニ依リ日割計算スルコト而シテ此ノ方法ハ市町村ガ資金ヲ個人ニ轉貸スル場合ニ於テ之ヲ適用スルコト

借入金額×利率×
實際貸付スベキ日數
其ノ年ノ日數(365日又ハ366日)

(前乗後除ノ方法ニ依リ算出シ錢以下四捨五入ノコト)

第二十一 市町村ハ資金ノ貸付ヲ受ケタル日ヨリ二月以内ニ規程第六條乃至第九條ノ規定ニ依リ夫々轉貸ヲ了シ遲滞ナク左ノ書類ヲ提出スルコト但シ未墾地創設事業資金ノ場合ハ第四號ノ書類ハ提出ヲ要セズ

一 別記様式ニ依ル貸付調書(正副二通)

二 資金貸付契約書ノ寫

三 左ノ事項ヲ記載シタル土地登記簿抄本

(イ) 創設ニ在リテハ

前所有者新所有者ノ住所氏名、地番、地目、地積、所有權移轉年月日、抵當權者名、債券金額、抵當權設定年月日及自作地登記年月日

(ロ) 維持ニ在リテハ

現所有者住所氏名、地番、地目、地積、抵當權者名、債券金額、抵當權設定年月日、前抵當權抹消年月日及自作地

登記年月日

四 簡易保險加入狀況調(三通)

(昭和十二年一月十四日丑農第九二號通牒ニ依ルモノ)

註 貸付調書ニ記載スベキ事項ハ既ニ提出シタル借入申請書ニ添附セル事業計畫說明書ノ夫ト同一ナルコトヲ原則トスルモ輕微ナル相違ニ對シテハ規程第十四條ノ認可ヲ省略スル見込ニ付右ノ場合ハ其ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ必ズ添付スルコトヲ要ス

(其ノ一)

規程第六條ニ依ル分

(イ) 創設資金貸付調書

購入者		購入地		貸付		購入後ノ所有反別		賣却者ノ氏名現地反別及在不在別	
郡市町名及氏村名	購入前ノ所有地	地目別	反別	金額	貸付年月日	合計	反別	氏名現地反別及在不在別	備考
畑	田	畑	田			畑	田		
宅	計	宅	計			宅	計		
畑	田	畑	田			畑	田		
計		計				計			

區分	規程第六條ニ依ルモノ			規程第七條ニ依ルモノ	規程第八條ニ依ルモノ	規程第九條ニ依ルモノ		
	計	維持	購入			建物	農地	計
人								
(團體數)								
地目別	宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田
別反別	町							
貸付又ハ使用資金額								
獎勵金額付								
備考								

區分	貸付又ハ使用未済資金		交付未済獎勵金
	建物	農地	
金額			
保管方法			

記載上ノ注意

- 一 本表前段ノモノニ付テハ當該年度ニ於テ實施シタルモノノ全部ヲ記載ノコト
- 二 本表後段ノモノニ付テハ當該年度未現在額ヲ記載ノコト

一 規程第六條ニ依ルモノ

購入維持別	維持	購入	計	購入維持別		備考
				地目	金額及反別	
宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田	宅計畑田	町	貸付金額	
					維持者ノ數	

記載上ノ注意

- 一 備考欄ニハ賣却者ノ賣却前ニ於ケル田畑所有反別ニ依リ百町歩以上、五十町歩以上、三十町歩以上、十町歩以上、三町歩以上、一町歩以上、一町歩未満ノ七階級ニ區分シ各階級別ニ人數及賣却反別ヲ記載ノコト
- 二 本表ニ於ケル貸付濟額資金額ニ付テハ個人ニ對シ貸付ナリシタルモノヲ記載ノコト
- 三 市町村ニ於テ資金ヲ借入レタルモ未ダ個人ニ對シ貸付ナリセザルモノアルトキハ其ノ金額ヲ備考欄ニ記載ノコト

區	分	權利ノ種類別	町	村	地目別反別	人員	事由	備	考
		種類別ノ	町	村	町	人員	事由	備	考
		地目別反別	町	村	町	人員	事由	備	考
		人員	人員	人員	人員	人員	事由	備	考
		事由	事由	事由	事由	事由	事由	備	考
		備	備	備	備	備	備	備	考
		考	考	考	考	考	考	考	考

三 施設者ノ承認又ハ認可ヲ得タル抵當權若ハ其ノ他ノ權利ノ設定
 (一) 個 人

計	支拂ニ依ルモノ	割賦代金	武代金	計	其宅ノ他地	計	其宅ノ他地	計	其宅ノ他地

區	分	地目別反別	人員	人員	當初貸付金(代金額)	償還方法變更前ノ償還方法	償還方法變更後ノ償還方法	事由	由	備	考
		町	人員	人員	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
		人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
		事由	事由	事由	事由	事由	事由	事由	事由	事由	事由
		備	備	備	備	備	備	備	備	備	備
		考	考	考	考	考	考	考	考	考	考

二 貸付資金(割賦代金)ノ償還(支拂)方法ノ變更

二 建設若ハ獎勵金ノ交付又ハ讓渡ヲ豫定通ニ終了セザルモノニ付テハ其ノ事由及之ニ對スル處置方法ヲ説明ノコト
 第一 資金貸付、獎勵金交付又ハ事業施行後ノ狀況
 一 貸付資金(割賦代金)ノ繰上償還(支拂)

- 第三 未墾地開發資金ノ轉貸ヲ爲サントスル市町村(團體ヲ含ム)ニ在リテハ昭和十四年度資金ニ限り本年九月末日迄ニ其ノ必要ノ都度規程第十二條ニ依リ貸付申請ヲ爲スコト
- 第四 未墾地開發獎勵金ハ農林省豫算ノ關係上昭和十五年度以降之ヲ交付ス但シ開墾補助規程ニ依ル從來ノ補助金ハ之ノ限ニ在ラズ

○支那事變出征記念自作農創設維持事業實施ニ關スル件

(昭和十三年九月十一日)
(實經第四三三三號)

時局ニ鑑ミ銃後施設ノ完璧ヲ期スルハ極メテ緊切ニ有之候處支那事變ニ於ケル戦死傷者又ハ其ノ遺家族ニ對シ其ノ將來生活ノ安定ヲ圖ラシムル爲事變ニ關シ交付セラルル賜金ヲ基礎トシテ自作農地ヲ購入シ又ハ維持セシムルコトハ極メテ適切ナル對策ト認メ今般支那事變出征記念自作農創設維持ノ事業ヲ實施シ之ニ對シ政府融通ノ自作農創設維持資金貸付ノ途ヲ拓クコトト相成候ニ付テハ之ニ伴フ當廳資金貸付規程ハ近ク之ヲ改正シ事業施行上萬遺憾ナキヲ期セントスル見込ニ付左記事項了知ノ上該當者有之候ハ別記様式ニ依リ九月二十日迄ニ必ず回報相成度

追テ市ニ於テ施設セントスル本事業ハ都市計畫區域外ニ現住シ且本件ニ該當スベキ自作農家ニ限ル義ト了知相成度尙産業組合ニ對スル本件通牒ハ當該市町村長ヨリ之ヲ爲ス様致度

記

- 第一 資金ノ貸付ヲ受クル者ハ農業者ニシテ支那事變又ハ支那事變ニ際シテノ滿洲ニ於ケル軍事行動ニ關シ戰闘其ノ他ノ公務ニ從事シ爲ニ戰歿シタル者ノ遺族又ハ之ガ爲戰傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者又ハ其ノ家族ナルコト
- 第二 貸付金額ハ自作農地ノ購入又ハ維持ニ要スル金額ヨリ事變ニ關シ交付セラルル賜金及自己資金ヲ以テ充當シ得ル金額ヲ控除シタル殘額トスルコト即チ左ノ如シ
- (一) 自作農地ノ創設
 - 1 所有地ヲ有スル者
 - 現ニ所有スル土地ノ價額ヲ合セ六千圓迄ノ土地ヲ購入セントスル者ナルコト而シテ其ノ購入土地代金ニ對シ貸付スベキ金額ハ賜金(三分ノ二以上)及自己資金ヲ充當シタル殘額トシ其ノ額ハ貸付金ノ制限額タル四千圓以内ナルコト
 - 2 所有地ヲ有セザル者
 - 四千圓迄ノ土地ヲ購入セントスル者ナルコト而シテ其ノ購入土地代金ニ對シ貸付スベキ金額ハ賜金(三分ノ二以上)及自己資金ヲ充當シタル殘額トスルコト
 - (二) 自作農地ノ維持
 - 六千圓迄ノ土地ヲ所有(購入年限ニ制限ナシ)スル爲ニ生ジタル高利ノ債務(土地抵當債務タルコトヲ要セズ)ヲ借替セントスル者ナルコト而シテ其ノ殘債務ノ借替ニ貸付スベキ金額ハ賜金(三分ノ二以上)及自己資金ヲ充當シタル殘額トシ其ノ額ハ貸付金ノ制限額タル四千圓以内ナルコト
 - 第三 戦死又ハ戰傷病ニ因リ自作地ヲ一時耕作シ得ザル場合ト雖モ近キ將來ニ於テ之ヲ自作地トシテ經營シ得ル見込確實ナルトキハ本事業ノ趣旨ニ鑑ミ支障無キ限リ農地調整法施行規則第六條第一項第一號ノ適格者トシテ取扱フコトヲ得ルコト

(様式ハ一般ノ自作農創設維持ト同一ト爲シタルヲ以テ省略)

○農地調整法第三條ノ農地ノ管理又ハ買取ニ關スル件

(昭和十四年五月三十日)
(卯經第二三九〇號)

農地調整法第三條ノ農地ノ管理又ハ買取ノ事業ニ關シテハ既ニ夫々配意ノコトト存候モ時局下ニ於ケル農村ノ事情ニ鑑ミ本事業ヲ行ヒ得ベキ市町村、市農會、町村農會、産業組合、農事實行組合及養蠶實行組合等ノ團體ハ左記事項參照ノ上積

極的ニ本事業ヲ實施相成様致度

追テ市町村以外ニ本事業ヲ行ヒ得ベキ團體及市町村農地委員會ニ對スル本件通牒ハ當該市町村長ヨリ移牒相成度

記

一 事業實施ノ方針

本事業ハ兵役其ノ他公共の理由ニ因リ農地ヲ自ラ耕作シ又ハ管理スルコト能ハザルニ至リタル農地ノ所有者及耕作者ノ爲ニ從來我が國農村ニ於テ行ハレ來リタル隣保相助ノ美風ヲ制度化シ以テ其ノ徹底ヲ圖ルト共ニ農業生産力ノ維持増進ヲ期スル目的ノ下ニ制定セラレタルモノニ付團體ガ本事業ヲ行フニ當リテハ左ノ方針ニ則リ之ヲ實施スルコト

(一) 管理ニ關スル事項

(イ) 農地ヲ賃貸ニ付スルコトヲ委託サレタル場合ニ於テ第三者ト小作契約ヲ締結スルニ當リテハ其ノ農地ヲ一時賃貸スルコトヲ明カニシ又申出者トノ間ノ委任契約中ニハ第三者トノ小作契約ニ關スル條件管理手数料等必要ナル事項ヲ定ムルコト

(ロ) 小作料ノ取立等其ノ他現在ノ小作契約ニ基キ管理ヲ爲スコトヲ委託サレタル場合ハ申出者トノ間ノ委任契約中ニハ小作料ノ減免、管理手数料等必要ナル事項ヲ定ムルコト

(ハ) 事實上ノ耕作ヲ爲スコトヲ委託サレタル場合ハ適當ナル事實上ノ管理人ヲ定メ成ルベク組合員等ノ努力奉仕ニ依リ可及的ニ經營費ノ節約ニ努メ經營ニ要シタル實費ヲ控除シタル殘餘ハ申出者ニ之ヲ交付スルモノトスルコト

(ニ) 買取ニ關スル事項

(イ) 買取ノ事業ヲ行フ場合ニ於テ其ノ買取資金ハ成ルベク農地調整法第六條ノ自作農創設維持事業ノ資金ヲ利用スルコト

(ロ) 農地調整法第六條ノ自作農創設維持事業ニ依ラズシテ農地ヲ買取ル場合ニ於テモ事業ノ圓滑ナル運行ヲ圖ル爲其ノ買取資金ノ調達ニ關シ資金計畫ヲ樹立スルコト

(ハ) 買取價格ニ付テハ農地調整法ニ依ル自作農創設維持事業トシテ買取ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ條件ニ依ル價格ヲ以テ買取ルコトヲ要スルハ勿論ナルモ其ノ他ノ場合ニ於テモ之ニ準ズル價格ヲ以テ買取ルコト

(ニ) 農地ヲ買取ル際ニ於テ農地調整法ニ依ル自作農創設維持事業ニ依ラザル場合ニ於テモ其ノ處分ニ當リテハ自作地ノ創設ヲ受ケントスル者ニ之ヲ讓渡シ自作農創設ノ爲ニ之ヲ利用スルコト而シテ其ノ農地ヲ直ニ自作地ノ創設ノ爲利用シ得ザルトキハ自作地ノ創設ヲ受ケントスル者ヲシテ一時耕作セシムルコト

二 管理買取規程ノ制定

市町村其ノ他ノ團體ガ本事業ヲ爲サントスル場合ハ農地調整法施行規則第四條ノ規定ニ依リ市町村農地委員會ノ審議ヲ經テ規程ヲ定メ長官ニ届出ヅルコトヲ要スルモノニ付別記準則ニ依リ左ノ手續ヲ經テ右規程ヲ制定スルコト

(一) 市 町 村

市町村ガ本事業ヲ爲サントスル場合ハ市町村農地委員會ノ審議ヲ經タル後市町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ制定スルコト

(二) 産業組合、市農會、町村農會、農事實行組合及養蠶實行組合

産業組合、市農會、町村農會、農事實行組合及養蠶實行組合ガ本事業ヲ爲サントスル場合ノ規程ハ市町村農地委員會ノ審議ヲ經タル後總會(總代會)ノ議決ヲ經テ之ヲ制定スルコト

尙市農會、町村農會ハ農地調整法施行規則第一條ノ規定ニ依リ買取ノ事業ハ之ヲ行ヒ得ザル儀ニ付別記準則中買取ニ關スル部分ハ之ヲ除クコト

三 市町村農地委員會ノ調査審議及斡旋

市町村農地委員會ガ前記團體ノ制定スベキ規程ノ審議又ハ前記團體ガ管理買取ノ申出ヲ受ケ之ヲ農地調整法施行細則第一條ノ規定ニ依リ市町村農地委員會ニ通知シ來リタル場合ノ調査審議ニ當リテハ市町村ノ事情及之ヲ行フ團體ノ性質、機能、事業ノ狀況等其ノ他各般ノ事情ヲ考察シ各團體間ノ連絡ヲ緊密ナラシメ必要アル場合ニハ農地調整法施行規則第二條ノ規定ニ依リ申出ヲ爲スベキ團體ヲ指定シテ積極的ニ本事業ヲ行ヒ得ル様取計ヲハ勿論、之等ノ團體ガ農地ノ管理ヲ引受ケントスル場合ハ之ヲ耕作スル適當ナル小作人ヲ斡旋シ、農地ノ買取ニ際シ買取資金ノ融通ヲ斡旋シ又ハ買取リタル農地ヲ處分スルニ當リテハ農地ヲ購入シテ自作農タラントスル者ニ斡旋シテ賣却セシムル等各般ノ斡旋ヲ爲シ本事業ノ圓滑ナル運營ヲ圖ルコト

(別記)

八〇

何々市(町)(村)(市農會)(町村農會) 農地管理買取規程準則
(産業組合)(農事實行組合)(養蠶實行組合)

第一條 本市(町)(村)(農會)(組合)(以下單ニ村ト稱ス) 農地調整法第三條ノ規程ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲ス
場合ハ本規程ニ依ルモノトス

第二條 農地ノ管理又ハ買取ヲ受ケントスル者ハ第一號様式ニ依リ申込書ヲ本村長ニ提出スベシ

第三條 農地ノ所有者又ハ耕作者ヨリ其ノ農地ヲ賃貸ニ付スル條件ヲ以テ管理ノ委託ヲ受ケタル場合ハ第二號様式ニ依リ
委任契約ヲ締結スルモノトス

前項ノ委任契約ヲ締結スルニ當リ小作料其ノ他ノ小作條件ニ付テハ本村農地委員會ノ審議ヲ經ルモノトス

第一項ノ規定ニ依リ委託ヲ受ケタル農地ハ本村住民(本會員又ハ本組合員)中適當ナル者ト第三號様式ニ依リ小作契約
ヲ締結シ之ヲ一時賃貸スルモノトス

第四條 農地ノ所有者ヨリ其ノ農地ニ付現ニ存續スル小作契約ニ基ク管理ノ委託ヲ受ケタル場合ハ第四號様式ニ依リ委任
契約ヲ締結スルモノトス

第五條 農地ノ所有者又ハ耕作者ヨリ自ラ耕作中ノ農地ヲ本村自ラ經營スルコトヲ條件トシテ管理ノ委託ヲ受ケタル場合
ハ第五號様式ニ依リ委任契約ヲ締結スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ委託ヲ受ケタル農地ハ本村ニ於テ適當ナル方法ニ依リ之ヲ經營シ其ノ收入ヨリ其ノ經營ニ要シタル實
費ヲ控除シ殘餘ハ之ヲ委託者ニ交付スルモノトス

第六條 第三條又ハ第五條ノ規定ニ依リ委託ヲ受ケタル農地ガ小作地ナルトキハ本村長ハ其ノ委託者ガ爲スベキ小作料ノ
支拂其ノ他農地ノ所有者又ハ之ニ付權利ヲ有スル者トノ間ニ存スル小作契約ノ履行上必要ナル事項ヲ爲スコトヲ得

第七條 第三條乃至第五條ノ規定ニ依リ委託ヲ受ケタル農地ノ管理ニ付必要ナル費用ハ委託者ノ負擔トス

前項ノ費用ハ本村長ノ請求アル場合ハ委託者ニ於テ之ヲ豫納スルコトヲ要ス

第八條 農地ノ管理委託者其ノ契約ニ定メタル管理期間中ハ本村長ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ其ノ農地ヲ處分シ又ハ之ヲ賃
貸人ニ返還スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ之ニ因リ生ジタル損害ハ管理委託者ニ於テ負擔スルモノトス

第九條 農地ノ管理委託者管理申出ノ事由消滅シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ本村長ニ申出ヅベシ

前項ノ規定ニ依リ申出アリタル場合ハ委任契約ヲ解除スルモノトス但シ第三條ノ規定ニ依リ委託ヲ受ケタル農地ニシテ
其ノ申出ガ耕作著手後ナルトキハ其ノ收穫終了後ニ於テ之ヲ解除スルモノトス

第十條 前條ノ規定ニ依リ本村ガ農地ヲ委託者ニ返還セントスルトキハ第三條ノ賃借人ハ直ニ其ノ農地ヲ本村ニ返還スル
モノトス

第十一條 第三條ノ賃借人ハ本村長ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ其ノ賃借地ヲ他人ニ利用セシムルコトヲ得ズ

第十二條 本村長必要アリト認メタルトキハ農地ノ管理委託者ヲシテ管理農地ノ小作料(小作料ノ定ナキ場合ハ其ノ農地
ノ附近ニ於ケル類似土地ノ小作料ニ依ル)ノ百分ノ五以内ノ管理手数料ヲ納入セシムルコトヲ得

第十三條 本村ガ農地ノ買取ヲ爲ス場合ハ本村自作農創設維持獎勵規程ニ定ムル標準價格及當該地方ニ於ケル普通價格ノ
範圍内ニ於テ本村農地委員會ノ審議ヲ經テ之ヲ買取ルモノトス

第十四條 前條ノ規定ニ依リ買取リタル農地ヲ處分セントスル場合ハ農地調整法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持事業
ニ依ルモノトス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 買取リタル農地ヲ前條ノ規定ニ依リ直ニ自作農創設ノ爲ニ處分スルコト能ハザル場合ハ自作農創設ヲ行ヒ得ル
迄ノ期間ハ其ノ創設ヲ受ケントスル者ニ之ヲ耕作又ハ使用セシムルモノトス

第十六條 買取リタル農地ヲ前條ノ規定ニ依リ耕作又ハ使用セシムル場合ハ特別ノ事由アル場合ヲ除キ本村農地委員會ノ
審議ヲ經テ小作料其ノ他ノ小作條件ヲ定メ第三號様式ニ依リ小作契約ヲ締結シ之ヲ賃貸スルモノトス

第一號様式

八一

第五條

獎勵金ハ自作農地ト爲ス爲未墾地ヲ購入セントスル者ノ左ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス

第六條

獎勵金ノ額ハ左ノ標準ニ依ル

- 一 第五條第一號ニ關スルモノニ在リテハ工事費ノ十分ノ四以内
- 二 第五條第二號ニ關スルモノニ在リテハ移住家屋ニ付テハ一戸當三百圓以内、共同建造物ニ在リテハ其ノ建設ニ要スル費用ノ十分ノ三以内

第七條

自作農地トシテ農地ヲ購入シ又ハ自作農地ヲ維持セントスル者ニ對シ第二條第一號又ハ第二號ノ規定ニ依ル資金ノ轉貸ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ル

- 一 轉借人ハ現ニ農業ニ從事シ且自作農地ノ經營ヲ持續シ得ル見込確實ナルコト
- 二 購入セントスル農地ガ小作地又ハ借地ナル場合ニ於テハ其ノ小作人(其ノ田畑ヲ現ニ耕作セザルモノヲ除ク以下之ニ同ジ)又ハ借地人(其ノ宅地ヲ現ニ使用セザル者ヲ除ク以下之ニ同ジ)ナルコト但シ購入ニ付其ノ土地ノ小作人又ハ借地人ノ同意ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 購入セントスル農地ノ購入價格ハ轉借人ガ自作農地ノ經營ヲ持續スルコトヲ得ル爲附錄第一號ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ノ普通價格ヲ超エザルコト
- 四 小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ農地ノ購入ニ際シ其ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ農地ノ購入價格ニ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノガ前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エザルコト
- 五 維持ノ爲借替ヲ爲サントスル債務額ハ第三號ノ標準價格及普通價格ヲ超エズ且其ノ農地ノ購入價格(小作權ヲ併セ購入シタル場合ニ於テハ其ノ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノ)ガ購入當時ニ於ケル第三號ノ標準價格及普通價格ヲ超エザルコト
- 六 購入シ又ハ維持セントスル農地ハ其ノ上ニ抵當權又ハ自作ノ障礙ト爲ルベキ權利ガ存在セザルコト但シ抵當權ニ在

リテハ購入ニ際シ之ヲ解除スルコトヲ得ルモノハ此ノ限ニ在ラズ

- 七 購入シ又ハ維持セントスル農地ノ價額ハ田畑ニ在リテハ四千圓、宅地ニ在リテハ五百圓ヲ超エザルコト但シ轉借人ガ現ニ田畑又ハ宅地ヲ所有スル場合ニ於テハ其ノ田畑又ハ宅地(維持ノ場合ニ於テハ維持セントスル田畑又ハ宅地ヲ除ク)ノ價額ト購入シ又ハ維持セントスル田畑又ハ宅地ノ價額トノ合計額ガ夫々四千圓(支那事變又ハ支那事變ニ際シテノ滿洲ニ於ケル軍事行動ニ關シ戰鬪其ノ他ノ公務ニ從事シ爲ニ死歿シタル者ノ遺族又ハ之ガ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者若ハ其ノ家族ニ對シテ行フ自作農創設維持事業ニ在リテハ六千圓又ハ五百圓ヲ超エザルコト)
- 八 轉貸金額ハ田畑ニ在リテハ四千圓、宅地ニ在リテハ五百圓以内トシ農地ノ購入價額又ハ借替ヲ爲サントスル債務額ノ全額トスルコト但シ全額未滿ノ轉借ヲ受ケントスル者ニ對スル轉貸金額ハ其ノ申込額トス
- 九 購入シ又ハ維持シタル農地ノ收穫高ガ不可抗力ニ因リ著シク減少シ又ハ皆無ト成リタルトキト雖モ長官ノ承認ヲ經タル場合ヲ除ク外轉貸金ノ償還方法ハ之ヲ變更スルコトヲ得ズ
- 十 轉借人ハ償還ヲ了リタルトキト雖モ轉貸ノ際決定セラレタル期間内又ハ第九號ニ依リ變更セラレタル償還期間内ハ市(町)(村)ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ自作ヲ爲サズ又ハ第四條ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ農地ノ上ニ抵當權若ハ自作ノ障礙ト爲ルベキ權利ヲ設定スルコトヲ得ズ
- 十一 轉借人ハ前號ノ期間内農地ヲ讓渡スコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ一ニ依リ農地ヲ市(町)(村)ニ又ハ市(町)(村)ヲ經テ第三者ニ讓渡ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- (一) 轉借人若ハ同居家族死亡シ又ハ疾病ニ罹リ其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ將來自作田畑ノ經營ヲ持續シ得ザルニ至リタルトキ
- (二) 土地ノ收用ニ因ルノ外其ノ土地ヲ公共ノ用ニ供スルノ必要アルトキ
- 十二 前號但書ノ規定ニ依リ農地ヲ市(町)(村)ヲ經テ第三者ニ讓渡ス場合ニ於テハ其ノ讓受人ハ第一號ノ資格ヲ具備シ且農地ヲ所有セズ又ハ第七號但書ニ該當スル者ニシテ轉借人ノ債務ヲ引受クル者ナルコト
- 十三 前號ノ讓受人及讓渡價額ハ市(町)(村)長ニ於テ之ヲ決定ス但シ其ノ讓渡價格ハ附錄第二號ニ定ムル算式ニ依リ之ヲ算定ス

十四 前號ノ讓受人ナキ場合ニ於テ其ノ他ノ者ニ農地ヲ讓渡サントスルトキハ讓渡ノ際轉借人ヲシテ未償還金額ヲ返還セシムルコト

十五 前號ノ讓渡ノ場合ニ於テ讓渡人ノ受クル金額ハ未償還金額ニ第十三號ノ讓渡價額ヲ加算シタル金額(其ノ金額時價ヲ超エル場合ハ時價)ニ依リ、讓受人ノ支拂フベキ金額ハ時價ニ依ルコトトシ 其ノ差額ハ市(町)(村)ノ收入トス

十六 轉借人ガ前數號ノ規定及轉貸條件ニ違反シタルトキハ轉貸金ノ百分ノ十二相當スル違約金ヲ徴收シ且轉貸金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ又ハ未償還金額ヲ免除スル條件ニ依リ左ノ金額(轉借人ガ購入シタル農地ノ上ニ賣買ノ慣行アル小作權ヲ有シタル場合ニ於テハ其ノ小作權ノ價額ヲ加算シタルモノ)ヲ以テ其ノ農地ヲ先買シ得ルモノトス

(一) 購入價額ノ全額ニ相當スル金額ノ轉貸ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額

(二) 購入價額ノ一部ニ相當スル金額ノ轉貸ヲ行ヒタル場合又ハ維持ノ爲轉貸ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ轉貸當時ニ於ケル其ノ農地ノ價額(購入ノ場合ニ於テハ購入價額)ト轉貸金額トノ差額ヲ加算シタル金額

第八條 自作農地ト爲ス爲未墾地ヲ購入シ又ハ其ノ所有スル未墾地ヲ開墾セントスル者ニ對シ第二條第三號ノ規定ニ依ル

資金ノ轉貸又ハ第五條ノ規定ニ依ル獎勵金ノ交付ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ル

一 資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受クル者ハ現ニ農業ニ從事シ且自作農地ノ經營ヲ持續シ得ル見込確實ナルコト

二 未墾地ノ開墾ニ依ル農地ノ價格ハ未墾地ノ價格ニ開墾費(獎勵金ノ交付アル場合ニ於テハ之ヲ控除ス)ヲ加算シタルモノガ附録第一號ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ノ普通價格ヲ超エザルコト

三 未墾地ノ開墾ニ依ル農地ノ價額ハ田畑ニ在リテハ四千圓、宅地ニ在リテハ五百圓ヲ超エザルコト但シ資金ノ轉借ヲ受クル者ガ現ニ田畑又ハ宅地ヲ所有スル場合ニ於テハ其ノ田畑又ハ宅地ノ價額ト開墾ニ依ル田畑又ハ宅地トノ合計額ガ夫々四千圓(支那事變又ハ支那事變ニ際シテノ滿洲ニ於ケル軍事行動ニ關シ戰鬪其ノ他ノ公務ニ從事シ爲ニ死歿シタル者ノ遺族又ハ之ガ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者若ハ他ノ家族ニ對シテ行フ自作農創設維持事業ニ在リテ六千圓)又ハ五百圓ヲ超エザルコト

四 購入シ又ハ開墾セントスル未墾地ハ其ノ上ニ抵當權又ハ自作ノ障礙ト爲ルベキ權利ガ存在セザルコト

五 轉貸金額ハ田畑ト爲ス場合ニ於テハ四千圓以内、宅地ト爲ス場合ニ於テハ五百圓以内トシ未墾地ノ購入價額及開墾費ノ全額トス但シ全額未滿ノ轉借ヲ受ケントスル者ニ對スル轉貸金額ハ其ノ申込額トス

六 前條第九號ノ規定ハ資金ノ轉借ヲ受ケ未墾地ヲ開墾シタル場合ニ之ヲ準用ス

七 未墾地又ハ其ノ開墾ニ依ル農地ノ利用又ハ處分ニ付テハ前條第十號乃至第十五號ノ例ニ依ル但シ資金ノ轉貸ヲ行ハザル場合ニ於テハ前條第十號及第十一號ノ期間ハ獎勵金交付ノ時ヨリ三十年トス

八 移住家屋及共同建造物ヲ建設スル者ニ對シ第五條第一項第二號ノ規定ニ依ル獎勵金ヲ交付セントスル場合ハ左ノ各號ニ依ル

(一) 構造ハ耐久的ナルコト

(二) 移住家屋ハ本屋建坪二十坪以上ナルコト

(三) 工事ハ一年以内ニ完了スベキコト

九 獎勵金ハ工事ノ完了シタルモノニ付實地検査ノ上之ヲ交付ス

十 資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ資金ノ轉貸ヲ行ヒタルトキハ轉貸金ノ百分ノ十二相當スル違約金ヲ徴收シ且轉貸金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ、獎勵金ノ交付ヲ行ヒタルトキハ獎勵金ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ジ又ハ獎勵金ノ交付ヲ停止シ若ハ廢止シ得ルモノトス

(一) 前數號ニ依ル條件ニ違反シタルトキ

(二) 開墾ノ全部又ハ一部ヲ停止シ若ハ廢止シ又ハ開墾ノ成績不良其ノ他目的達成困難ナルトキ

(三) 事實ヲ欺罔シテ資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ

(四) 償還金ノ支拂ヲ怠リタルトキ

十一 前號ノ場合ニ於テハ未墾地ノ購入ノ爲ノ轉貸金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシムルコトニ代ヘ未償還金額ヲ免除スル條件ニ依リ左ノ金額ヲ以テ土地ヲ先買シ得ルモノトス

(一) 未墾地ノ購入價額ノ全額ニ相當スル金額ノ轉貸ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金

額ニ開墾ニ因リ現ニ存スル増價額ヲ加算シタル金額

九二

(二) 未墾地ノ購入價額ノ一部ニ相當スル金額ノ轉貸ヲ行ヒタル場合ニ於テハ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額ニ未墾地ノ購入價額ト轉貸金額トノ差額及開墾ニ因リ現ニ存スル増價額ヲ加算シタル金額

第九條 農地ノ購入資金又ハ維持資金ノ轉借ヲ受ケントスル者ハ前年度八月末日迄ニ、未墾地ノ購入並ニ開墾資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ市(町)(村)長ノ同意ヲ受ケ、夫々様式第一號又ハ様式第二號若ハ様式第三號ニ依ル申請書ヲ市(町)(村)長ニ提出スベシ

第十條 資金ノ轉借又ハ獎勵金交付ノ申請ヲ爲シタル者ハ前條ノ規定ニ依リ提出シタル書類ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ直チニ其ノ旨ヲ市(町)(村)長ニ届出ヅベシ

第十一條 資金ノ轉貸又ハ獎勵金ノ交付ヲ爲スニハ市(町)(村)農地委員會ヲシテ、自作農ノ創設又ハ維持ニ關シ重要ナル事項ヲ調査審議セシムルモノトス

第十二條 資金轉貸ノ許可ヲ受ケタル者ハ様式第四號ニ依ル借用證書ヲ提出シ資金ノ交付ヲ受クベシ

第十三條 資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ未墾地ノ開墾又ハ移住家屋若ハ共同建造物ノ建設ニ關スル工事前開始シ又ハ完了シタルトキハ夫々遲滞ナク其ノ旨ヲ市(町)(村)長ニ届出ヅベシ

第十四條 轉貸金償還期間内ニ於テ轉借人ニ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリタルトキハ之ヲ證スベキ戸籍謄本又ハ其ノ他ノ書類ヲ添へ本人、相續人、法定代理人又ハ破産管財人ヨリ遲滞ナク之ヲ届出ヅベシ、但シ市(町)(村)長添附書類ノ必要ヲ認メザルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

一 氏名ノ變更

二 住所ノ變更

三 死亡、失踪又ハ相續

四 破産

第十五條 資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業其ノ他ニ關シ當該官吏及吏員ノ求ムル報告、書類ノ提出若ハ

工事ニ關スル検査又ハ必要ナル處分ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十六條 資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者、左ニ掲グル所爲ヲ爲スニハ市(町)(村)長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

一 轉貸金償還期間内ニ於テ年賦償還金額ノ外未償還金額ノ繰上償還ヲ爲スコト又ハ償還方法ヲ變更スルコト

二 年賦金ノ償還了リタルトキト雖モ轉貸ノ際決定シ又ハ前號ニ依リ變更シタル償還期間内ニ於テ自作ヲ輟メ又ハ轉貸金擔保ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權又ハ其ノ他ノ權利ヲ設定スルコト

三 前號ノ期間内ニ土地ヲ讓渡シ又ハ自作ヲ廢止スルコト

四 開墾ノ全部又ハ一部ヲ停止シ若ハ廢止スルコト

第十七條 資金ノ轉借又ハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者、左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ市(町)(村)長ハ資金貸付者タル長官ノ認可ヲ受ケ其ノ資金ノ轉貸ヲ取消シ又ハ獎勵金ノ交付ヲ停止シ若ハ廢止シ又ハ其ノ全部若ハ一部ノ償還ヲ命ズルコトアルベシ

資金ノ轉貸ヲ取消シタル場合ニ於テハ轉貸期間内ト雖モ元利金ノ全部若ハ一部ヲ償還セシメ又ハ償還方法ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

一 第七條又ハ第八條ニ違反シタルトキ

二 資金償還ノ方法ヲ遵守セザルトキ

三 事業ノ施行方法不適當ト認メタルトキ

四 其ノ他資金轉貸又ハ獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

市(町)(村)自作農創設維持資金轉貸規程ハ之ヲ廢止ス、但シ本規程施行前轉貸シタル自作農創設維持資金ニ關シテハ仍從前ノ規程ニ依ル

附錄第一號

標準價格 = (小作料金額 - 地租及地租附加税又ハ之ニ準ズベキ地方税市) × 13
町村税土功組合費、農會費等ノ土地負擔金

備考

- 一 小作料ハ平年作ニ於ケル實納小作料ニ依ルコト但シ小作料ノ定ナキ農地ニ在リテハ其ノ農地ニ類似スル農地ノ小作料ニ依ルコト
小作料ガ平年作ニ於ケル收穫高ニ比シ不適當ト認メラルトキハ適當ナル額ヲ以テ小作料ニ代フルコト
- 二 小作料及收穫高ヲ價額ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五年ノ平均價格ヲ用フルコト但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 三 小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ農地ノ購入ニ際シ其ノ農地ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ小作料ハ小作權者ガ轉貸スル場合ニ於ケル又小作料ニ依ルコト
- 四 算式中ノ土地負擔金ニハ土地ニ關スル一切ノ公租公課ヲ含ムモノトス

附錄第二號

讓渡價格 = 償還濟元金 × 讓渡當時ノ標準價格
購入價格

備考

- 一 償還濟元金トハ轉貸者ガ償還ヲ受ケタル金額中元金ニ相當スル金額トスルコト
- 二 標準價格トハ附錄ニ定ムル算式ニ依リ算出シタル價格(其ノ價格時價ヲ超ユル場合ハ時價)トスルコト
- 三 維持ノ爲ニ轉借ヲ受ケタル土地ニ在リテハ「購入價格」ノ代リニ轉借當時ニ於ケル標準價格(標準價格ガ其ノ時ニ於ケル時價ヲ超ユル場合ハ時價)ヲ用フルコト
- 四 購入價格(維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格)ノ一部ニ相當スル金額ノ轉貸ヲ爲シタル場合ニ於テハ「償還濟元金」ノ代リニ「償還元金ニ購入價格」維持ノ場合ニ在リテハ前號ノ價格)ト轉貸金額トノ差額加算シタル金額」ヲ用フルコト

樣式第一號

自作農創設維持資金借入申請書
圖也

右自作農地購入(維持)(未墾地ノ購入又ハ開墾)資金トシテ御貸付相成度市(町)(村)自作農創設維持獎勵規程ニ基キ

左ノ書類相添へ此段及申請候也

昭和 年 月 日

申請人

住所

氏

名 印

市(町)(村)長

記

殿

- 一 自作農地購入資金借入ノ場合
 - (一) 既墾地購入調書
 - (二) 土地賣渡豫約書
 - (三) 土地ノ見取圖
 - (四) 同意書(購入地ガ他人ノ小作地又ハ借地ナルトキ)
 - (五) 申請者ニ關スル調書
- 二 自作農地維持資金借入ノ場合
 - (一) 自作農地維持調書
 - (二) 債權者ノ債權額現在高證明書
 - (三) 土地賣買契約書寫
 - (四) 土地ノ見取圖
 - (五) 借入金證書寫
 - (六) 土地登記簿謄本
 - (七) 申請者ニ關スル調書
- 三 未墾地購入竝ニ開墾資金借入ノ場合

郡市町村大字 番地(又ハ番地ノ内)
 一田(畑)町 反 畝 步
 (以下之ニ倣フ)

右土地是迄拙者ニ於テ小作(借地)致居候處市(町)(村)ヨリ貸付セラルベキ自作農創設資金ヲ以テ該土地ヲ自作農地ニ創設セラレ候上ハ小作(借地)ヲ廢シ直ニ引渡スベキコトヲ同意仕候
 昭和 年 月 日
 土地所有者 何 某
 小作者(借地者) 住 所 氏 名 印

地主 住 所 氏 名

名宛

(二) 自作農地維持調書

住 資 金 借 受 人 氏 名	現 在 所 有 地 積 見 積 價 額	維 持 資 金 ノ 貸 付 ナ 必 要 ト ス ル 理 由
宅 地	田 畑 地	
計	計	

購入シタル年	大字	地番	地目	地積	買入価格	反當購入価格	反當租課年月日	借換期限	利率	借入額	現在額	債権者住所氏名	總額	反當
				町	圓	圓				圓	圓		圓	圓
計														

記載上ノ注意
 既墾地購入調書ニ記載セル記載上ノ注意ハ本表ノ記載ニ適用ノコト
 (※) 債権者ノ債權額現在高證明書

一 残存元金額 金 圓 錢 也
 一 未拂利息金額 金 圓 錢 也
 但シ元金 圓 錢ニ對スル利率 二依ル
 年 月 日ヨリ本日迄ノ利息
 前記ノ金額ハ昭和 年 月 日附テ以テ貴殿ニ融通致置候金 圓也ニ對スル本日現在ノ債權金額ナルコトヲ
 九九

共同開墾ノ行フ場合ニ於テハ關係者各人別ニ作成スルコト

- 一 未墾地ノ所在地又ハ地區名
- 二 現況
- 三 目的 田(畑)ニ開墾
- 四 事業計畫説明
 - (一) 未墾地ノ收得其ノ他土地ニ關スル事項
 - (二) 開墾其ノ他工事ニ關スル事項
 - (三) 移住家屋竝ニ共同建造物ニ關スル事項
 - (四) 其ノ他
- 五 主要工事ノ仕様
- 六 工事施行後ニ於ケル地目別地積
- 七 工事施行ニ依リテ得ベキ生産力ノ増加見込

工 事 施 行 前				工 事 施 行 後				備 考
地 目	積 種	反當收量	總 量	地 目	積 種	反當收量	總 量	
町	收穫物ノ類			町	收穫物ノ類			

- 八 工事ノ年度別豫定
- 九 工事ノ著手及完了ノ豫定
工事著手年月日

- 十 添附地圖
原形圖
豫定圖
- 十一 事業費豫算書
樣式第三號

自作農開墾地移住獎勵金交付申請書

私儀

自作農開墾地移住ノ爲家屋(共同建造物)建築致度候間 相當獎勵金御交付相成度市(町)(村) 自作農創設維持獎勵規程
ニ基キ左ノ書類相添ヘ此段及申請候也

昭和 年 月 日 申請人 住所 氏 名 印

- 市(町)(村)長 殿 記
- 一 移住家屋建築ノ場合
 - (一) 家屋建築計畫書
 - (二) 設計圖面
- 二 共同建造物建設ノ場合
 - (一) 共同建造物建築計畫書
 - (二) 設計圖面

(三) 建築スル家屋又ハ共同建造物ノ位置ヲ示シタル地區略圖
 様式第四號

一金 自作農創設維持事業資金借用證書

圓也 內 譯

金 圓也 既墾地創設事業資金

金 圓也 未墾地創設事業資金

金 圓也 維持事業資金

右轉貸相成正ニ借用仕候就イテハ左記事項ヲ契約致候爲後日借用證書差入候也

記

- 一 本資金ノ借用ニ付テハ市(町)(村)自作農創設維持獎勵規程並ニ之ニ基ク指示又ハ命令ハ堅ク之ヲ遵守スルコト
- 二 借用金及借用金ノ利息ハ別紙償還年次表ノ期日ニハ必ず償還スルコト
- 三 償還期日ニ至リ元利金ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後現金拂込ノ日迄遲滞金額百圓ニ付一日金三錢ノ割合ヲ以テ延滞金ヲ支拂フコト
- 四 利息ノ計算ガ日割ニ依ル場合ハ借用當日ハ之ヲ算入セザルコト
- 五 借用金ノ擔保トシテ別記土地ニ對シ御指示ノ抵當權ヲ設定シ登記スルコト

昭和 年 月 日 以上

住所

借受人 氏

名

市(町)(村)長

記 殿

土地ノ表示

市郡 町大字 番地
 一田(畑) 町 反 畝 步
 (以下之ニ倣フ)

借入金元利償還年次表

昭和 年 月 日 (以下之ニ倣フ)	償還年月日	償還殘元金	賦金		備考
			償還元金	償還利子	
計					
合					

様式第五號
 指令第 號

申請人 住所

昭和 年 月 日 附申請自作農地開墾(自作農地移住家屋、共同建造物建設)獎勵金交付ノ件承認ス但シ獎勵金額ハ追テ竣工検査ノ上通知ス
 昭和 年 月 日

郡市町村長 氏 名 印

様式第六號
 自作農地開墾獎勵金(開墾地移住獎勵金)請求書

右ハ 郡町村 組合施設ニ係ル自作農維持者ナルコトヲ證明ス
昭和 年 月 日

北海道廳長官 氏 名

○自作地登記ニ關スル件 (昭和十四年四月十三日 卯經第八九五號)

農地調整法第七條及第十九條ニ則リ自作地タルノ登記ヲ爲ス爲之ニ要スル長官ノ證明書ハ左記様式第一號ノ通決定相成候
ニ付テハ右該當地分ニ通作成送付ノ上之ガ交付方至急申請相成度
追テ自作地登記令第三條ニ依ル自作地タラザルモノト爲リタル旨ノ長官ノ證明書ハ左記第二號様式通ニ付爲念
第一號様式

證明書

住所

氏 名

一 土地ノ表示
(又ハ別紙目錄ノ通)
右ハ昭和 年 月 日

自作農創設(又ハ維持)ニ基ク土地ニシテ農地調整法ニ依ル自作地タルコトヲ證明ス
昭和 年 月 日

北海道廳長官 氏 名 印

證明書

住所

氏 名

一 土地ノ表示
(又ハ別紙目錄ノ通)
右ハ昭和 年 月 日

自作地タラザルモノト爲リタルコトヲ證明ス
昭和 年 月 日

北海道廳長官 氏 名 印

○北海道農地委員會事務處理規程 (昭和十四年五月十三日 北海道廳告示第五三〇號)

- 第一條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定ム
 - 第二條 會議ハ之ヲ公開セズ
 - 第三條 會長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス
 - 第四條 左ニ掲グル事項ハ委員會ノ議決ヲ經ルモノトス
 - 一 農地調整法第四條ノ事業ニ關スル審議
 - 二 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ關スル審議
 - 三 農地調整法施行令第二十二條第四號ノ裁判所ニ申出ヅベキ意見ノ決定
 - 四 委員三分ノ一以上ヨリ委員會ノ議決ヲ經ベキ旨ノ請求アリタル事項
 - 五 其ノ他重要ナル事項
 - 第五條 會議ハ委員及臨時委員ノ半數以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ
 - 第六條 議事ハ出席シタル委員及臨時委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス
- 可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第七條 會長必要アリト認ムルトキハ書面ヲ以テ委員及臨時委員ノ意見ヲ徵シ其ノ半數以上ノ同意ヲ得テ委員會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ十日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ此ノ期限迄ニ到著セザル意見書ハ議決ノ數ニ加ヘザルモノトス

第八條 委員會ニ於テ議決スベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要シ委員會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキ又ハ第四條各號ニ該當セザル事項ハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

第九條 本委員會必要アリト認ムルトキ又ハ會長ノ專決事項ニ付會長必要アリト認ムルトキハ會長ノ指名スル委員若ハ臨時委員ヲシテ事務ノ處理ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十條 事務ノ處理ヲ擔任セル委員又ハ臨時委員事務ノ處理ヲ終了シタルトキハ其ノ旨ヲ會長ニ報告スベシ

第十一條 會長ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第十二條 會長、委員及臨時委員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ委員會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第十三條 議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席委員一名以上之ニ署名スベシ
一 開會ノ日時及場所
二 委員ノ定數及臨時委員ノ員數
三 出席者ノ職氏名
四 議事ノ要領
五 議決シタル事項及贊否ノ數

第十四條 本會ニ幹事及書記若干名ヲ置キ北海道廳ノ官吏又ハ待遇官吏ノ中ヨリ會長之ヲ任命又ハ囑託ス
幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

○市町村農地委員會事務處理規程ニ關スル件

(昭和十四年一月十八日
卯經第三八七號)

農地調整法施行令ニ依リ設置相成候市町村農地委員會ノ事務處理方法ニ付テハ法令ニ別段ノ規定無之ヲ以テ各市町村農地委員會ニ於テ自治的ニ之ヲ規定スルコトト相成居候處之ガ準則左記ノ通取纏候條市町村農地委員會ニ於テハ右準則ニ依リ事務處理規程制定相成度尙市町村農地委員會ガ本規程ヲ制定スルニ當リテハ委員會ノ議決ヲ經タル後當該市町村ノ公布式ニ準ジ公示相成度

追テ本件ハ今後設置セラレベキ市町村農地委員會ニ對シ當該市町村長ヨリ移牒相成度

記

市町村農地委員會事務處理規程準則

第一條 會議ノ日時及場所ハ會長之ヲ定ム

第二條 會議ハ之ヲ公開セズ

第三條 會長ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス

第四條 左ニ掲グル事項ハ委員會ノ議決ヲ經ルモノトス

一 農地調整法第三條ノ事業ニ關スル審議

二 農地調整法第四條ノ事業ニ關スル審議

三 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ關スル審議

四 農地調整法施行令第六條第六號ノ裁判所ニ申出ヅベキ意見ノ決定

五 委員三分ノ一以上ヨリ委員會ノ議決ヲ經ベキ旨ノ請求アリタル事項

六 其ノ他重要ナル事項

第五條 會議ハ召集シタル委員及臨時委員ノ半数以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ
 第六條 議事ハ出席シタル委員及臨時委員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
 第七條 會長必要アリト認ムルトキハ書面ヲ以テ委員及臨時委員ノ意見ヲ徵シ其ノ半数以上ノ同意ヲ得テ委員會ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ十日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ此ノ期限迄ニ到著セザル意見書ハ議決ノ數ニ加ヘザルモノトス

第八條 委員會ニ於テ議決スベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要シ委員會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルトキ又ハ第四條各號ニ該當セザル事項ハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

第九條 本委員會必要アリト認ムルトキ又ハ會長ノ專決事項ニ付會長必要アリト認ムルトキハ會長ノ指名スル委員若ハ臨時委員ヲシテ事務ノ處理ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十條 事務ノ處理ヲ擔任セル委員又ハ臨時委員ハ事務ノ處理ヲ終了シタルトキハ其ノ旨ヲ會長ニ報告スベシ

第十一條 會長ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第十二條 會長、委員及臨時委員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子、孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ委員會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第十三條 議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席委員一名以上之ニ署名スベシ
 一 會議ノ日時及場所
 二 委員ノ定數及臨時委員ノ員數
 三 出席者ノ職氏名
 四 議事ノ要領
 五 議決シタル事項及贊否ノ數

第十四條 本會ニ書記(何)名ヲ置ク
 書記ハ會長之ヲ任命又ハ囑託ス

書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

○農地關係調整處理補助金交付ノ件 (昭和十四年二月二十八日 卯經第九四八號)

標記ノ件ニ關シテハ曩ニ豫メ通牒致置候處市町村農地委員會ノ活動ヲ促進セシムル爲別記要項ニ基キ補助金ヲ交付致スベク候ニ付可然了知相成度

追テ本年度ニ限り委員(會長、臨時委員ヲ含ム)手當ハ別記補助要項ニ依ル市町村ノ負擔ノ有無ニ拘ラズ一委員會ニ對シ七十五圓程度ノ補助金交付ノ見込ニ有之候條(當該豫算ヲ編成ノ上)三月十日限り必ズ補助申請相成度尙減收調査費ニ對シテハ大體補助要項ノ反當最高額ヲ交付シ得ル見込ニ付委員手當補助同様(豫算ニ掲上ノ上)一括補助申請相成度

(別記)

農地關係調整處理補助要項

第一 市町村農地委員會ノ活動ヲ促進スル爲市町村ニ對シ本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二 補助金ハ左ニ掲グル市町村ノ經費ニ對シ之ヲ交付ス
 一 市町村農地委員會(會長及臨時委員ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ手當
 二 市町村農地委員會ノ行フ小作地減收調査ニ要スル費用

第三 補助金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ其ノ割合ヲ超エテ之ヲ交付スルコトアルベシ
 一 第二第一號ノ補助金ニ在リテハ市町村ノ費用ノ二分ノ一以内但シ一委員會百圓以内トス
 二 第二第二號ノ補助金ニ在リテハ市町村ノ費用ニ對シ一町步當、田四十錢以内、畑二十錢以内トス

第四 補助金ノ交付ヲ受ケントスル市町村ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添へ毎年十一月三十日迄ニ之ヲ長官ニ提出スベシ
 一 様式第一號ニ依ル收支豫算書

- 二 様式第二號ニ依ル小作地減收調査實施ニ關スル調書
- 第五 補助金ノ交付ヲ受ケル市町村第四ノ書類ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ長官ノ認可ヲ受クベシ
- 第六 補助金ノ交付ヲ受ケタル市町村ハ翌年度六月十日迄ニ様式第一號ニ依ル收支決算書ニ様式第二號ニ依ル小作地減收調査實施ニ關スル調査書ヲ添ヘ長官ニ提出スベシ
- 第七 補助金ノ交付ヲ受ケタル市町村左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ長官ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
- 一 本要項ニ違反シタルトキ
- 二 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

様式第一號 收入ノ部 收支豫算書 (收支決算書)

科 目	本年度豫算額 (本年度決算額)		前年度豫算額 (前年度決算額)		増 減 備 考
	圓	圓	圓	圓	
道 補 助 金					
市 町 村 費					
計					
支 出 ノ 部					
種 目	本年度豫算額 (本年度決算額)		前年度豫算額 (前年度決算額)		増 減 備 考
市町村農地委員手當	圓		圓		
小作地減收調査費					
計					

附 表

種 目	道 補 助 金	市 町 村 負 擔 金	計
市町村農地委員手當	圓	圓	圓
小作地減收調査費			
計			

様式第二號

小作地減收調査實施ニ關スル調査書

小作地減收調査實施部落名	小作地減收調査實施面積		調 査 費	一町當調査費
	町	畑		
計	圓	圓	圓	圓

注 意

- 一 收支豫算書ニ添附スルモノニ在リテハ既ニ實施シタルモノニ當年度中ニ於テ實施豫定ノモノヲ合セ計上スルコト
- 二 收支決算書ニ添附スルモノニ在リテハ當年度中實施シタルモノニ付記載ノコト

○小作關係ノ調整ニ關スル件

(昭和十三年九月十七日 實經第四四四三號)

本道ニ於ケル小作事情ハ直接、間接ニ農業生産ノ増殖及小作農家ノ生活ノ安定ヲ阻害スルモノ尠カラズ加之近時地主、小作人間ノ情誼ハ必ズシモ昔日ノ如ク醇厚ナラズ小作爭議ハ年歲其ノ件數ヲ増加スルト共ニ其ノ内容モ亦深刻化シ農村ノ平和ハ著シク破壊セラルル實情ニシテ憂慮ニ堪ヘザルモノ有之候處今次之等小作關係其ノ他農地關係ノ調整ヲ期スル目的ノ下ニ農地調整法ノ制定ヲ見タルハ洵ニ欣快ニ堪エザル次第ニ有之候

然レドモ本法ハ小作關係ノ調整ニ關シテハ實體の規定極メテ少ク僅カニ一二ノ根本的事項アルノミニシテ細目ニ互ル規定ノ設ケナク市町村農地委員會ノ活動ニ依リ地方ノ實情ニ即シタル調整ニ俟ツベキ仕組ニ相成居候ニ就イテハ今般本法ノ制定ヲ契機トシ之ガ指導方針トシテ別記「小作關係ノ調整」ヲ相定メ當事者ノ實行ヲ促シ農地調整法ノ運用ト相俟ツテ土地所有者及耕作者ノ地位ノ安定ヲ計リ農業生産力ヲ維持増進シ以テ農村ノ經濟更生ト農村平和ノ保持ヲ期セントスル次第ニ有之候條之ガ實行ニ關シ特段ノ配意相成度

(別記)

一 小作契約ノ方法

小作契約ヲ爲スニ當リテハ其ノ新規ナルト更新ナルトヲ問ハズ當事者ハ市町村農地委員會ニ申出テ小作條件ノ内容ニ付統一の指導ヲ受ケ以テ將來出來得ル限り紛爭ヲ起サザル様小作關係ヲ公正明確ニナシ置クコトヲ要ス

契約ハ書面ヲ以テスルヲ適當トシ當事者双方及市町村農地委員會各一通宛ヲ所持保管スベク市町村農地委員會ハ右契約ニ基キ別記様式ノ農地臺帳ヲ整備シ其ノ寫ヲ北海道廳ニ提出スルコトヲ要ス

公正證書ハ執行力ヲ有シ農村ノ平和ヲ阻害スルヲ以テ之ニ依ラザルコトヲ要ス

小作契約ニ於テ從來小作人ノ義務履行ヲ求ムル方法トシ連帶保證人ヲ設クルノ事例アリシモ小作料支拂ニ關シ農地調整法ニ重要ナル制裁ノ設アルヲ以テ地主ヨリ小作人ニ對シ連帶保證人ヲ要求セシメザルヲ要ス

二 小作地ノ轉貸

小作地ノ轉貸(所謂中間小作)ハ小作關係ヲ複雜ナラシムルノミナラズ實際ニ耕作ニ從事スル小作人ノ負擔ヲ重カラシメ小作爭議發生ノ原因トナルベキヲ以テ兵役疾病其ノ他已ムテ得ザル場合ノ外之ヲ爲サシメザルコトヲ要ス

三 小作期間

小作期間ノ定メナキモノ期間ノ定メアリト雖モ一年、二年、三年ノ如キ短期間ノモノハ小作人ノ生活ノ安定ト農業ノ發達トヲ阻害スルヲ以テ普通耕作目的トスルモノニ在リテハ少クモ五年、果樹其ノ他永年作物ノ栽植ヲ目的トスルモノニ在リテハ少クモ十年ヲ下ラザル小作期間ヲ定ムルヲ要ス

四 小作關係ノ相續

小作人死亡シタルトキハ其ノ相續人ニ於テ小作ノ繼續スル意思ナキ場合ヲ除キ之ヲシテ小作ヲ承繼セシムルコトヲ要ス

五 小作料ノ滯納ニヨル小作契約ノ解除

小作料ノ滯納ヲ理由トスル小作契約ノ解除ハ小作人ガ信義ニ反シテ小作料ヲ滯納シタル場合ニ於テ地主ヨリ二月ヲ下ラザル期間ニ支拂ヲ爲スベキ旨ヲ催告スルニモ拘ラズ之ガ支拂ヲ爲サザル場合ニ非ザレバ之ヲ爲サシメザルコトヲ要ス

六 作 離 料

土地使用ノ目的ノ變更又ハ地主ノ自作ヲ相當トスル場合其ノ他正當ノ事由アリテ土地ノ返還ヲ求ムル場合ハ地主ハ小作人ニ對シテ相當ノ作離料ヲ支拂フコトヲ要ス

七 有益費其ノ他ノ支拂

返還小作地ニ小作人ノ栽植シタル果樹、其ノ他永年作物並ニ小作人ノ所有スル農業上必要ナル建物其ノ他ノ工作物ノ存スル場合ハ小作人ノ希望セザル場合ヲ除キ地主ヲシテ時價ヲ以テ之ヲ買取ラシメ尙小作人ガ客土、灌漑、排水工事等小作地ノ改良ノ爲ニ支出シタル金額其ノ他ノ有益費ノ償還ニ付小作人ヨリ請求アル場合ハ地主ハ之ヲ支拂フコトヲ要ス

八 小作料額ノ適正

現行約定小作料ハ土地ノ性質地方的經濟事情及地主、小作人間ノ關係等ニ依リ區々ニシテ之ヲ一率ニ決定スルハ至難ノコトニ屬スト雖モ小作料ニシテ往々高率ニシテ妥當ナラザルモノアルヲ以テ是等ニ對シテハ土地生産力ト作物生産費トヨリ觀タルモノニ地方ノ事情ヲ參酌シ相當小作料迄引下シムルト共ニ新ニ特別ノ事由ナクシテ小作料ノ引上ヲ認メシメザルコトヲ要ス

九 穀納小作料ノ是正

小作料トシテ支拂フベキ玄米、大豆、燕麥其ノ他ノ農産物ハ其ノ小作地ヨリ生産スベキ生産検査等級品中最モ多キモノ

ヲ以テ契約スルコトヲ要シ其ノ支拂ニ當リテハ其ノ年ノ生産品ヲ以テシ若シ凶作、不作等ニ基キ其ノ契約品ガ支拂フベキ量額ニ達セザル場合ハ順次以下ノモノヲ以テ補充スルコトヲ認ムルヲ要ス
 小作人ガ玄米ノ正味重量表示品ヲ以テ支拂フ場合ハ地主ハ然ラザルモノニ對比シテ其ノ増價ノ割戻ヲ爲スコトヲ要ス
 畑現物小作料トシテ小作人ノ栽培全ク無キカ或ハ甚ダ少キ農産物ヲ指定スルハ妥當ナラザルヲ以テ斯ノ種農産物ノ支拂ヲ求メシメザルコトヲ要ス

一〇 小作料ノ減額免除

不可抗力ニ依ル減收ニ基キ小作料ノ減額免除ヲ求メントスルトキハ少クとも收穫著手十四日前小作人ヨリ其ノ旨ヲ地主ニ申出デシメ双方現地ニ付テ檢見ヲ行ヒ不作ノ程度ヲ檢察シ特ニ必要ノ場合ニハ坪刈ヲモ行ヒ減額免除ノ程度ヲ協定スルコトヲ要ス

若シ當時者間ノ協定成ラズシテ後日紛争ノ起ル虞アル場合ハ當事者ノ要請ノ有無ニ拘ラズ市町村農地委員會ハ速ニ現地ノ調査ヲ爲シ左記ノ標準ニ準據シ小作地全體ヲ通ジ小作料ノ減免ヲ決定シ之ガ實行ヲ促スヲ要ス

小作料減免ニ關スル標準率

作	柄	小作料減免率	作	柄	小作料減免率
八分作	以上	減免セズ	五分作	未滿	六割減
八分作	未滿	二割減	四分作	未滿	八割減
七分作	未滿	三割五分減	三分作	以下	十割減
六分作	未滿	四割五分減			

一一 小作料ノ延納

小作料ノ延納ハ一時小作人ノ苦痛ヲ減ズレ共將來ノ負擔ヲ大ニスルノミナラズ之ガ爲更ニ地主、小作人間ニ紛争ヲ起ス原因トナルヲ以テ努メテ之ヲ爲サシメザルコトヲ要ス

一二 小作料以外ノ小作人ノ負擔

地主ハ小作地ノ小修繕、小改良ニ關スル勞務ヲ除キ現物小作料ノ長距離運搬ノ如キ小作料以外ニ小作人ノ負擔ヲ増加スルモノハ之ヲ濫ニ強要セシメザルヲ要ス

小作料ノ前納及小作ニ關スル保證金若ハ敷金ノ慣行ハ何レモ小作經營ノ本質ニ反シ小作人ノ負擔ヲ増加スルヲ以テ將來廢止スルヲ要ス

一三 小作地ノ賣買

地主ハ其ノ所有小作地ヲ賣却セントスル場合ハ農地調整法ニ基キ其ノ旨ヲ市町村農地委員會ニ申出デ其ノ評定スル價格ヲ以テ其ノ土地ノ小作人ニ買取ラシムルヲ要ス

右ノ場合市町村及市町村農地委員會ハ北海道廳令ニ基キ速ニ手續ヲ了シ低利資金ヲ利用シテ自作農ノ創設ヲ計ルヲ要ス
 小作人ニ非ザル者新ニ小作地ヲ買受ケントスル場合ハ後日農地調整法ノ定ムル處ニ依リ意外ノ損失ヲ招キ濫ニ小作關係ニ付紛争ヲ起ス虞アルヲ以テ仲介人等ノ甘言ニ乗ゼラルコトナク豫メ其ノ土地ノ小作關係ヲ精査シ置ク様注意スルコトヲ要ス

一四 小作爭議ノ解決

小作爭議ノ解決ヲ訴訟ニ依ラシムル時ハ多大ノ日時ト經費ヲ要スルノミナラズ解決後ニ於テ尙地主對小作人ノ間ニ面白カラザル感情ヲ殘スヲ通例トス然ルニ小作調停法ニ依ル解決ハ比較的簡易ニシテ且通常訴訟ニ依ル解決ノ如ク長期ニ互ラズ而カモ面白カラザル感情ヲ殘スコト少ナキヲ以テ農地調整法ハ裁判所自ラ職權ヲ以テ訴訟ヲ調停ニ移シ或ハ小作官ニ調停申立ノ途ヲ開キタリ

然レドモ當事者ハ日常互讓相助ノ精神ニ則リ紛争ヲ起サザル様注意スルハ勿論若シ當事者間ニ於テ解決シ得ザルトキハ小作調停ニ先立テ市町村農地委員會ノ自治的調停ヲ受クルヲ要ス

小作人 住所氏名	郡市町村字名		氏名	地主及管理 住所氏名		郡市町村字名		氏名
	字	地番		現地目	反別	町步	當初契約 小作料	
契約及更新年月日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日
小作期間	自 昭 和 年 月 日	至 昭 和 年 月 日	自 昭 和 年 月 日	至 昭 和 年 月 日	自 昭 和 年 月 日	至 昭 和 年 月 日	自 昭 和 年 月 日	至 昭 和 年 月 日
小作地上ノ建物ノ種類及所有關係 (家賃トシテ特ニ支拂フモノハ其ノ額ヲ明記スルコト)								
備考								

記載例

- 一 本臺帳ハ小作人一名ニ付地主ノ異ナル毎ニ別葉トシ作製ノコト
- 二 「字地番」「現地目」「反別」欄ニハ契約小作料ノ異ナル毎ニ代表地ノ地番ヲ記載シ外何筆トシ現地目ニ依ル合計反別ヲ記載ノコト
- 三 「當初契約小作料」欄ニハ本臺帳作製ノトキノ契約小作料額ヲ「變更契約小作料」欄ニハ契約期間ニ拘ラズ小作料ニ變更アリタル年月日及契約小作料ヲ記載シ其ノ小作料ガ反當ナルモノハ反當額、總額ナルモノハ總額ニ依リ記載ノコト
- 四 「反當平年收穫高」欄ニハ最近平年作下認ムル收穫高ヲ記載ノコト但シ畑ノ分ニハ主要作物三種ノ收穫高ヲ記載ノコト
- 五 「反當公租公課」欄ニハ地租、同附加税(地租ナキモノハ地方税反別割)町村税反別割、農會費反別割ノ總額ト土功組合費(負債償還額、經常費合算)ノ總額トノ各最近三箇年平均額ヲ區別シ併記ノコト

【參考】

小作契約書例 (田畑共通)

- 六 「土地等級」欄ニハ町村税賦課等級ヲ記載ノコト
 - 七 「備考」欄ニハ現地主ノ土地所有年月日並ニ小作人ノ耕作ヲ始メタル年月日、小作地ノ所屬土功組合名其ノ他參考事項ヲ記載ノコト
- 地主(何某)ヲ甲トシ小作人(何某)ヲ乙トシ當事者間ニ於テ左記條項ニ依リ本契約ヲ締結ス
- 第一條 甲ハ末尾記載ノ土地ヲ昭和(何)年(何)月(何)日ヨリ昭和(何)年(何)月(何)日迄滿五年間末尾記載ノ小作料ヲ以テ乙ニ貸ス
 - 第二條 小作料ハ毎年十一月(何)日限リ(何何)ニ於テ支拂フモノトス、小作物納ノ場合ハ其ノ年小作地生産ノ生産検査(何)等品ヲ以テ支拂フモノトス但シ凶不作ニ因リ右契約品ガ支拂フベキ量額ニ達セザル場合ハ順次以下ノモノヲ以テ補充スルモノトス
甲ノ便宜ノ爲小作料支拂場所ヲ變更シ從前ノ場所ヨリ遠隔トナリ又ハ運搬困難トナリタル場合ハ甲ハ乙ニ對シ之ニ相當スル經費ヲ支拂フモノトス
 - 第三條 第一條記載ノ期間滿了シタルトキハ小作期間、小作料、其ノ他本契約ト同一ノ條件ヲ以テ之ヲ更新スルモノトス
甲ニ於テ乙ノ行爲ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルノ故ヲ以テ有契約ノ解約ヲ爲シ又ハ更新ヲ拒マントスル場合ハ(何町村)農地委員會ニ申出ツルモノトス
一 土地ヲ目的以外ニ使用シタルトキ
二 甲ノ同意ヲ得ズシテ小作地ヲ轉貸シタルトキ
三 其ノ他乙ニ信義ニ反シタル行爲アリタルトキ
甲ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルノ故ヲ以テ乙ニ對シ本契約ノ解約ヲ爲シ又ハ更新ヲ拒マントスル場合亦前項ニ同ジ
一 土地使用ノ目的ヲ變更セントスルトキ
二 自作ヲ爲サントスルトキ
三 其ノ他正當ノ事由アルトキ
 - 第四條 乙ガ天災其ノ他不可抗力ニ因リ小作料ノ減免ヲ求メントスル場合ハ少クモ收穫著手十四日前ニ其ノ旨甲ニ申出ツルモノトス
前項ノ申出アリタル場合ハ甲乙立會ノ上誠實ニ検査又ハ坪刈ヲ行ヒ其ノ作柄ガ八分作未滿ナル場合ニ限り減額スルモノトス但シ三分作以

○農地調整法 (昭和十三年四月二日) (法律第六十七號)

第一條 本法ハ互讓相助ノ精神ニ則リ農地ノ所有者及耕作者ノ地位ノ安定及農業生産力ノ維持増進ヲ圖リ以テ農村ノ經濟更生及農村平和ノ保持ヲ期スル爲メ農地關係ノ調整ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 本法ニ於テ農地トハ耕作ヲ目的トスル土地ヲ謂フ

第三條 農地ノ所有者又ハ耕作者ハ兵役其ノ他命令ヲ以テ定ムル事由ニ因リテ農地ヲ自ラ耕作シ又ハ管理スルコト能ハザルトキハ市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ニ農地ノ管理又ハ買取ノ申出ヲ爲スコトヲ得

前項ノ申出アリタル場合ニ於テハ同項ノ團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲スコトヲ得

第四條 道府縣、市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ガ農村ノ經濟更生ノ爲メ命令ノ定ムル所ニ依リ自作農創設維持ニ要スル土地ヲ取得シ又ハ使用スルノ必要アルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ土地ノ所有者其ノ他之ニ關シ權利ヲ有スル者ニ對シ土地ノ讓渡又ハ使用收益ノ權利ノ設定若ハ讓渡ニ關スル協議ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ團體ガ未墾地ヲ開發シテ同項ノ事業ヲ行ハントスル場合ニ於テ同項ノ規定ニ依ル協議調ハザルトキハ開發セントスル未墾地其ノ他其ノ開發ニ必要ナル土地又ハ其ノ使用收益ノ權利ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス

第五條 行政官廳農村ノ經濟更生ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ農地ノ所有者ヲシテ農地處分ニ當リ命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ市町村農地委員會ニ其ノ旨ヲ通知セシムルコトヲ得

第六條 命令ヲ以テ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ノ所有者ハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其自作地ノ讓渡若ハ貸付ヲ爲シ又ハ之ニ付物權ヲ設定スルコトヲ得ズ

第七條 前條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ニ付テハ其ノ旨ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ登記ヲ爲スニ非ザレバ前條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地タルコトヲ以テ第三者

ニ對抗スルコトヲ得ズ

第一項ノ規定ニ依ル登記ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 農地ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ農地ノ引渡アリタルトハ後其ノ農地ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力ヲ生ズ

民法第五百六十六條第一項及第三項ノ規定ハ登記セザル賃貸借ノ目的タル農地ガ賣買ノ目的物ナル場合ニ之ヲ準用ス
民法第五百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 農地ノ賃借人ハ賃借人ガ有想スベキ事情ナキニ拘ラズ小作料滯納スル等信義ニ反シタル行爲ナキ限り賃貸借ノ解約ヲ爲シ又ハ更新ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ土地使用ノ目的ノ變更又ハ賃借人ノ自作ヲ相當トスル場合其ノ他正當ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

當事者ガ農地ノ賃貸借ノ期間ヲ定メタルトキハ當事者ガ期間滿了前六月乃至一年內ニ相手方ニ對シ更新拒絕ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ從前ノ賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス但シ賃借人ノ疾病ニ因リテ自ラ耕作スルコト能ハザル爲其ノ他特別ノ事由ニ因リテ一時賃貸借ヲ爲シタルコト明ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

農地ノ賃貸借ノ當事者賃貸借ノ解約ヲ爲シ又ハ更新ヲ拒マントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ其ノ旨ヲ市町村農地委員會ニ通知スベシ

第二項竝ニ民法第六百十七條及第六百十八條ノ規定ニ異ル小作條件ニシテ賃借人ニ不利ナルモノハ之ヲ定メザルモノト看做ス

第十條 小作關係ノ爭議ニ付公益上必要アリト認ムルトキハ小作官ハ小作調停法ニ依ル調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

小作關係ノ爭議ニ付訴訟ガ繫屬スルトキハ受訴裁判所ハ職權ヲ以テ小作官ノ意見ヲ聽キ事件ヲ小作調停法ニ依ル調停ニ付スルコトヲ得

第十一條 小作調停法ニ依ル調停ノ爲必要アリト認ムルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ小作官ノ意見ヲ聽キ調停前ノ措置トシテ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル裁判ハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ニ於テ非訴訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第一項ノ規定ニ依ル裁判ニ違反シタル者ハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ニ於テ五百圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得

非訟事件手續法第二百七條及第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十二條 小作調停法ニ依ル調停委員會ニ於テ調停成ラザル場合ニ裁判所相當ト認ムルトキハ職權ヲ以テ小作官及調停委員ノ意見ヲ聽キ當事者雙方ノ利益ヲ衡平ニ考慮シ一切ノ事情ヲ斟酌シテ調停ニ代ヘ小作關係ノ存續、小作條件ノ變更其ノ他爭議ノ解決上必要ナル裁判ヲ爲スコトヲ得此ノ裁判ニ方テハ小作料ノ支拂、小作地ノ引渡其他財産上ノ給付ヲ命ズルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル裁判ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依ル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス
前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第一項ノ規定ニ依ル裁判確定シタルトキハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第十三條 小作關係ノ爭議ヲ除クノ外相隣關係其ノ他農地ノ利用關係ニ付爭議ヲ生ジタルトキハ當事者ハ裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ小作調停法及第十條乃至前條ノ規定ヲ準用ス

第十四條 裁判所第十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ小作關係ノ存續、小作條件ノ變更其ノ他爭議ノ解決上必要ナル裁判ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ市町村農地委員會又ハ道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十五條 自作農創設維持、小作關係ノ調整、農地ノ交換分合其ノ他農地ニ關スル事項ヲ處理スル爲市町村ニ市町村農地委員會ヲ、道府縣ニ道府縣農地委員會ヲ置クコトヲ得

市町村農地委員會及道府縣農地委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 左ニ掲グル不動産ノ取得ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

一 第三條又ハ第四條ノ團體ガ第三條又ハ第四條ノ事業ノ爲ニスル土地ノ取得

二 第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依ル個人ノ土地ノ取得

三 第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル土地ノ所有者ガ其ノ創設又ハ維持ノ條件

ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル事業者ノ土地ノ取得
第十七條 本法ニ於テ町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズルモノトス

附 則

第十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 命令ヲ以テ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ依リ本法施行前ニ創設又ハ維持セラレタル自作地ニ付テハ其ノ旨ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第六條、第七條第二項及第三項並ニ第十六條第二號及第三號ノ規定ハ前項ノ自作地ニ關シ之ヲ準用ス

第二十條 第八條及第九條ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ存スル農地ノ賃貸借ニモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行ノ際現ニ存スル農地ノ賃貸借ニシテ本法施行後一年內ニ其ノ期間滿了スベキモノニ付當事者ガ其ノ期間滿了前一年內ニ相手方ニ對シテ爲シタル更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ更新セザル旨ノ通知ハ第九條第二項ノ期間內ニ爲サザルモノト雖モ之ヲ同條同項ノ期間內ニ爲シタルモノト看做ス

第二十一條 第十條第二項及第十一條乃至第十四條ノ規定ハ本法施行ノ際現ニ繫屬スル小作關係其ノ他農地ノ利用關係ニ關スル訴訟事件又ハ調停事件ニモ亦之ヲ適用ス

第二十二條 登録稅法第十九條但書中「第八號、第九號」ヲ「第八號乃至第九號ノ四」ニ改ム

同法同條第八號中「自作農ノ創設維持又ハ」及「北海道府縣市町村、産業組合、産業組合聯合會、」ヲ削リ同號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

八ノ二 農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記
同法同條第九號ヲ左ノ如ク改ム

九 農地調整法第三條若ハ第四條ノ團體又ハ第六條若ハ第十九條ノ事業ヲ行フ者ニ對シ同法第三條、第四條、第六條又ハ第十九條ノ事業ニ要スル資金ノ貸付ヲ爲ス者カ其ノ貸付ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

九ノ二 農地調整法第三條又ハ第四條ノ團體カ同法第三條又ハ第四條ノ事業ノ爲ニスル土地ノ權利ノ取得ノ登記

九ノ三 農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ事業ヲ行フ者ガ自作農創設維持ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

九ノ四 農地調整法第七條又ハ第十九條ノ規定ニ依ル登記

同法同條第十二號ヲ左ノ如ク改ム

十二 農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル土地ノ所有者カ其ノ創設又ハ維持ノ條件ヲ具備セサルニ至リタル場合ニ於ケル事業者ノ土地所有權ノ取得ノ登記

○農地調整法施行令

(昭和十三年七月二十九日)
勅令第百二十六號

第一條 農地調整法第四條ノ事業ヲ行フ團體ハ道府縣及市町村ノ外産業組合及農事實行組合トス

第二條 農地調整法第四條ノ自作農創設維持ノ事業トハ同條ノ團體ガ命令ノ定ムル所ニ依リ行フ左ノ事業ヲ謂フ

一 個人ノ自作地ト爲スベキ土地ノ購入ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ自作地ノ創設ヲ爲スコト

二 個人ノ自作地トシテ土地ヲ購入シタルニ因リ生ジタル債務ノ借替ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ自作地ノ維持ヲ爲スコト

三 個人ノ自作地ト爲ス爲ノ未墾地ノ購入若ハ開墾ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ又ハ其ノ開墾ニ對シ助成ヲ爲シ自作地ノ創設ヲ爲スコト

四 自作地ト爲スベキ土地ヲ購入シ、自作地ト爲ス爲未墾地ヲ購入シテ開發シ又ハ自作地ト爲ス爲其ノ所有スル未墾地ヲ開發シ之ヲ資金ノ貸付又ハ代金割賦支拂ノ方法ニ依リ讓渡シ自作地ノ創設ヲ爲スコト

五 其ノ所有スル土地ヲ代金割賦支拂ノ方法ニ依リ讓渡シ自作地ノ創設ヲ爲スコト

第三條 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業トハ道府縣、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ直接又ハ間接ニ政府ノ資金ノ融通又ハ補助若ハ助成ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ行フ前條第一號乃至第四號ノ事業及同法第四條第二項ノ規定ニ依リ土地又ハ其ノ使用收益ノ權利ヲ取得シテ行フ前條ノ事業ヲ謂フ

第四條 農地調整法第六條ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ノ所有者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ同條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

一 自作地ノ創設又ハ維持セラレタル年ヨリ起算シ三十年ヲ經過シ且其ノ創設又ハ其ノ維持ノ爲生ジタル事業者ニ對ス

ル債務ノ辨濟ヲ完了シタル後ニ於テ其ノ自作地ノ讓渡若ハ貸付ヲ爲シ又ハ之ニ付物權ヲ設定スルトキ
二 自作地ノ創設又ハ維持ノ爲生ジタル事業者ニ對スル債務ノ爲其ノ自作地ニ付抵當權ヲ設定スルトキ
三 自己若ハ家族ノ兵役又ハ徵用ニ因リ自ラ耕作スルコト能ハザル場合ニ於テ事業者ノ承認ヲ得テ其ノ自作地ノ讓渡ヲ爲ストキ

四 自己若ハ家族ノ兵役、徵用若ハ疾病又ハ牛馬ノ徵發其ノ他特別ノ事由ニ因リ自ラ耕作スルコト能ハザル場合ニ於テ事業者ノ承認ヲ得テ自作地ヲ一時貸付クルトキ

第五條 市町村農地委員會ノ設置及廢止ハ地方長官市町村長ノ意見ヲ徵シ之ヲ定ム
第六條 市町村農地委員會ハ左ニ掲グル事項ヲ處理スルモノトス

一 農地調整法第三條ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
二 農地調整法第四條ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
三 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋

四 農地調整法第五條又ハ第九條第三項ノ通知ヲ受ケタル場合ニ於ケル斡旋
五 小作關係、相隣關係其ノ他農地ノ利用關係ニ關スル斡旋及爭議ノ防止

六 農地調整法第十四條ノ規定ニ依ル裁判所ニ對スル意見ノ申出
七 農地ノ交換分合ノ斡旋其ノ他農地事情ノ改善ニ關スル事項

八 前各號ニ掲グルモノノ外農地關係ノ調整ニ關シ地方長官ノ命ズル事項

第七條 市町村農地委員會ハ當該市町村ノ区域内ニ存スル農地ニ關スル事項ヲ處理スルモノトス但シ耕作者又ハ農地ノ所有者ノ爲必要アル場合ニ於テハ他ノ市町村ノ区域内ニ存スル農地ニ關スル事項ヲ處理スルコトヲ得

市町村農地委員會其ノ處理スベキ事項ガ二以上ノ市町村ニ關係ヲ有シ之ヲ處理スルコト困難又ハ不適當ト認ムルトキハ道府縣農地委員會ニ對シ當該事項ノ處理ヲ申出ヅルコトヲ得

第八條 市町村農地委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス
第九條 市町村農地委員會ノ委員ハ八人以内トス但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ハ其ノ定數ヲ増加スルコトヲ得

特別ノ事項ヲ處理スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第十條 市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ハ地方長官之ヲ選任シ又ハ解任ス
會長ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外市町村長之ニ選任スルモノトス

第十一條 市町村農地委員會ノ會長、委員及臨時委員ハ名譽職トス
會長及委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事由アルトキハ任期中ト雖モ之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

補缺選任其ノ他ノ事由ニ因リ他ノ委員ト選任ノ時ヲ異ニスル委員ノ任期ハ他ノ委員ノ殘任期間トス
會長ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任ノ會長就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

第十二條 市町村農地委員會ノ會長、委員又ハ臨時委員ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ズ
第十三條 市町村農地委員會ノ會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ地方長官ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス
第十四條 市町村農地委員會必要アリト認ムルトキハ重要ナル事項ヲ除クノ外會長ノ指名スル委員又ハ臨時委員ヲシテ其ノ事務ノ處理ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十五條 市町村農地委員會又ハ前條ノ規定ニ依リ事務ノ處理ヲ擔任スル委員若ハ臨時委員ハ事務ノ處理ノ爲必要アリト認ムルトキハ期日及場所ヲ定メ當事者ヲ呼出シ又ハ利害關係人ノ參加ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 前條ノ場合ニ於テハ當事者又ハ利害關係人ハ自身出願スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ市町村農地委員會又ハ第十四條ノ規定ニ依リ事務ノ處理ヲ擔任スル委員若ハ臨時委員ノ承認ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシメ又ハ輔佐人ヲ同伴スルコトヲ得

市町村農地委員會又ハ第十四條ノ規定ニ依リ事務ノ處理ヲ擔任スル委員若ハ臨時委員ハ何時ニテモ前項ノ承認ヲ取消ス
コトヲ得

第十七條 市町村農地委員會ニ關スル費用ハ市町村ノ負擔トス

第十八條 市町村農地委員會ノ事務ノ處理ニ關シ當事者ノ申出ニ因リ特別ノ行爲ヲ爲シタル爲要シタル費用ニ付市町村長ハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ其ノ實費ヲ徵スルコトヲ得

- 前項ノ場合ニ於テハ市町村長ハ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得
- 第十九條 前條第一項ノ規定ニ依リ徵收シタル費用ハ市町村ノ收入トス
- 第二十條 北海道廳又ハ府縣ノ小作官又ハ自作農創設維持其ノ他農地ニ關スル事務ニ從事スル官吏若ハ待遇官吏ハ市町村農地委員會ノ會議ニ出席シ且意見ヲ述ブルコトヲ得
- 第二十一條 道府縣ニ道府縣農地委員會ヲ置ク
- 第二十二條 道府縣農地委員會ハ左ニ掲グル事項ヲ處理スルモノトス
 - 一 農地調整法第四條ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
 - 二 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業ニ關スル調査審議及斡旋
 - 三 小作關係其ノ他農地ノ利用關係ニ關スル斡旋及爭議ノ防止
 - 四 農地調整法第十四條ノ規定ニ依ル裁判所ニ對スル意見ノ申出
 - 五 第七條第二項ノ規定ニ依リ申出アリタル事項
 - 六 前各號ニ掲グルモノノ外農地事情ノ改善ニ關スル事項及農地關係ノ調整ニ關シ農林大臣ノ命ズル事項
- 第二十三條 道府縣農地委員會ハ會長及委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第二十四條 道府縣農地委員會ノ會長ハ地方長官ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二十五條 道府縣農地委員會ノ委員ハ十五人以内トス
 - 特別ノ事項ヲ處理スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得
- 第二十六條 道府縣農地委員會ノ委員及臨時委員ハ農林大臣之ヲ選任シ又ハ解任ス
- 第二十七條 第十一條乃至第十六條ノ規定ハ道府縣農地委員會ニ之ヲ準用ス
- 第二十八條 道府縣農地委員會ニ關スル費用ハ道府縣ノ負擔トス
- 第二十九條 道府縣農地委員會ノ事務ノ處理ニ關シ當事者ノ申出ニ因リ特別ノ行爲ヲ爲シタル爲要シタル費用ニ付地方長官ハ其ノ實費ヲ徵スルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

第三十條 前條第一項ノ規定ニ依リ徵收シタル費用ハ道府縣ノ收入トス

第三十一條 市町村農地委員會及道府縣農地委員會ハ農林大臣及地方長官ノ監督ニ屬ス

第三十二條 農林大臣又ハ地方長官ハ市町村農地委員會又ハ道府縣農地委員會ニ對シ監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 本令中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズルモノトス

附 則

第三十四條 本令ハ農地調整法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十五條 農地調整法第十九條ノ自作農創設維持ノ事業トハ道府縣、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ自作農創設維持補助規則若ハ自作農創設維持補助規則ニ依ル補助若ハ助成ニ依リ又ハ其ノ補助若ハ助成ニ依ルモノト左ニ掲グル事項ニ付同一ノ條件ヲ以テ道府縣ノ施設ニ依リ行ヒタル自作農創設維持ノ事業ヲ謂フ

- 一 創設又ハ維持セラルル自作地ノ所有者ノ資格
 - 二 創設又ハ維持セラルル土地ノ單價及總價額ノ制限
 - 三 自作ヲ繼續スベキ年限
 - 四 讓渡又ハ抵當權設定ノ制限
 - 五 創設又ハ維持セラルル自作地ノ所有者ガ前各號ニ違反シタル場合ノ處置
- 第四條ノ規定ハ前項ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ノ所有者ニ之ヲ準用ス

○農地調整法施行規則

(昭和十三年七月二十九日 農林省令第三十二號)

第一條 農地調整法第三條ノ團體ハ市町村ノ外市農會、町村農會、産業組合、農事實行組合及養蠶實行組合トス但シ買取ノ事業ニ付テハ市農會及町村農會ヲ除ク

第二條 市町村農地委員會必要アリト認ムルトキハ農地調整法第三條ノ團體中同條第一項ノ規定ニ依ル農地ノ管理又ハ買取ノ申出ヲ爲スベキ團體ヲ指定スルコトヲ得

第三條 農地調整法第三條第一項ノ規定ニ依リ農地ノ所有者又ハ耕作者ガ農地ノ管理又ハ買取ノ申出ヲ爲スコトヲ得ルハ兵役ノ外自己又ハ家族ノ徵用、牛馬ノ徵發、農村ノ經濟更生ノ爲ニスル移民其ノ他公共ノ爲己ムヲ得ザル事由ニ因リ自ラ耕作シ又ハ管理スルコト能ハザル場合トス

第四條 農地調整法第三條ノ團體同條ノ事業ヲ爲サントスルトキハ市町村農地委員會ノ審議ヲ經テ規程ヲ定メ之ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第五條 地方長官ハ何時ニテモ農地調整法第三條ノ團體ヲシテ同條ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ事業ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第六條 農地調整法第四條又ハ第六條ノ自作農創設維持ノ事業ハ資金ノ貸付又ハ助成ニ依リ之ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一 自作地ノ創設又ハ維持ヲ受クル者ハ現ニ農業ニ從事シ自作地ノ經營ヲ持續スルコトヲ得ル見込アル者ナルコト

二 自作地ノ創設ヲ受クル者ハ土地ガ小作地又ハ借地ナル場合ニ於テハ其ノ小作人又ハ借地人ナルコト但シ其ノ他ノ者ニ對シ自作地ノ創設ヲ爲スコトニ付其ノ小作人又ハ借地人ガ同意シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三 自作地トシテ創設又ハ維持セララルル土地ハ其ノ上ニ抵當權又ハ自作ノ障礙トナルベキ權利ガ存在セザルモノナルコト

四 自作地ノ創設ヲ受クル者ガ購入セントスル土地ノ購入價格ハ附録ニ定ムル算式ニ依ル標準價格(特ニ必要アルトキハ附録ニ定ムル算式ニ依リ算出シタル價格ノ範圍内ニ於テ農林大臣ノ定ムルモノ)及當該地方ノ普通價格ヲ超エザルモノナルコト

五 自作地ノ維持ヲ受クル者ガ借替ヲ爲サントスル債務額ハ前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エズ且其ノ土地ノ購入價格ハ購入當時ニ於ケル前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エザルモノナルコト

六 未墾地ノ開墾ニ依リ自作地ノ創設ヲ爲ス場合ニ於テハ未墾地ノ價格ニ開墾費(助成アル場合ニ於テハ其ノ金額ヲ控

除ス)ヲ加算シタルモノガ開墾ニ依ル土地ノ第四號ノ標準價格及普通價格ヲ超エザル見込アルモノナルコト

七 創設又ハ維持セララルル自作地ノ價額ハ一世帯ニ付田畑ニ在リテハ四千圓、宅地ニ在リテハ五百圓ヲ超エザルモノナルコト但シ自作地ノ創設又ハ維持ヲ受クル者ガ現ニ田畑又ハ宅地ヲ所有スル場合ニ於テハ其ノ田畑又ハ宅地(維持ノ場合ニ於テハ維持セントスル田畑又ハ宅地ヲ除ク)ノ價額ト購入シ又ハ維持セントスル田畑又ハ宅地ノ價額トノ合計額ガ田畑ニ在リテハ四千圓(農林大臣ノ特ニ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ付テハ六千圓)宅地ニ在リテハ五百圓ヲ超エザルモノナルコト

八 貸付利率ハ年三分二厘以下トシ償還期間ハ据置期間ヲ除キ原則トシテ二十四年トスルコト

九 貸付ハ年賦償還又ハ半年賦償還ノ方法ニ依リ之ヲ爲シ元金ト利息トヲ併セ計算シ毎期同一ノ金額ヲ償還セシムルコト

十 創設又ハ維持セララルタル自作地ノ所有者ハ資金ノ貸付ヲ受ケタル場合ニ於テハ貸付ノ際決定セララルタル償還期間内(其ノ償還期間内ニ債務ノ辨濟ヲ完了セザルトキハ其ノ辨濟ヲ完了スル迄ノ期間)助成ヲ受ケタル場合ニ於テハ助成ヲ受ケタル年ヨリ起算シ三十年間事業者ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ自作地ヲ讓渡シ自作ヲ廢止シ、又ハ貸付金ノ擔保トシテ事業者ノ取得スル抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權若ハ自作ノ障礙トナルベキ權利ヲ設定スルコトヲ得ザルモノトスルコト

十一 創設又ハ維持セララルタル自作地ノ所有者事業者ノ承認ヲ得テ其ノ土地ヲ自作地トシテ讓渡スル場合ニ於テハ讓受人ガ第一號ノ資格ヲ有シ且農地ヲ所有セズ又ハ第七號但書ニ該當スル者ニシテ事業者ニ對スル一切ノ義務ヲ承繼スルモノナルトキニ限ルモノトスルコト

十二 創設又ハ維持セララルタル自作地ノ所有者ガ創設又ハ維持ノ條件ニ違反シタル場合ニ於テ貸付金ノ未償還金アルトキハ事業者ハ一時ニ之ヲ返還セシメ又ハ其ノ定ムル條件ヲ以テ創設又ハ維持セララルタル自作地ヲ先買スルコトヲ得ルモノトスルコト

前項ノ自作農創設維持ノ事業ハ代金割賦支拂ノ方法ニ依リ土地ヲ讓渡シテ之ヲ爲ス場合ニ於テハ前項各號ノ例ニ依ルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ依ル自作農創設維持ノ事業ヲ爲ス者其ノ事業ノ爲自作地ト爲スベキ土地又ハ開發シテ自作地ト爲スベキ未墾地ヲ購入スル場合ニ於テハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一 購入セントスル土地ガ小作地又ハ借地ナル場合ニ於テハ其ノ小作人又ハ借地人ニ付自作地ノ創設ヲ爲スコトヲ得ルモノナルコト但シ其ノ他ノ者ニ對シ自作地ノ創設ヲ爲スコトニ付其ノ小作人又ハ借地人ガ同意シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二 自作地ト爲スベキ土地ニ在リテハ購入後五年以内ニ、開發シテ自作地ト爲スベキ未墾地ニ在リテハ開發完了後遲滞ナク之ヲ讓渡シ自作農ノ創設ヲ爲スコト但シ行政官廳ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

三 自作地ト爲スベキ土地又ハ自作地ト爲ス爲開發シタル土地ハ前號ニ依リ自作地ノ創設ヲ爲ス迄ノ期間ハ其ノ創設ヲ受クル者ヲシテ之ヲ耕作シ又ハ使用セシムルコト

四 自作地ト爲スベキ土地又ハ開發シテ自作農ト爲スベキ未墾地若ハ開發シタル土地ハ第二號ニ依ル讓渡又ハ前號ニ依ル貸付ノ場合ヲ除クノ外行政官廳ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ自作地ノ創設ノ用ニ供セズ、之ヲ貸付ケ若ハ讓渡シ又ハ之ニ付抵當權其ノ他ノ物權ヲ設定スルコトヲ得ザルコト

前項第二號及第四號ノ行政官廳ハ道府縣ガ自作農創設維持ノ事業ヲ行フ場合ニ於テハ農林大臣、其ノ他ノ團體ガ之ヲ行フ場合ニ於テハ地方長官トス

第七條 農地調整法第四條又ハ第六條ノ團體同條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行ハントスルトキハ道府縣ニ在リテハ農林大臣、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ニ在リテハ地方長官ノ認可ヲ受ケベシ但シ市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ農林大臣ノ承認ヲ得タル道府縣ノ施設ニ基キ行フ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 道府縣前條ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

- 一 事業計畫書
- 二 事業ニ關スル收支豫算書
- 三 事業ニ關スル諸規程
- 四 資墾ニ關スル調査、起債議決書ノ謄本及起債ニ關スル許可書ノ寫

五 未墾地ノ開發事業ノ施行ニ關シ必要ナル認可、許可、議決又ハ同意ヲ證スル書面

前項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

前二項ノ規定ハ道府縣ガ前條ノ承認ヲ受クル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 農地調整法第四條ノ團體同條第一項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ道府縣ニ在リテハ農林大臣ニ、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ニ在リテハ地方長官ニ之ヲ提出スベシ

- 一 取得シ又ハ使用セントスル土地ノ地目、地番、面積及其ノ土地ニ關シ現ニ存スル權利ノ内容ヲ記載シタル書面
- 二 取得セントスル權利ノ内容ヲ記載シタル書面
- 三 協議ヲ必要トスル事由及協議ヲ求メントスル者ノ住所氏名ヲ記載シタル書面
- 四 取得シ又ハ使用セントスル土地ノ附近ノ土地事情ヲ記載シタル書面
- 五 道府縣農地委員會又ハ市町村農地委員會ノ審議ノ結果ヲ記載シタル書面

第十條 地方長官ハ農地調整法第五條ノ規定ニ依リ區域及通知ヲ爲スベキ場合ヲ定メ其ノ區域内ニ在ル農地ノ所有者ヲシテ農地處分ノ一月前迄ニ其ノ農地ノ所在スル市町村農地委員會ニ其ノ旨ヲ通知セシムルコトヲ得

地方長官前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨農林大臣ニ報告スベシ

第十一條 農地調整法第六條ノ自作地ノ所有者同條ノ認可ヲ受ケントスルトキハ事由ヲ具シ地方長官ニ申請スベシ

前項ノ申請ハ事業者ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テハ事業者ハ遲滞ナク意見ヲ附シ之ヲ地方長官ニ進達スルコトヲ要ス

第十二條 農林大臣又ハ地方長官ハ何時ニテモ農地調整法第四條又ハ第六條ノ事業ヲ行フ團體ヲシテ同條ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ事業ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 農地調整法第九條第三項ノ規定ニ依ル通知ハ解約ノ申入ヲ爲シ又ハ更新拒絕ノ通知若ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ更新セザル旨ノ通知ヲ發スル日ヨリ一月前迄ニ農地ノ所在スル市町村農地委員會ニ、農地ノ所在スル市町村ニ市町村農地委員會ナキ場合ニ於テハ相手方ノ居住スル市町村ノ農地委員會ニ之ヲ爲スベシ

第十四條 地方長官市町村農地委員會ヲ設置シ又ハ廢止シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ告示シ且農林大臣ニ報告スベシ

第十五條 市町村農地委員會ノ會長、委員又ハ臨時委員ノ選任ニ付テハ地方長官ハ市町村長ノ意見ヲ徵スベシ
第十六條 道府縣農地委員會ノ委員又ハ臨時委員ノ選任ニ付テハ農林大臣ハ地方長官ノ意見ヲ徵スルモノトス
第十七條 本則中町村又ハ町村長トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズルモノトス

附 則
本令ハ農地調整法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
附 錄

標準價格ニ 小作料金額一公租公課
0.06033

備 考

- 一 小作料ハ平年ニ於ケル實納小作料ニ依ルコト但シ小作料ノ定ナキ土地ニ在リテハ其ノ土地ニ類似スル土地ノ小作料ニ依ルコト
- 二 小作料ガ平年作ニ於ケル收穫高ニ比シ不適當ト認メラルルトキハ適當ナル額ヲ以テ小作料ニ代フルコト
- 三 小作料及收穫高ナ價額ニ換算スル場合ニ於テハ其ノ物ノ價格ハ當該地方ニ於ケル最近五年ノ平均價格ヲ用フルコト但シ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 四 小作權買賣ノ慣行アル地方ニ於テ土地ノ購入ニ際シ其ノ土地ノ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ小作料ハ小作權者ガ轉貸スル場合ニ於ケル又小作料ニ依ルコト
- 五 算式中ノ公租公課ニハ地租、地租附加税又ハ之ニ準ズベキ地方税、農會費中地租制及水利組合費（北海道ニ在リテハ土功組合費）ヲ含ムモノトス

○自作地登記令

（昭和十三年七月二十九日）
（勅令第五百二十七號）

第一條 農地調整法第七條第一項ノ自作地ノ登記ハ道府縣又ハ市町村ガ事業者ナルトキハ其ノ囑託ニ因リ、産業組合又ハ農事實行組合ガ事業者ナルトキハ其ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ囑託又ハ申請ヲ爲スニハ自作地ナル旨ノ地方長官ノ證明書ヲ添附スルコトヲ要ス

第二條 前條第一項ノ囑託又ハ申請アリタルトキハ登記官吏ハ其ノ土地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ其ノ土地ガ農地調整法ニ依ル自作地ナル旨ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第三條 自作地ノ讓渡アリタル場合ニ於テ其ノ讓渡ニ因リ自作地タラザルモノト爲リタル土地ニ付所有地移轉登記ノ申請ヲ爲スニハ自作地タラザルモノト爲リタル旨ノ地方長官ノ證明書ヲ添附スルコトヲ要ス

登記官吏前項ノ移轉登記ヲ爲シタルトキハ之ト共ニ前條ノ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四條 前二項ノ規定ハ自作地ニ付競賣又ハ公賣ノ處分アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五條 自作地ニシテ農地調整法施行令第四條第一號ノ規定ニ依リ其ノ處分ニ付行政官廳ノ認可ヲ要セザルニ至リタルモノニ付テハ其ノ所有者ハ第二條ノ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ地方長官ノ其ノ旨ノ證明書ヲ添附スルコトヲ要ス

附 則
本令ハ農地調整法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○不動産登記法施行細則（拔萃）

（明治三十二年五月十二日）
（司法省令第十一號）

- 第四十四條ノ三 登録税法施行規則第五條又ハ第六條ノ六ノ規定ニ依リ登録税ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ登記ノ申請書ニ左ノ各號ニ從ヒ附屬書類ヲ添附スベシ
- 一 登録税法施行規則第五條第一號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ證明書及ビ資金ノ貸付證書又ハ貸付ヲ爲シタル北海道府縣市町村、産業組合若クハ農事實行組合ノ認證シタル貸付證書ノ謄本
- 二 登録税法施行規則第五條第二號、第三號又ハ第四號ノ場合ニ於テハ其ノ各號ニ該當スル施設ナルコトノ地方長官ノ

證明書

- 三 登録税法施行規則第五條第五號ノ場合ニ於テハ自作地ナルコトノ地方長官ノ證明書
- 四 登録税法施行規則第五條第六號ノ場合ニ於テハ同號ニ該當スル施設ナルコト及ビ自作農ノ創設又ハ維持ノ條件ヲ具備セザルニ至リタルモノナルコトノ地方長官ノ證明書

(以下略)

○登録税法(拔萃)

(明治二十九年三月二十八日 法律第二十七號)

第十九條 左ニ掲グルモノニハ登録税ヲ課セズ但シ第八號乃至第九號ノ四、第十一號、第十二號及第十四號乃至第十七號ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

(中略)

- 八ノ二 農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登記
- 九 農地調整法第三條若ハ第四條ノ團體又ハ第六條若ハ第十九條ノ事業ヲ行フ者ニ對シ同法第三條、第四條、第六條又ハ第十九條ノ事業ニ要スル資金ノ貸付ヲ爲ス者ガ其ノ貸付ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記
- 九ノ二 農地調整法第三條又ハ第四條ノ團體ガ同法第三條又ハ第四條ノ事業ノ爲ニスル土地ノ權利ノ取得ノ登記
- 九ノ三 農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ事業ヲ行フ者ガ自作農創設維持ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記
- 九ノ四 農地調整法第七條又ハ第十九條ノ規定ニ依ル登記
- (中略)
- 十二 農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル土地ノ所有者ガ其ノ創設又ハ維持ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル事業者ノ土地所有權ノ所得ノ登記

(以下略)

○登録税法施行規則(拔萃)

(明治三十二年五月十九日 勅令第二百五號)

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル登記ニシテ其ノ該當スルコトニ付地方長官ノ證明アルモノニハ登録税法第十九條第八號ノ二乃至第九號ノ四又ハ第十二號ノ規定ニ依リ登録税ヲ免除ス

- 一 北海道府縣市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ行フ農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依ル個人ノ土地所有權ノ取得ノ登録
- 二 北海道府縣市町村、産業組合、農事實行組合又ハ養蠶實行組合ニ對シ農地調整法第三條、第四條、第六條又ハ第十九條ノ事業ニ要スル資金ノ貸付ヲ爲ス者ガ其ノ貸付ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記
- 三 北海道府縣市町村、産業組合、農事實行組合又ハ養蠶實行組合ガ農地調整法第三條又ハ第四條ノ事業ノ爲ニスル土地ノ權利ノ取得ノ登記
- 四 北海道府縣市町村、産業組合又ハ農事組合ガ農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記
- 五 農地調整法第七條又ハ第十九條ノ規定ニ依ル登記
- 六 農地調整法第四條、第六條又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル土地ノ所有者ガ其ノ創設又ハ維持ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場合ニ於ケル北海道府縣市町村、産業組合又ハ農事實行組合ノ土地所有地ノ取得ノ登記

○臨時租稅措置法(拔萃)

(昭和十三年三月三十一日 法律第五十二號 昭和十四年三月 法律第五十號改正)

第二十二條ノ二 耕作ヲ目的トスル土地（其ノ土地ニ附隨シテ利用セラルル土地ヲ含ム）ノ所有權ノ交換ヲ爲シタル場合ニ於テハ交換ニ因ル所有權ノ取得又ハ交換ノ爲ニスル所有權ノ保存ノ登記ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ登録稅ヲ免除ス
前項ノ規程ハ永小作權ノ交換又ハ前項ノ土地ノ所有權ト永小作權トノ交換ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

○臨時租稅措置法施行規則（拔萃）

昭和十三年四月一日
大藏省令第二十一號
昭和十四年四月
大藏省令第十三號改正

第二十四條 耕作ヲ目的トスル土地（其ノ土地ニ附隨シテ利用セラルル土地ヲ含ム）ノ所有權ノ交換ヲ爲シタル場合ニ於ケル交換ニ依ル所有權ノ取得又ハ交換ノ爲ニスル所有權ノ保存ノ登記ニシテ交換ガ左ニ掲グル條件ヲ具備スルコトニ付 地方長官ノ證明アルモノニハ臨時租稅措置法第二十二條ノ二ノ規定ニ依リ登録稅ヲ免除ス
一 交換ガ農地委員會又ハ國、北海道若ハ府縣ノ補助金ノ交付ヲ受ケテ設置セラレタル市町村ノ經濟更生委員會ノ幹旋ニ基クモノナルコト
二 交換地ノ雙方又ハ一方ガ自作地ナルコト
三 交換地ノ價額ノ差ガ價額ノ多額ナル一方ノ十分ノ三以内ナルコト
前項ノ規定ハ永小作權ノ交換又ハ前項ノ土地所有權ト永小作權トノ交換ヲ爲シタル場合ニ付之ヲ準用ス

○小作調停法

大正十三年七月二十二日公布
同 年十二月一日施行
法律第十八號

第一條 小作料其ノ他小作關係ニ付爭議ヲ生ジタルトキハ當事者ハ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

當事者ハ合意ヲ以テ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得
第二條 當事者不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタルトキ裁判所ハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得
第三條 調停ノ申立ハ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長又ハ郡長ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ得
第四條 前條ノ規定ニ依リ調停ノ申立アリタルトキハ市町村長又ハ郡長ハ遲滯ナク申立ニ關スル書類ヲ裁判所ニ送付シ且 町村長ニ在リテハ郡長ニ郡長ニ在リテハ町村長ニ申立アリタル旨ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス
爭議ノ目的タル土地ガ數郡市町村ニ互ル場合ニ於テハ調停ノ申立ヲ受ケタル市町村長又ハ郡長ハ遲滯ナク關係市町村長及郡長ニ前項ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス
第五條 裁判所直接ニ調停ノ申立ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス但シ第八條第一項ノ規定ニ依リ事件ヲ移送スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第六條 調停ノ申立ハ爭議ノ實情ヲ明ニシテ之ヲ爲スベシ
第七條 調停ノ申立ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得口頭ヲ以テ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ市町村長、郡長又ハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス
第八條 爭議ノ目的タル土地ガ數箇ノ裁判所ノ管轄區域内ニ存スル場合ニ於テ調停ノ申立ヲ受ケタル地方裁判所又ハ區裁判所相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ管轄地方裁判所又ハ管轄區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所ガ調停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同ジ
前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ
第一項ノ場合ニ於テ事件ヲ移送テ受ケタル裁判所ハ遲滯ナク爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ其ノ旨ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス
第九條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟ガ繫屬スルトキハ調停ノ終了ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止ス
第十條 裁判所調停ノ申立ヲ受理シタルトキハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス但シ爭議ノ實情ニ鑑ミ之ヲ開カズシテ調停ヲ爲スコトヲ得
當事者ノ申立アルトキハ前項但書ノ規定ニ拘ラズ裁判所ハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第十一條 裁判所事情ニ依リ適當ナル者アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ拘ラズ之ヲシテ勸解ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條 當事者多數ナル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ代表シテ調停ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲總代ヲ選任スルコトヲ得

裁判所前項ノ規定ニ依ル總代ナキ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ總代ノ選任ヲ命ズルコトヲ得

第十三條 總代ノ選任ハ書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス

第十四條 裁判所ハ期日ヲ定メ當事者又ハ總代ヲ呼出スコトヲ要ス

第十五條 調停ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ調停ニ参加スルコトヲ得

第十六條 當事者、總代及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシメ又ハ輔佐人ヲ同伴スルコトヲ得

第十七條 爭議ノ目的タル土地ノ所在地又ハ當事者ノ住所地ノ市町村長又ハ郡長ハ裁判所ニ對シ事件ノ經過ニ付陳述ヲ爲スコトヲ得

第十八條 裁判所必要アリト認ムルトキハ小作官、前條ノ市町村長又ハ郡長其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ意見ヲ求ムルコトヲ得

第十九條 小作官ハ期日ニ出席シテ又ハ期日外ニ於テ裁判所ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十條 裁判所必要アリト認ムルトキハ事實ノ調査ヲ小作官ニ囑託スルコトヲ得

第二十一條 裁判所ニ於ケル調停手續ハ之ヲ公開セズ但シ裁判所ハ相當ト認ムル者ノ傍聽ヲ許スコトヲ得

第二十二條 裁判所ハ費用ヲ要スル行爲ニ付當事者ノ一方又ハ雙方ヲシテ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

第二十三條 裁判所ニ對スル申立其ノ他ノ申述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 裁判所ノ調停ニ付テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

第二十五條 裁判所ハ調停前調停ノ爲必要ト認ムル措置ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 裁判所ノ調停條項中ニ費用ノ負擔ニ關スル定ヲ爲サザルトキハ各當事者ハ其ノ支出シタル費用ヲ自ラ負擔ス

第二十七條 調停ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第二十八條 調停委員會ハ調停主任及調停委員二人以上ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十九條 調停主任ハ判事ノ中ヨリ毎年豫メ地方裁判所長ノ指定ス

第三十條 調停主任ハ調停ニ適當ナル者ニ就キ地方裁判所長ノ選任シタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任ノ指定ス但シ當事者ガ合意ヲ以テ選定シタル者アルトキ又ハ地方裁判所長ノ選任シタル者ニ就キ當事者雙方ガ各別ニ選定シタル者アルトキハ其ノ者ノ中ヨリ先ヅ之ヲ指定スルコトヲ要ス

第三十一條 前項ノ規定ニ依リ指定セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルコトヲ得ズ

第三十二條 調停主任ハ爭議ノ實情ニ鑑ミ適當ト認ムル場所ニ於テ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第三十三條 調停委員會ニ於ケル調停手續ハ調停主任ノ指揮ス

第三十四條 調停委員會ノ決議ハ調停委員ノ過半数ノ意見ニ依ル可同數ナルトキハ調停主任ノ決スル所ニ依ル

第三十五條 調停委員會ハ當事者、總代又ハ利害關係人ノ陳述ヲ聽キ且必要ト認ムルトキハ證據調ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 證據調ニ付テハ民事訴訟法ヲ準用ス

證人及鑑定人ノ受クベキ旅費、日當及止宿料ニ付テハ民事訴訟費用法ヲ準用ス

第三十六條 期日ニ於テ調停成ラザルトキハ調停委員會ハ適當ト認ムル調停條項ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ調停條項ヲ定メタル場合ニ於テハ調停委員會ハ其ノ調書ノ正本ヲ當事者、總代アルトキハ總代ニ送付シ且當事者又ハ總代ガ其ノ送付ヲ受ケタル後一月内ニ異議ヲ述ベザルトキハ調停ニ同意シタルモノト看做ス旨ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

當事者又ハ總代ガ前項ノ正本ノ送付ヲ受ケタル後一月内ニ調停委員會ニ異議ヲ述ベザルトキハ調停ニ同意シタルモノト看做ス

調停委員會ハ申立ニ因リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得期間ノ伸長ハ之ヲ相手方、總代アルトキハ總代ニ通知スルコトヲ要ス

當事者又ハ總代ガ調停條項ニ對シ異議ヲ述ベタルトキハ調停委員會ハ其ノ旨ヲ相手方、總代アルトキハ總代ニ通知スルコトヲ要ス

第三十七條 調停委員會第二條ニ規定スル事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲サザルコトヲ得

第三十八條 調停成リタルトキ又ハ第三十六條第三項ノ規定ニ依リ調定ニ同意シタルモノト看做サレタルトキハ裁判所ハ調停主任ノ報告ヲ聽キ調停ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

調停認可ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

調停不認可ノ決定ニ對シテハ當事者又ハ總代ハ民事訴訟法ニ從ヒ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 裁判所ハ調停ガ著シク公正ナラズト認ムル場合ニ非ザレバ不調停認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十條 調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ調停ハ認可決定アリタルトキニ限り裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

第四十一條 裁判所調停認可ノ決定ヲ總代ニ告知シタル場合ニ於テハ調停條項ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市役所又ハ町村役場ノ揭示場ニ揭示スルコトヲ要ス

第四十二條 調停委員會必要リアト認ムルトキハ調停ノ經過ヲ公表スルコトヲ得

第四十三條 調停事件終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ結果ヲ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス

第四十四條 當事者又ハ利害關係人ハ手数料ヲ納付シテ記録ノ閱覽若ハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ事件ニ關スル證明書ノ附與ヲ裁判所書記ニ求ムルコトヲ得但シ當事者ガ事件ノ繫屬中記録ノ閱覽又ハ謄寫ヲ爲ス場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要セズ

第四十五條 調停委員及第十一條又ハ第三十四條ノ規定ニ依リ勸解ヲ爲シタル者ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス

第四十六條 第四十四條ノ手数料並前條ノ旅費、日當及止宿料ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十七條 本法中郡トアルハ北海道ニ於テハ北海道廳支廳管轄區域、郡長トアルハ北海道ニ於テハ北海道廳支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司トス

本法中町村、町村長又ハ町村役場トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ町村、町村長又ハ町村役場ニ準スルモノトス

第四十八條 第三十四條ノ規定ニ依リ呼出ヲ受ケタル者正當ノ事由ナクシテ出頭セザルトキハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ハ調停委員會ノ意見ヲ聽キ五拾圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得

非訟事件手續法第二百七條及第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第四十九條 調停委員又ハ調停委員タリシ者故ナク評議ノ顛末又ハ調停主任、調停委員ノ意見若ハ其ノ多少ノ數ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ勅令ヲ以テ指定スル地區ニ之ヲ施行セズ

附 則

○農地ノ交換分合斡旋施設助成ニ關スル件

(昭和十四年十月十九日 卯經第二五七四號)

農地ノ交換分合ヲ行ヒ以テ農業經營ノ合理化ヲ圖ルハ農業生産力ノ維持増進上緊要ナルコトニ有之昭和十三年八月施行ノ農地調整法ニ於テ農地委員會ヲシテ之ガ斡旋ヲ爲サシムルコトト相成居候處特ニ農村勞力ノ減少ヲ來セル現時局下ニ鑑ミ更ニ農地委員會、市町村經濟更生委員會其ノ他ノ團體ノ活動ヲ促進シ自作地及小作地ノ全般ニ互リ之ガ分布不適正ナルモ

ノノ交換分合ヲ斡旋シ以テ農業努力ノ調整並ニ生産ノ擴充ニ資スル爲今般別記要項ニ依リ獎勵金ヲ交付スルコトト相成候
ニ付テハ左記了知ノ上本施設ノ目的達成ノ爲特段ノ配慮相成度
追テ交換分合斡旋ニ對スル昭和十四年度獎勵金交付額ハ自作地、小作地タルトヲ問ハズ反當金一圓以内ノ見込ニ付右ニ
依リ計畫ヲ樹テラレ十一月末日迄ニ必ず申請相成度

記

- 一 農地ノ交換ニ依ル所有權得取ノ登記ニシテ農地委員會、市町村經濟更生委員會ノ斡旋ニ依ルモノナルトキハ臨時租
稅措置法第二十二條ノ二同法施行規則第二十四條ニ依リ登録稅ヲ免除セラルル外北海道地方稅條例ニ依ル不動産ノ取
得稅ヲ免除セラルルコト
- 二 將來工場敷地、住宅敷地等農耕以外ノ目的ニ供セラルル見込アル農地ノ交換ニ付テハ登録稅及不動産ノ取得稅ヲ免
除セラレザルヲ以テ本施設上特ニ慎重ヲ期スルコト
- 三 臨時租稅措置法施行規則第二十四條第一項第二號ノ自作地ニハ交換後自作セラルル土地ヲモ含ムモノトシテ取扱ヒ
差支ナキコト

(別記)

農地ノ交換分合斡旋獎勵金交付要項

- 第一 農地ノ交換分合ヲ促進スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付スルモノトス
 - 第二 獎勵金ハ市町村農地委員會、市町村經濟更生委員會、市町村農會又ハ農事實行組合ノ行フ農地ノ交換分合ノ斡旋ニ
付支出スル市町村ノ獎勵金ニ對シ市町村ニ之ヲ交付スルモノトス
 - 第三 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル市町村ハ申請書(様式第一號)ニ左ノ書類ヲ添ヘ前年度一月末日迄ニ之ヲ長官ニ提出
スベシ但シ昭和十四年度ニ限り十一月末日迄トス
 - 一 事業計畫書 (様式第二號)
 - 二 收支豫算書 (様式第三號)
- 前項ノ書類ノ外長官ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第四 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル市町村第三第一項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ長官ノ承
認ヲ受クベシ

第五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル市町村ハ翌年度六月十日迄ニ事業成績書(様式第四號)及收支決算書(様式第三號)ヲ長
官ニ提出スベシ

第六 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル市町村其ノ交付ニ係ル獎勵金ヲ返納セシメタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滞ナク長官ニ
報告スベシ

第七 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル市町村左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部若ハ一部ノ還付
ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本要項ニ違反シタルトキ
- 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 三 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

様式第一號

農地ノ交換分合斡旋獎勵金交付申請

昭和何年度ニ於テ農地ノ交換分合ノ斡旋致度候條本市町村ノ支出スル獎勵費ニ對シ相當獎勵金御交付相成度關係書類相添
ヘ此段及申請候也

昭和 年 月 日

何郡市町村長 氏

名 印

北海道廳長官

殿

様式第二號

事業計畫書

- 一 農地ノ交換分合斡旋計畫ノ概要
- 二 農地ノ交換分合實施豫定人員及箇所數

三 農地ノ交換分合豫定面積
 四 其ノ他參考トナルベキ事項
 様式第三號

收入ノ部 收支豫算書(收支決算書)

計	補助金	市町村費	科 目	
			本年度豫算額 (本年度決算額)	前年度豫算額 (本年度豫算額)
			増	減
			備	考
			圓	圓

様式第四號
 一 幹 旋 状 況 事 業 成 績 書

計	交換分合幹旋費	科 目		増	減	備 考
		本年度豫算額 (本年度決算額)	前年度豫算額 (本年度豫算額)			
				圓	圓	何 農 何 地 委 員 會 何 何 何 何
				圓	圓	

二 農地ノ交換分合實施成績

計 (又ハ平均)	幹旋シタル團體名		交換分合實施面積		調査幹旋費	反 調査幹旋費	備 考
	自 田	其ノ他	小 田	其ノ他			

注 意
 當年度内ニ實施セルモノニ付記載スルコト

○農地ノ交換分合幹旋施設ニ關スル件 (昭和十四年十一月八日 卯經第二五七四號)

昭和十四年三月法律第五十號臨時租稅措置法第二十二條ノ二及同年四月大藏省令第十三號臨時租稅措置法施行規則第二十四條ニ依リ農地ノ交換分合ニ因ル所有權ノ取得竝ニ交換ノ爲ニスル所有權保存ノ登記ニ付テハ登録稅ヲ免除セララルコトト相成候處右ニ關シテハ地方長官ノ證明ヲ要スル義ニ有之候條左記ニ依リ措置相成度

- 一 臨時租稅措置法第二十二條ノ二及同法施行規則第二十四條ニ依ル證明願(様式第一號及様式第一號ノ一)ハ當該市町村ヲ經由シテ提出スルコト
- 二 市町村長前號ノ證明願ヲ受理シタルトキハ調査ノ上規定竝ニ通牒ノ諸條件ヲ具備スルコトニ付副申(様式第二號)ヲ添附シ遲滞ナク進達スルコト

三 證明願ニハ臨時租稅措置法施行規則第二十四條第一項第一號ニ依ル斡旋調書(様式第三號)ヲ添付スルコト
四 農地ノ交換ニ因ル所有權移轉登記申請竝ニ交換契約書(様式第四號)ハ其ノ筋ト協議ヲ遂ゲ一定シタルモノニ付右様式ニ據ルコト

様式第一號

- 一 不動産ノ表示
- 二 登記權利者

證明 別紙記載ノ通 願 (正副二通提出ヲ要ス)

何郡市町村番地 氏 名(甲)
何郡市町村番地 氏 名(乙)

右當事者間ノ土地交換ニ因ル所有權ノ取得ハ臨時租稅措置法第二十二條ノ二及臨時租稅措置法施行規則第二十四條ノ規定ニ該當スルモノナルコトヲ御證明被下度此段願上候也

昭和 年 月 日 住所

登記權利者 氏

名 ①

北海道廳長官 殿
右相違ナキコトヲ證明ス
昭和 年 月 日

北海道廳長官

②

注意 交換者各別ヨリ證明願ヲ提出スルコト
(別紙)

記

一 甲ハ次項ニ掲グル土地ト交換ノ爲其ノ所有ニ係ル左記土地ノ所有權ヲ乙ニ移轉スルモノトス
何郡市町村大字何字 番地

一 田(畑)何町何段何畝何歩
(以下之ニ倣フ)

二 乙ハ前項ニ掲ゲタル土地ト交換ノ爲其ノ所有ニ係ル左記土地ノ所有權ヲ甲ニ移轉スルモノトス
何郡市町村大字何字 番地

一 田(畑)何町何段何畝何歩
(以下之ニ倣フ)

様式第一號ノ一 土地所有權ノ保存ニ付登録稅免除證明願 (正副二通提出ヲ要ス)

- 一 不動産ノ表示
- 二 土地所有者

別紙記載ノ通

何郡市町村番地 氏 名

右土地ハ臨時租稅措置法第二十二條ノ二ノ規定ニ依リ交換ノ爲ニスル所有權保存登記申請上必要ニ付臨時租稅措置法施行規則第二十四條ノ規定ニ該當スルモノニ相違ナキコトヲ御證明被下度此段願上候也

昭和 年 月 日 住所

土地所有者 氏

名 ①

北海道廳長官 殿
右相違ナキコトヲ證明ス
昭和 年 月 日

北海道廳長官

一六一

②

注意
土地各筆ノ臺帳謄本添付スルコト
(別紙)

不動産ノ表示
何郡市町村大字何字
一 田(畑)何町何段何畝何歩
(以下之ニ倣フ)
様式第二號

昭和 年 月 日
副 申
日何某ヨリ農地ノ交換ニ伴フ登録税免除證明願調査致候處左記ノ通具備致候條御證明被成下度此
段及副申候也
昭和 年 月 日
北海道廳長官
何郡市町村長 氏
記 殿 名 印

- 一 交換ハ何農地委員會(又ハ國若ハ道ノ補助金ノ交付ヲ受ケテ設置セラレタル何經濟更生委員會)ノ斡旋ニ基クモノナルコト
 - 二 交換地ノ双方(又ハ一方)ハ自作地(交換後自作セララルル土地ヲモ含ム)又ハ小作地ナルコト
 - 三 將來工場敷地、住宅敷地等農耕以外ノ目的ニ供セララルル見込ナキ土地ナルコト
 - 四 交換地ノ價額(數字ヲ記載スルコト以下同ジ)ノ差ガ價額ノ多額ナル一方ノ十分ノ三以内ナルコト
- 様式第三號

何々委員會斡旋調書

住所 住所
當事者 氏 氏
名(甲) 名(乙)

一 斡旋ノ目的タル土地

當事者氏名	土地ノ所在	地番	地目	反別	買時價	貸反時價	總額	交換前ノ耕作者氏名	交換後ノ耕作者氏名
(甲)何 某									
(乙)何 某									
	計								
	計								
	差引(比較増減)								

注意
反當時價及時價總額ノ類地ノ見込價格ニ依リ記入ノコト

二 斡旋ノ概要
何々
右之通當事者間ノ土地ノ交換ニ付斡旋候也

昭和 年 月 日

何々委員會

會長 氏

名 團

様式第四號

土地交換ニ因ル所有權移轉登記申請 (例)

一 不動産ノ表示

何郡市町村大字何字

番地

一 田(畑)何町何段何畝何歩
此價額金何圓但シ反當金何圓
(以下之ニ倣フ)

一 登記原因及其ノ日附 昭和何年何月何日交換

一 登記ノ目的 所有權ノ移轉ノ登記

一 課税標準 不動産ノ價額金何圓

一 登録稅 臨時租稅措置法第二十二條ノ二及同法施行規則第二十四條ニ依リ無稅

一 添附書類 土地交換證書、登記義務者ノ權利ニ關スル登記濟證、登録稅免除證明書
右登記相成度此段申請候也

昭和 年 月 日

何郡市町村

番地

登記義務者

氏

名

團

何郡市町村

番地

登記權利者

氏

名

團

何區裁判所

何出張所御中

印相紙當

土地交換契約書 (例)

何郡市町村番地 氏

氏

名 名

右當事者間ニ於テ土地ノ交換ヲ爲スニ付契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

一 何某ハ次項掲記ノ土地ト交換ノ爲其ノ所有ニ係ル左記土地ノ所有權ヲ何某ニ移轉スルモノトス

何郡市町村大字何字

番地

一 田(畑)何町何段何畝何歩

(以下之ニ倣フ)

二 何某ハ前項掲記ノ土地ト交換ノ爲其ノ所有ニ係ル左記土地ノ所有權ヲ何某ニ移轉スルモノトス

何郡市町村大字何字

番地

一 田(畑)何町何段何畝何歩

(以下之ニ倣フ)

三 本件土地ノ交換ニ因ル所有權移轉ノ登記ノ日ヲ昭和何年何月何日ト定メ當事者双方ニ於テ所轄登記所ニ出頭ノ上手續

ヲ履行スルモノトス

右契約ヲ證スル爲此ノ證書ニ通テ作成シ各自署名捺印ノ上各其ノ一本ヲ所持スルモノトス

昭和 年 月 日

氏 氏

名 名

團 團

○小作料統制令

(昭和十四年十二月六日
勅令第八百二十三號)

- 第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ南洋群島ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第十九條ノ規定ニ基キ小作料ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 本令ニ於テ小作料トハ耕作ノ目的ヲ以テ農地(農地以外ノ土地ガ農地ニ附隨シテ賃借セララル場合又ハ建物其ノ他ノ工作物ガ農地ニ附隨シテ賃借セラレ其ノ借賃ガ農地ノ借賃ト分別シ得ザル場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ヲ含ム以下同ジ)ガ賃借セララル場合ニ於ケル借賃又ハ耕作ノ目的ヲ以テ永小作權若ハ賭地權ガ設定セララル場合ニ於ケル小作料ヲ謂フ
- 第三條 農地ノ賃貸人又ハ永小作權若ハ賭地權ノ目的タル農地ノ所有者(以下貸主ト稱ス)ハ左ノ各號ノ小作料ノ額若ハ率ヲ超エテ小作料ノ額若ハ率ヲ定メ又ハ左ノ各號ノ小作料ノ種別若ハ減免條件ニ付農地ノ賃借人又ハ永小作權者若ハ賭地權者(以下借主ト稱ス)ノ負擔ノ增加ト爲ルベキ變更ヲ爲スコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テ地方長官ノ許可アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 一 昭和十四年九月十八日ニ於テ小作料ノ定アリタル農地ニ付テハ同日ニ於ケル小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件(其ノ不明ナルトキハ同日以後ノ判明セル最初ノ小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件)
- 二 前號ニ該當セザル農地ニシテ昭和十四年九月十九日以後本令施行前ニ小作料ノ定アルニ至リタルモノニ付テハ同日以後ニ於ケル最初ノ小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件(其ノ不明ナルトキハ判明セル最初ノ小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件)
- 三 前二號ニ該當セザル農地ニシテ本令施行後ニ小作料ノ定アルニ至リタルモノニ付テハ本令施行後ニ於ケル最初ノ小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件
- 第四條 市町村農地委員會必要アリト認ムルトキハ當該市町村ニ在ル農地ニ付小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ヲ定

ムルコトヲ得

- 市町村農地委員會ハ前項ノ規定ニ依リ定ムル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ニ付地方長官ノ認可ヲ受クベシ
- 地方長官前項ノ規定ニ依リ認可ヲ爲シタルトキハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨公示スベシ
- 前三項ノ規定ハ公示シタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ヲ變更スル場合ニ之ヲ準用ス
- 第五條 地方長官ガ前條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リ公示シタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ハ貸主及借主ニ於テ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ之ニ依ルベキ旨ノ合意ヲ爲シタルトキハ其ノ農地ニ關シテハ之ヲ第三條ノ規定ノ適用ニ付テハ同條各號ニ掲ゲル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ト看做ス
- 第六條 地方長官小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件著シク不當ナリト認ムルトキハ貸主ニ對シ小作料ノ種別ノ變更、額若ハ率ノ減少若ハ減免條件ノ變更ヲ命ジ又ハ減免條件ヲ定ムベキコトヲ命ズルコトヲ得
- 前項ノ地方長官ノ命令ニ依リ變更シタル種別、減少シタル額若ハ率又ハ變更シ若ハ定メタル減免條件ハ第三條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ同條各號ニ掲ゲル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ト看做ス
- 第一項ノ規定ハ裁判、裁判上ノ和解、小作調停法、朝鮮小作調停令若ハ明治三十七年律令第三號ニ依ル調停又ハ朝鮮小作調停令ニ依ル認可ノ決定アリタル勸解ニ依リ定マリタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ニ付テハ之ヲ適用セズ
- 第七條 價格等統制令施行後裁判、裁判上ノ和解、小作調停法、朝鮮小作調停令若ハ明治三十七年律令第三號ニ依ル調停又ハ朝鮮小作調停令ニ依ル認可ノ決定アリタル勸解ニ依リ借主ニ有利ニ變更セラレタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ハ第三條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ同條各號ニ掲ゲル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ト看做ス
- 第八條 地方長官第三條但書ノ規定ニ依リ許可、第四條第二項若ハ第四項ノ規定ニ依ル認可又ハ第六條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ道府縣農地委員會ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス
- 第九條 貸主ハ本令ノ適用ヲ免ルル爲農地ノ耕作ヲ目的トスル請負其ノ他ノ契約ヲ爲シ又ハ何等ノ名義ヲ以テスルコトヲ問はず借主ニ對シ農地ノ賃借契約又ハ永小作權若ハ賭地權ノ設定契約ニ定メザル財産上ノ利益ヲ求ムルコトヲ得ズ
- 第十條 地方長官必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ農地ノ賃借、永小作又ハ賭地權ニ依ル小作ニ關シ其ノ當事者ヨリ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ日出ヨリ日没迄ノ間農地其ノ他ノ場所ニ臨檢シ收穫ノ狀況若

ハ契約書其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十一條 第三條乃至第八條ノ規定ハ敷金、補償金穀、修繕費及用排水費ノ負擔竝ニ小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件以外ノ農地ノ賃貸借、永小作若ハ賭地權ニ依ル小作又ハ之ニ附隨スル契約ノ條件ニシテ農林大臣ノ指定スルモノニ付之ヲ準用ス

第十二條 本令ハ國又ハ道府縣ガ貸主タル農地ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十三條 第四條及第五條ノ規定ハ南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

第十四條ノ規定ハ朝鮮、臺灣及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

本令中農林大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事(第六條ノ場合ニ在リテハ道知事又ハ 府郡島小作委員會)、臺灣ニ在リテハ州又知事ハ廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、南洋群島ニ在リテハ南洋郡島地方費トシ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府群島、臺灣ニ在リテハ市街庄トシ市町村農地委員會トアルハ朝鮮ニ在リテハ府群島小作委員會、臺灣ニ在リテハ市尹又ハ街庄長トス

附 則

第十四條 本令ハ内地ニ在リテハ昭和十四年十二月十一日ヨリ朝鮮、臺灣及南洋群島ニ在リテハ同月十八日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ樺太ニハ之ヲ施行セズ

第十五條 價格等統制令施行前ニ第三條第一號又ハ第二號ノ小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ヲ借主ノ不利益ニ變更シタル農地ニ付テハ貸主ハ農林大臣ノ定ムル所ニ依リ本令施行後最初ニ小作料ノ納期ノ到來スル分ヨリ之ヲ同條第一號又ハ第二號ノ小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ニ回復スベシ

第十六條 前條ノ規定ハ價格等統制令施行前ニ於テ裁判、裁判上ノ和解、小作調停法、朝鮮小作調停令若ハ明治三十七年律令第三號ニ依ル調停又ハ朝鮮小作調停令ニ依ル認可ノ決定アリタル勸解ニ依リ借主ノ不利益ニ變更セラレタル小作料

ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ニ付テハ之ヲ適用セズ價格等統制令施行ノ際現ニ繫屬シタル訴訟、裁判上ノ和解事件又ハ調停事件ニ於テ借主ノ不利益ニ變更セラレタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ニ付亦同ジ
前項ノ裁判、和解、調停又ハ勸解ニ依リ借主ノ不利益ニ變更セラレタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ハ第三條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ同條第一號又ハ第二號ノ小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ト看做ス
第十七條 前二條ノ規定ハ敷金、補償金穀、修繕費及用排水費ノ負擔竝ニ小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件以外ノ農地ノ賃貸借、永小作若ハ賭地權ニ依ル小作又ハ之ニ附隨スル契約ノ條件ニシテ農林大臣ノ指定スルモノニ付之ヲ準用ス

○小作料統制令施行規則

(昭和十四年十二月六日) 農林省令第六十六號

第一條 市町村農地委員會小作料統制令(以下令ト稱ス)第四條第二項ノ規定(同條第四項ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ニ委員會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ當該市町村長ヲ經由シテ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 決定ノ理由及經過

二 決定ノ方法

三 農地(農地以外ノ土地ガ農地ニ附隨シテ賃借セララル場合又ハ建物其ノ他ノ工作物ガ農地ニ附隨シテ賃借セラレ其ノ賃借ガ農地ノ賃借ト分別シ得ザル場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ヲ含ム以下同ジ)ノ所在地番、地目又ハ種類及面積又ハ建坪

四 決定セントスル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件及現在ノ小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件

五 農地ノ賃貸人又ハ永小作權ノ目的タル農地ノ所有者(以下貸主ト稱ス)及農地ノ賃借人又ハ永小作權者(以下借主ト稱ス)ノ氏名又ハ名稱及住所

六 貸主及借主ノ意嚮

七其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第二條 地方長官令第四條第二項ノ規定（同條第四項ノ規定ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル認可ヲ爲シタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ告示シ當該市町村長ヲシテ其ノ旨市町村役場ニ揭示セシムベシ

一 認可ノ年月日

二 申請ヲ爲シタル市町村農地委員會

三 農地ノ所在地番、地目又ハ種類及面積又ハ建坪

四 認可ヲ爲シタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件

第三條 前條ノ規定ニ依ル告示アリタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ニ付貸主及借主ガ之ニ依ラントスルトキハ當該農地ノ在ル市町村ノ市町村農地委員會ニ其ノ旨届出ヅベシ

貸主及借主ガ連署シテ前項ノ届出ヲ爲シタルトキハ其ノ届出アリタル日ニ於テ令第五條ノ合意ヲ爲シタルモノトス

貸主及借主ガ各別ニ第一項ノ届出ヲ爲シタルトキハ後ニ届出アリタル日ニ於テ令第五條ノ合意アリタルモノトス此ノ場

合ニ於テハ當該市町村農地委員會ハ遲滞ナク其ノ旨貸主及借主ニ通知スベシ

第四條 市町村農地委員會ハ前條第一項ノ届出ヲ爲サザル貸主又ハ借主ニ對シ第二條ノ規定ニ依ル告示アリタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ニ依ルヤ否ヤニ付意見ヲ徵スルコトヲ得

第五條 第三條ノ規定ニ依ル令第五條ノ合意アリタルトキハ市町村農地委員會ハ遲滞ナク其ノ旨地方長官ニ報告シ且當該市町村長ニ通知スベシ

市町村長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ左ニ掲グル事項ヲ公示スベシ

一 第二條ノ規定ニ依ル告示ノ年月日及番號

二 農地ノ所在地番、地目又ハ種類及面積又ハ建坪

三 合意アリタル小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件

四 合意アリタル年月日

第六條 令第十條第二項ノ規定ニ依ル證票ハ別記様式ニ依ル

第七條 令第十一條ノ規定ニ依リ令第三條乃至第八條ノ規定ヲ準用スル農地ノ賃貸借又ハ永小作ノ條件ハ敷金、補償金穀竝ニ修繕費及用排水費ノ負擔ノ外改良費ノ負擔、公租公課ノ負擔、小作料ノ支拂條件、借主ノ貸主ニ提供スル勞務ニ關スル條件及借主ノ貸主ニ給付スル權利金其ノ他ノ財産上ノ利益ニ關スル條件トス令第十七條ノ規定ニ依リ令第十五條及第十六條ノ規定ヲ準用スル農地ノ賃貸借又ハ永小作ノ條件ニ付亦同ジ

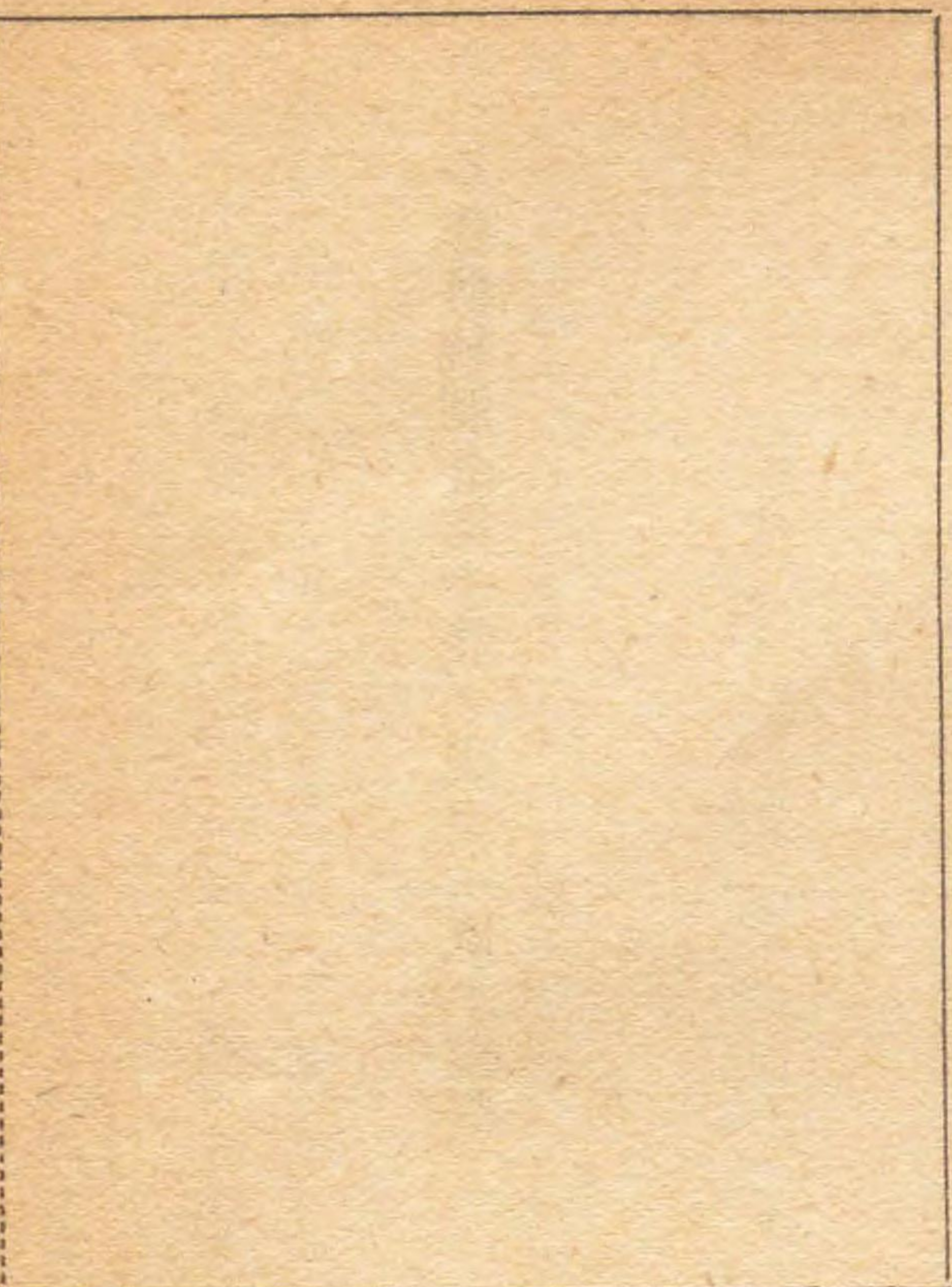
附 則

本令ハ小作料統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記 様式（用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折ト爲ス）

（表 面）

（裏 面）

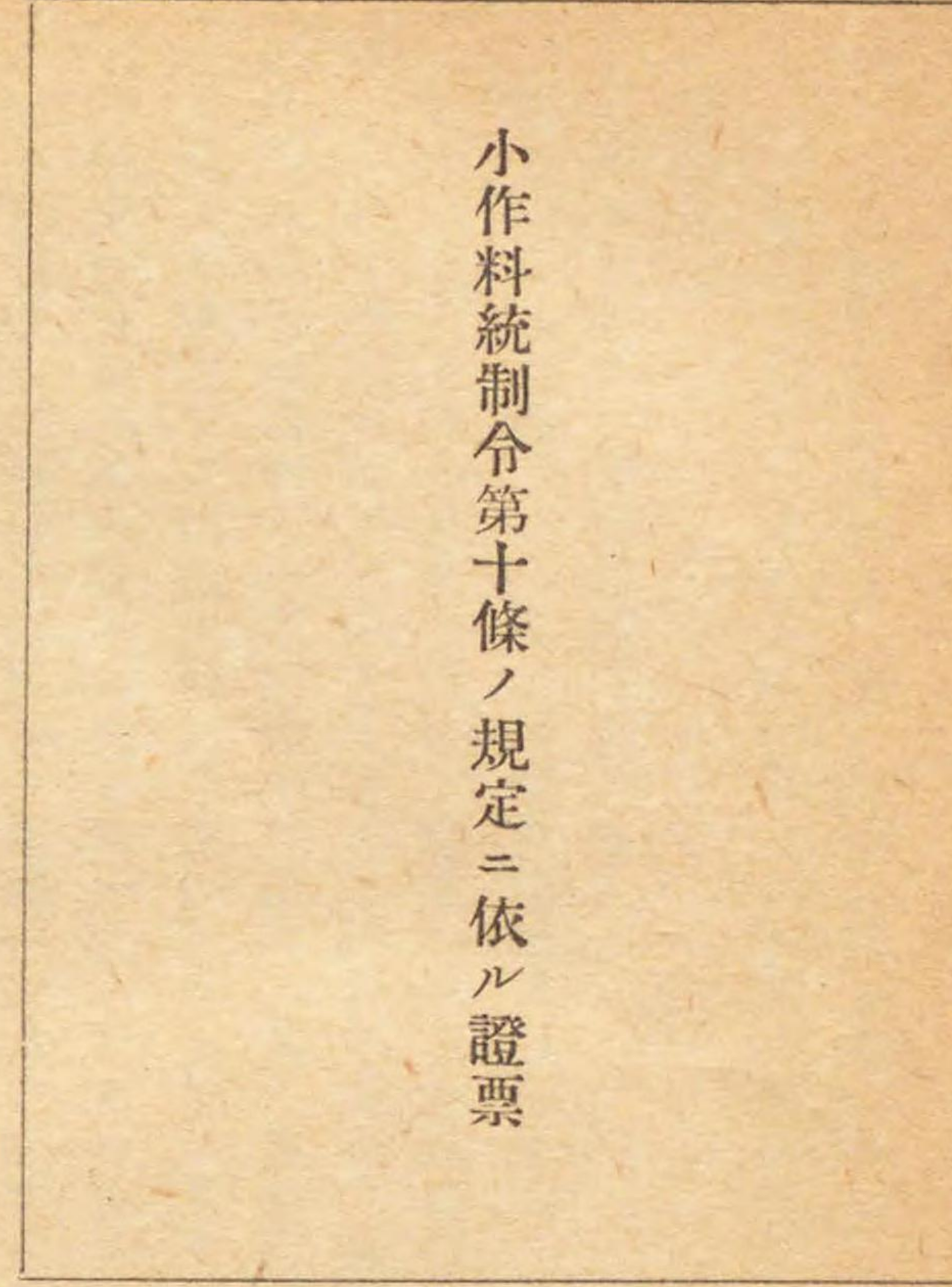


第 號 昭和 年 月 日交付

官 廳 府 縣 印

職 氏 名

小作料統制令第十條ノ規定ニ依ル證票



○國家總動員法關係條文

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、賃貸料又ハ加工賃ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得
第三十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス
(中略)

六 第十九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
第三十五條 前三條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科スルコトヲ得
第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
(中略)
三 第三十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者
第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
第四十八條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第三十二條乃至第三十四條、第三十六條第二號、第三十七條、第三十八條又ハ第四十三條前段ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑又ハ科料刑ヲ科ス

○小作料統制令施行細則

(昭和十五年一月二十日
北海道廳令第三號)

第一條 小作料統制令(以下令ト稱ス)第三條但書ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ長官ニ提出スベシ
一 申請者ノ氏名又ハ名稱及住所
二 農地(農地以外ノ土地ガ農地ニ附隨シテ賃借セララルル場合又ハ建物其ノ他ノ工作物ガ農地ニ附隨シテ賃借セラレ其ノ賃借ガ農地ノ賃借ト分別シ得ザル場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建物其ノ他ノ工作物ヲ含ム以下同ジ)ノ賃借人又ハ永小作權者ノ氏名又ハ名稱及住所
三 農地ノ所在地番、地目並ニ現地目又ハ種類及面積又ハ建坪
四 令第三條各號ノ小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件並ニ新ニ定メントスル小作料ノ種別、額又ハ率及減免條件

五 小作料ノ額若ハ率ヲ増加シ又ハ小作料ノ種別若ハ減免條件ヲ變更セントスル期日及之ヲ必要トスル事由
六 其ノ他參考トナルベキ事項

前項ノ規定ニ依リ提出シタル書類ノ外長官ハ必要アリト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第二條 市町村農地委員會令第四條第一項ノ規定ニ依ル處理ヲ爲サントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ明ニシ豫メ長官ノ指
示ヲ受クベシ

一 小作契約ノ内容

二 小作料ノ種別、額若ハ率又ハ減免條件ヲ決定セントスル事由

三 前號ニ對スル貸主及借主ノ意嚮竝ニ當該市町村若ハ部落ニ於ケル輿論

第三條 令及之ニ基ク命令又ハ本令ニ依リ長官ニ提出又ハ報告スベキ書類ハ市ニ在リテハ市長、町村ニ在リテハ町村長及
支廳長ヲ經由スベシ但シ市町村長第一條ノ許可申請書ヲ受理シタルトキハ意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

第四條 前三條ノ規定ハ令第十一條ニ掲グル農地ノ賃貸借又ハ永小作ノ條件ニ付之ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○小作料統制令施行ニ關スル件

(昭和十五年一月三十一日)
辰經第一〇四號

曩ニ政府ハ國家總動員法ノ關係條項ヲ發動シテ價格等統制令ヲ制定公布シ價格、運賃、賃金、賃貸料等ノ全般ニ互リ其ノ
騰貴抑制ノ爲臨時措置ヲ講ジタル處小作料ニ就イテハ其ノ特殊性ニ鑑ミ價格等統制令トハ別ニ昭和十四年十二月六日勅令
第八百二十三號小作料統制令ガ制定公布セラレ十二月十一日ヨリ施行セラルコトト相成候ニ付テハ之ガ運用ニ當リテハ
本令ニ左記事項ニ留意シ時局下戰時經濟ノ圓滑ナル運營ニ資スルト共ニ從來ノ行政上ノ沿革ト農村ノ實情ニ即シ適切ナル運
用ヲ爲シ本令所期ノ目的達成上遺憾ナキヲ期セラレ度

記

一 本令ハ一般物價等ノ騰貴抑制ノ趣旨ヲ以テ小作料ニ就イテモ必要ナル統制ヲ行ヒ小作料ノ額等ノ引上停止ニ伴ヒ不合
理ナル事象アル場合ハ之ヲ是正シ農家經營ヲ安定セシメ以テ農業生産力ノ維持増進ニ資スルト共ニ農村ノ平和ヲ保持ス
ルコトヲ目的トスルモノナルヲ以テ之ガ運用ニ當リテハ之等ノ點ニ十分留意スルコト

二 本令ノ運用ヲ圓滑ニシ所期ノ目的ヲ達成スル爲ニハ市町村農地委員會ヲシテ本令ノ趣旨ニ即シタル活動ヲ爲サシムル
様指導督勵ヲ爲スヲ要スルハ勿論農地ノ所有者及耕作者ノ時局ノ認識ト互讓相助ノ精神トニ俟ツ所多キヲ以テ各種團體
ノ協力等各般ノ方策ヲ講ジ官民協力シテ本令趣旨ノ徹底ニ努ムルコト

三 本令ノ運用ハ適切ナル行政指導及調停制度ノ活用ト相俟テ其ノ效果ヲ萬全ナラシメ得ルモノナルヲ以テ時宜ニ應ジ
タル指導ニ努ムルト共ニ農地委員會、小作調停委員會等トノ連絡ヲ愈緊密ニシ調停制度ノ活用ヲ爲スコト

四 本令第三條但書ノ「特別ノ事由アル場合」トハ貸主ガ土地改良等ヲ爲シ著ク土地ノ利用ヲ増進シタルトキ又ハ借主
ガ貸主ノ緣故者タリシ爲若ハ蹴下免租年期中ナリシ爲本令第三條各號ノ小作料ノ額ガ特ニ低額ナルモノナルトキ等己ム
ヲ得ザル事由アル場合トスルコト

五 本令第四條ノ規定ニ關シ

(1) 市町村農地委員會ガ第一項ノ規定ニ依リ處理ヲ爲サントスルトキハ豫メ小作契約ノ内容、小作料ノ種別、額若ハ率
又ハ減免條件等ヲ變更セントスル事由及之ガ貸主及借主ノ意嚮竝ニ當該市町村若ハ部落ニ於ケル輿論等各般ノ事項ニ
留意シ苟モ之ニ依リ農村ニ不安ヲ惹起シ平和ヲ害スルガ如キコトナキ様十分指導督勵スルハ勿論之ガ決定ニ當リテハ
公正妥當ナル決定ヲ爲サシムル爲小作官等ト緊密ナル連絡ヲトルト共ニ今回新ニ設置セラルベキ農地調整指導員トモ
協議ヲ遂ゲ決定方法ニ付過誤ナキヲ期スルコト

(2) 第二項又ハ第四項ノ規定ニ依リ認可アリ且第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リ公示アリタル場合ニ於テ市町村農地委員
會ヲシテ本令第五條ノ合意ニ付十分ナル斡旋ヲ遂ゲシムル様萬遺憾ナキヲ期スル爲市町村農地委員會ガ認可ヲ申請ス
ル場合ハ可及的ニ事前ニ貸主及借主ノ之ニ依ルベキ旨ノ同意ヲ得置カシムル様努力セシムルコト

○小作料統制ニ關スル補助金交付ノ件

(昭和十五年一月二十日
辰經第七〇號)

國家總動員法第十九條ノ規定ニ基キ小作料統制令公布セラレ十二月十一日ヨリ施行相成候處之ガ圓滑ナル運用ヲ期スル爲
 特ニ小作料統制ニ關スル補助施設ヲ講ジ市町村農地委員會ガ同令第四條ノ規定ニ依リ小作料ノ額等ヲ決定セントスル場合
 之ニ要スル市町村ノ費用ニ對シ別記要項ニ基キ補助金ヲ交付致スベク候ニ付本施設ノ目的達成ノ爲特段ノ配慮相成度
 追テ昭和十四年度ニ限リ補助金ハ一町步當四圓以内ノ見込ニ付右ニ依リ計畫ヲ樹立シ補助申請書ヲ昭和十五年一月三十
 一日迄ニ必ズ提出相成度

(別記)

小作料統制補助要項

- 第一 小作料統制令ノ圓滑ナル運用ヲ期スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 第二 補助金ハ市町村農地委員會ノ行フ小作料統制事務ニ要スル市町村ノ費用ニ對シ之ヲ交付ス
- 第三 補助金ハ市町村ノ費用ノ範圍内トシ一町步當六圓以内トス但シ特ニ已ムヲ得ザル理由アリト認ムルトキハ其ノ標準
ニ拘ラズ之ヲ交付スルコトアルベシ
- 第四 補助金ノ交付ヲ受ケントスル市町村ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ前年度一月三十一日迄ニ之ヲ長官ニ提出スベシ
 - 一 様式第一號ニ依ル收支豫算書
 - 二 様式第二號ニ依ル小作料統制實施ニ關スル調査書
- 第五 補助金ノ交付ヲ受クル市町村ニシテ第四ノ書類ニ記載シタル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ長官ノ
可ヲ受クベシ
- 第六 補助金ノ交付ヲ受ケタル市町村ハ翌年度五月三十一日迄ニ様式第一號ニ依ル收支決算書及様式第二號ニ依ル小作料
統制實施ニ關スル成績書各二通ヲ長官ニ提出スベシ

第七 補助金ノ交付ヲ受ケタル市町村左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ長官ハ補助金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズル
コトアルベシ

- 一 本要項又ハ補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

様式第一號

収入ノ部 收支豫算書 (收支決算書)

科 目	本年度豫算額	前年度豫算額	増 減	備 考
	(本年度決算額)	(本年度豫算額)		
地方費補助金	圓	圓		
市町村費				
計				

三
附

錄

○自作農創設維持資金貸付規程

(大正十五年九月二日 農令第九十一號
昭和十六年五月三十一日 農令第二十八號全文改正
昭和十二年三月二十八日 農令第十五號改正)

第一條 自作農ノ創設又ハ維持ヲ行ハムトスル市町村、市町村組合又ハ産業組合ニ對シ毎年豫算ノ範圍内ニ於テ資金ヲ貸付ス

第二條 貸付金ノ利率ハ年三分五厘以内トス

第三條 貸付金ノ償還方法ハ資金貸付ノ當該年度ヲ据置期間トシ二十四箇年間年賦又ハ半年賦ニ依リ均等ニ元利ヲ償還スルモノトス

第四條 市町村、市町村組合又ハ産業組合資金ノ貸付ヲ受ケムトスルトキハ左ノ書類ヲ添ヘ毎年十月末日迄ニ之ヲ長官ニ申報スベシ

一 貸付金ノ使途明細

二 貸付調書

三 土地分配ノ狀況

四 小作爭議ノ狀況

五 資金貸付調査會諮問案竝ニ同決議錄謄本

六 創設スベキ土地ノ圖面

前項ノ規定ニ依リ申請スベキ貸付金ノ使途明細、土地分配ノ狀況、小作爭議ノ狀況ハ第一號様式、貸付調書ハ第二號様式ニ依ルベシ

第五條 市町村、市町村組合又ハ産業組合資金貸付ノ割當通知ヲ受ケタルトキハ第二號様式ノ申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ遲滞ナク之ヲ長官ニ提出スベシ

一 貸付金使途明細書

二 貸付調書

三 土地讓渡豫約書

四 事業ニ關スル收支豫算書

五 轉貸ニ關スル規程

六 市町村及市町村組合ニ在リテハ起債決議書ノ謄本、産業組合ニ在リテハ定款、借入額最大限度決議書ノ謄本、最近年度事業報告書、財産目錄及貸借對照表

第六條 市町村、市町村組合又ハ産業組合資金ヲ受領スベキ通知ヲ受ケタルトキハ第三號様式ニ依ル借入契約書ニ同號附屬様式ニ依ル借入金元利償還年次表ヲ添へ長官ニ提出シ資金ノ交付ヲ受クベシ

第七條 市町村、市町村組合又ハ産業組合ハ資金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二箇月以内ニ左ノ各號ニ該當スル者ニ其ノ資金ヲ轉貸スベシ

一 自作田畑ノ創設又ハ維持ヲ行ハムトスル者

二 現ニ耕作ニ従事シ自作田畑ノ經營ヲ持續シ得ル見込アル者

三 購入セムトスル土地ガ小作地ナル場合ニ於テハ其ノ土地ノ小作人但シ購入ニ付其ノ土地ノ小作人ノ同意ヲ得タル者ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ニ定ムル轉貸期限ハ長官ノ認可ヲ受ケタルトキハ之ヲ延長スルコトヲ得

第八條 市町村、市町村組合又ハ産業組合ハ交付ヲ受ケタル資金ヲ前條ノ資格者ニ轉貸セムトスルトキハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一 轉借人ニ購入セムトスル土地ノ購入價格ハ別ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及當該地方ノ普通價格ヲ超エザルコト

二 小作權賣買ノ慣行アル地方ニ於テ小作權ヲ併セ購入スル場合ニ於テハ土地ノ購入價格ニ小作權ノ購入價格ヲ加算シタルモノガ前號ノ標準價格及普通價格ヲ超エザルコト

三 維持セムトスル土地ノ抵當債務額ハ別ニ定ムル算式ニ依ル標準價格及普通價格ヲ超エズ且其ノ土地ヲ購入セシ價格ハ購入當時ニ於ケル別ニ定ムル算式ニ依ル標準價格ヲ超エザルコト

四 購入シ又ハ維持セムトスル土地ニハ自作ノ障害ト爲ルベキ權利存在セザルコト

五 購入セムトスル土地ノ上ニ抵當權存在セザルコト

六 購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價額ハ四千圓ヲ超エザルコト但シ現ニ田畑ヲ所有スル者ニ對スル轉貸ニ在リテハ其ノ田畑(維持セムトスル田畑ヲ除ク)ノ價額ト購入シ又ハ維持セムトスル土地ノ價額トノ合計額四千圓ヲ超エザルコト

七 轉貸スベキ金額ハ四千圓以内トシ土地ノ購入價額又ハ土地抵當債務額ノ全額トスルコト但シ全額未滿ノ轉貸ヲ受ケムトスル者ニ對スル轉貸金額ハ其ノ要求額トスルコト

八 轉貸金ノ利率ハ第二條ニ轉貸金ノ償還方法ハ第三條ニ準ズルコト

九 轉借人ノ事情ニ應ジ前號ニ依ル償還金額ノ外未償還金額ノ繰上償還ヲ認メ又ハ轉借金ノ償還方法ヲ變更シ得ルコト

十 購入シ又ハ維持シタル土地ノ全部ノ上ニ轉貸金ノ擔保トシテ一番抵當權ヲ設定セシムルコト但シ産業組合ノ場合ニ在リテハ自己ニ對スル資金貸付者タル北海道地方費ノ爲ニ轉借人ヲシテ其ノ購入シ又ハ維持シタル土地ノ全部ノ上ニ其ノ貸付金ノ擔保トシテ一番抵當權ヲ自己ノ轉貸金ノ擔保トシテ二番抵當權ヲ設定セシムルコト

十一 轉借人ハ償還ヲ了リタルトキト雖轉貸ノ際決定シタル償還期間内及第九號ニ依リ變更セラレタル償還期間内ハ轉貸者ノ承認ヲ得ルニ非ザレバ自作ヲ輟メ又ハ第十條ノ抵當權ヲ除クノ外其ノ土地ノ上ニ抵當權ヲ設定セシメザルコト

十二 轉借人ハ前號ノ期間内其ノ土地ヲ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス但シ轉貸者ノ定ムル制限ニ從ヒ其ノ土地ヲ轉貸者ニ又ハ轉貸者ヲ經テ第三者ニ讓渡スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

十三 前號ノ規定ニ依リ轉貸者ヲ經テ土地ヲ第三者ニ讓渡スル場合ニ於テハ其ノ讓受人ハ第七條ノ資格ヲ具備シ且田畑ヲ所有セス又ハ第六號但書ニ該當スル者ニシテ轉借人ノ債務ヲ引受クル者ナルコト

十四 前號ノ讓受人ナキ場合ニ於テ其ノ他ノ者ニ土地ヲ讓渡シタルトキハ讓渡ノ際轉借人ヲシテ未償還金額ヲ返還セシムルコト

十五 轉借人前數號ノ規定ニ違反シタルトキハ違約金ヲ徵收シ且轉貸金ノ未償還金額ヲ一時ニ返還セシメ又ハ左ノ金額ヲ以テ土地ヲ先買シ得ルモノトスルコト